

**2010年3月期
第2四半期
(2009年4~9月期)
決算アナリスト説明会**



**2009年10月30日
ソフトバンク株式会社**

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

経理編 5

連結P/L増減分析 6

連結B/S増減分析 14

連結C/F増減分析 24

財務編 29

事業編 57

ブロードバンド・インフラ事業 59

固定通信事業 63

移動体通信事業 67



経理編



ソフトバンク株式会社
経理部長 兼 内部統制室長

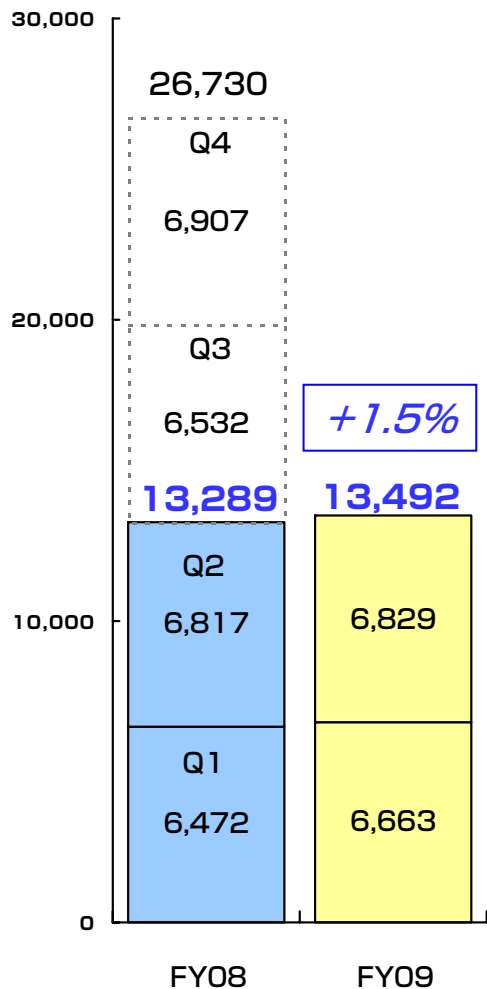
君和田 和子

連結P/L增減分析

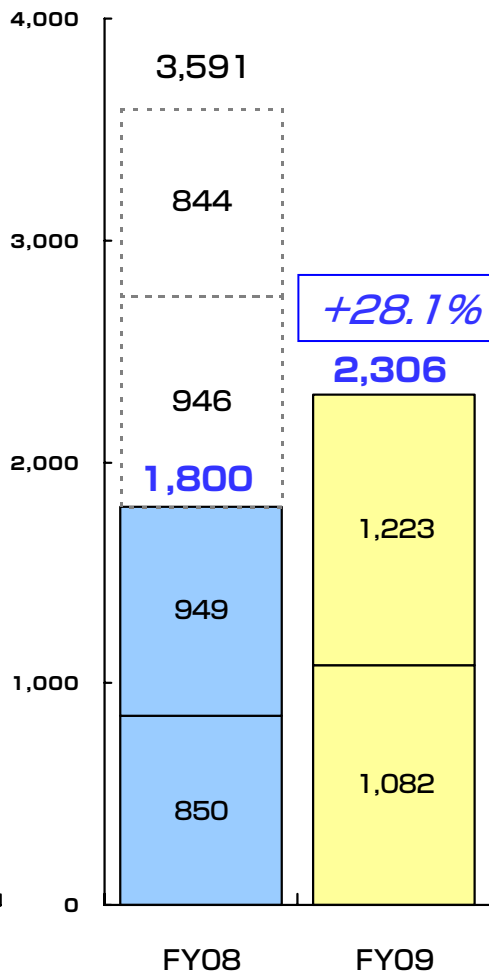
連結P/L総括

<億円>

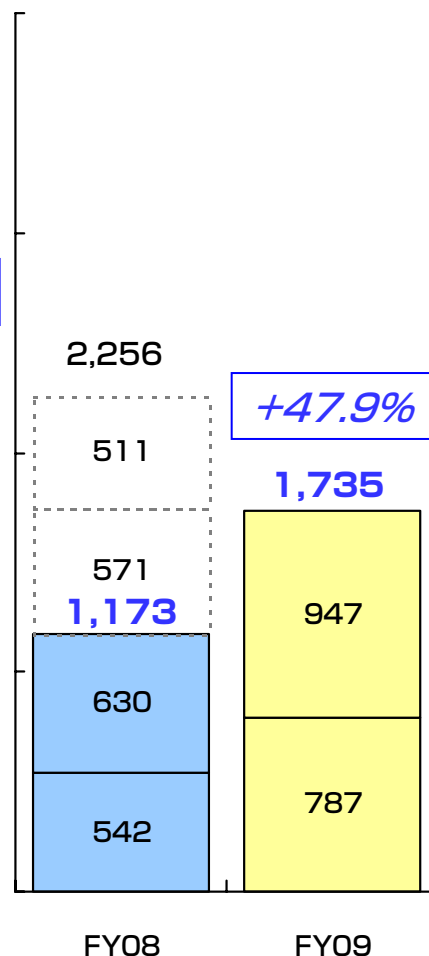
売上高



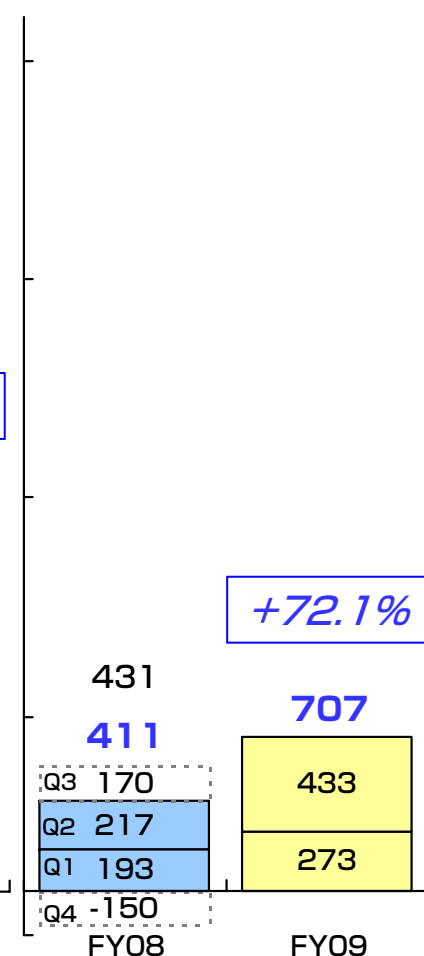
営業利益



経常利益

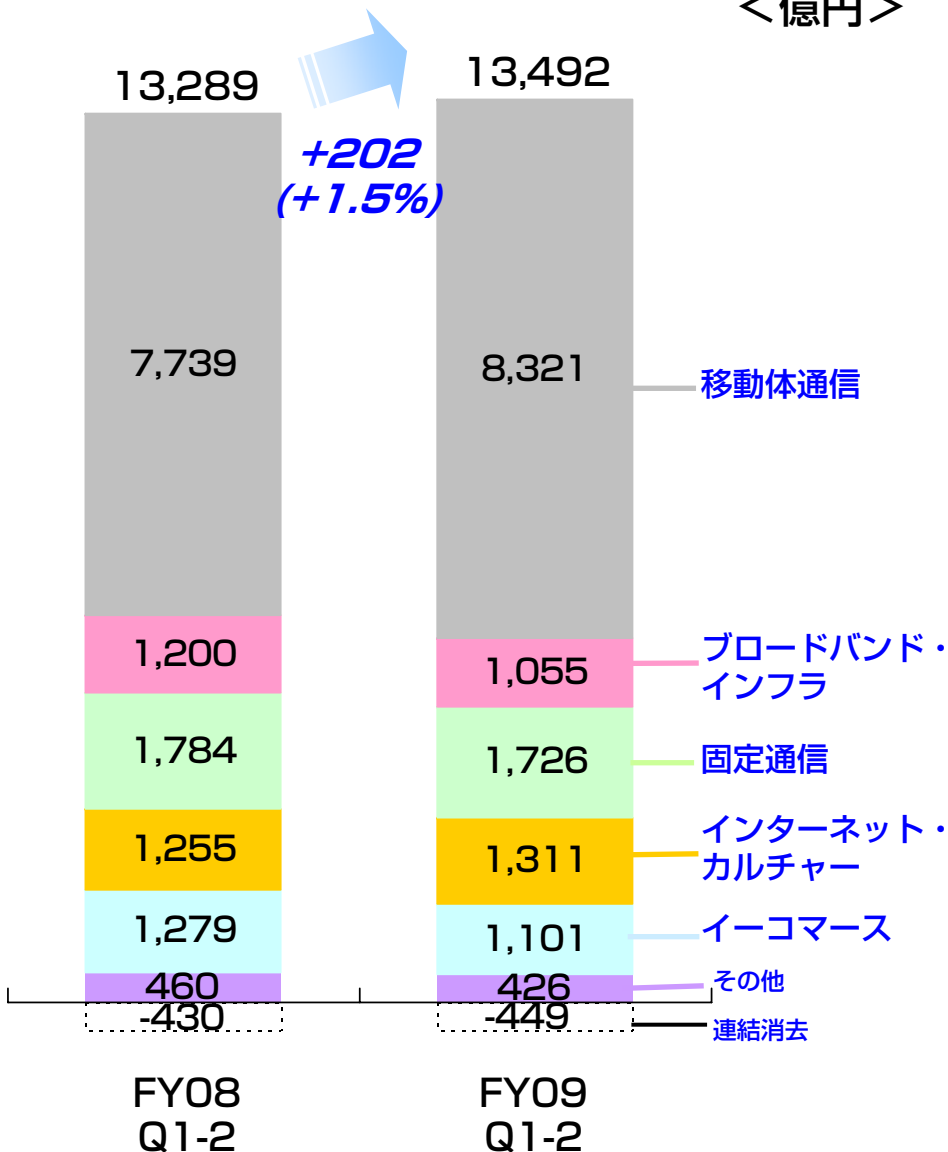


当期純利益



連結売上高

<億円>



移動体通信事業 +582億

- 電気通信事業収益の増加 +369億
- 〔 契約数の増加 +461億
ARPUの低下 ▲107億 〕
- 附帯事業収益（携帯電話端末売上等）の増加 +213億

ブロードバンド・インフラ事業 ▲145億

- Yahoo! BB ADSL 課金回線数の減少 ▲105億
- Yahoo! BB ADSL ARPUの低下 ▲1億
- ODNの減少 ▲15億

固定通信事業 ▲58億

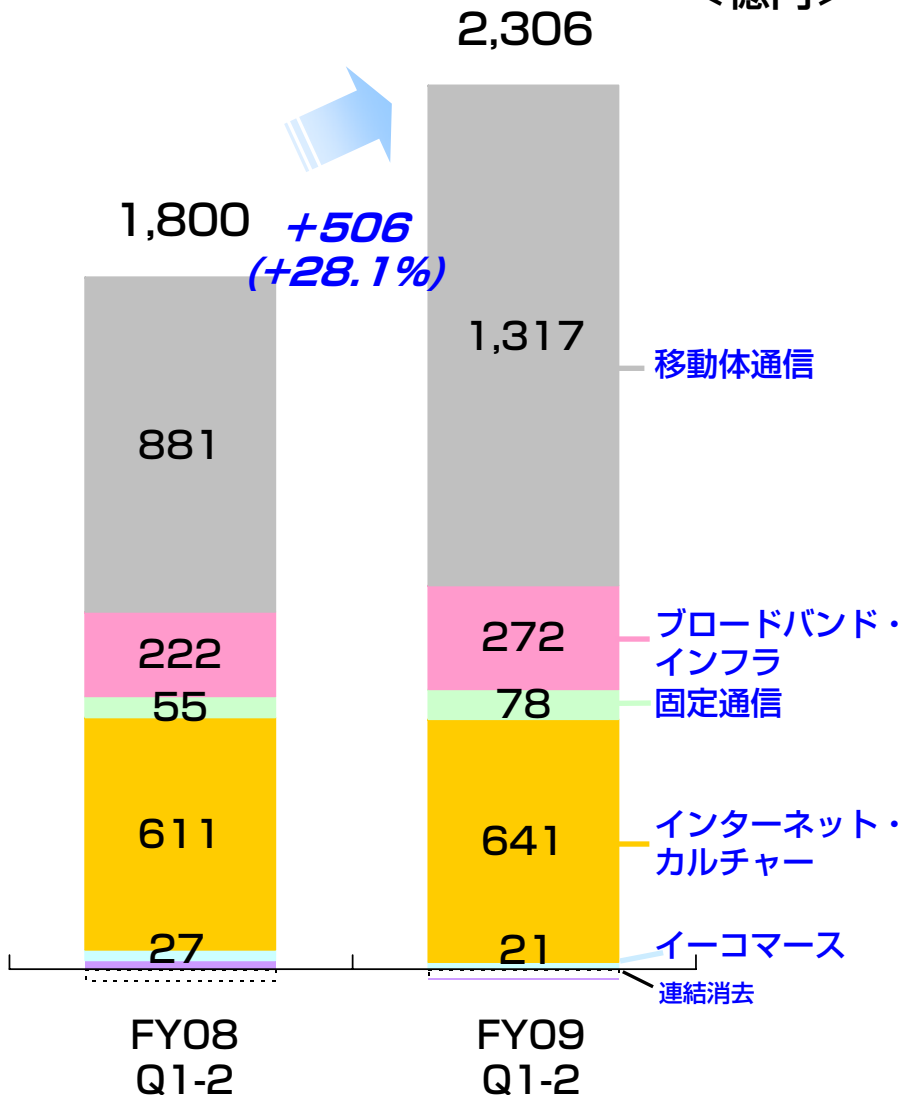
- おとくラインの増加 +71億
- 附帯事業収益の増加 +36億
- マイラインの減少 ▲50億
- 国際電話の減少 ▲44億
- 旧ソフトバンクIDCのセグメント異動の影響 ▲50億

インターネット・カルチャー事業 +55億

- 広告事業売上の減少 ▲15億
- ビジネスサービス事業売上の増加 +37億
- パーソナルサービス事業売上の増加 +34億

連結営業利益

<億円>



移動体通信事業 +436億

- ・売上高の増加 +582億
- ・営業費用の増加 ▲146億
 - (主な営業費用増加の要因) 販売手数料の増加
 - (主な営業費用減少の要因) アクセスチャージ、通信設備使用料など売上原価の減少
- 貸倒引当金繰入額・貸倒損失の減少

ブロードバンド・インフラ事業 +49億

- ・売上高の減少 ▲145億
- ・リース料、減価償却費など売上原価の減少 +93億
- ・販売費および一般管理費の減少 (主な要因)
 - 販売手数料および販売促進費の減少 +93億

固定通信事業 +22億

- ・売上高の減少 ▲58億
- ・通信設備使用料など売上原価の減少 +65億
- ・おとくラインの販売に係る費用などの減少 +18億

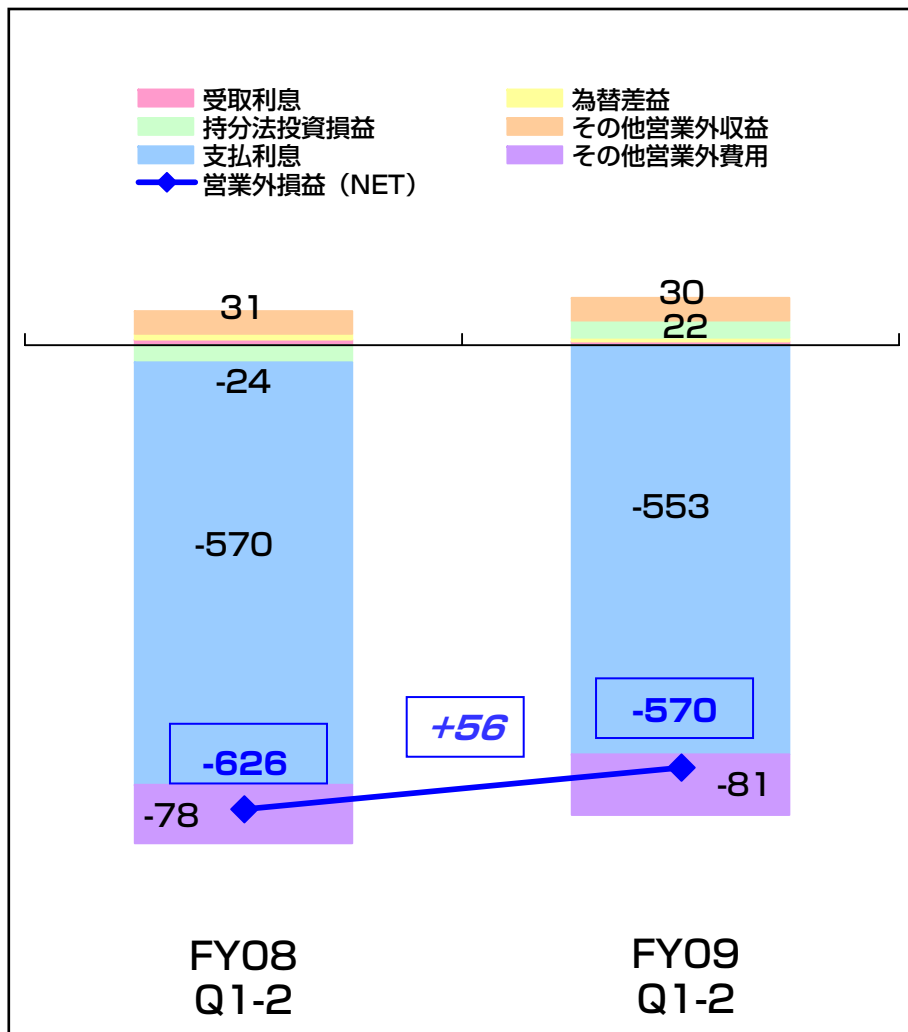
インターネット・カルチャー事業 +29億

- ・ヤフー 業務委託費など販売費及び一般管理費の減少 +27億

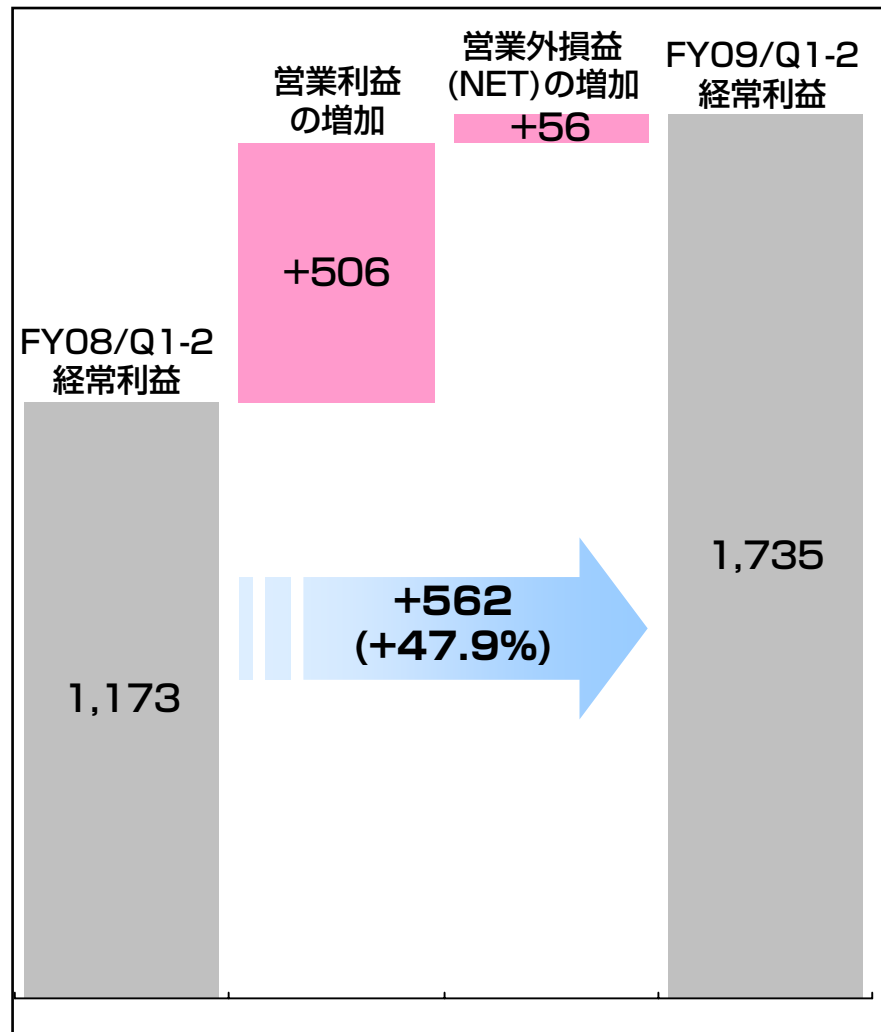
営業外損益と経常利益

<億円>

営業外損益



経常利益



税金・その他調整額の内訳

<億円>

FY09/Q1-2 主な税金費用の内訳

A	法人税、住民税および事業税	488
	(主な内訳)	
	1. ヤフー	277
	2. SBM 住民税および事業税 (BBM連結納税対象外)	168
	3. BBM 連結納税グループ法人税 (繰越欠損金はすべて使用済み)	19
B	法人税等調整額	347
	(主な内訳)	
	4. BBM 連結納税グループ 繰越欠損金利用など	239
	5. SBB 繰越欠損金利用など	101
	6. SBM 減価償却費等調整 (SBM連結時全面時価評価に伴うものの調整)	35
	税金費用合計(A+B)	835

税率差異

<億円>

FY09/Q1-2 主な税率差異要因

	率(%)	金額
税金等調整前四半期純利益		1,768
法定実効税率	40.7%	719
(主な税率差異要因)		
・ のれん償却 (主にSBM)	6.9%	121
・ 評価性引当額の増減	0.7%	11
・ その他	▲1.0%	▲17
法人税等の負担率	47.3%	835

SBM：ソフトバンクモバイル

繰越欠損金 (2009年9月末)

<億円>

会社名	前期末残高 〔課税所得 ベース〕	Q1-2発生 〔課税所得 ベース〕	Q1-2使用 〔課税所得 ベース〕	その他増減	Q2末残高 〔課税所得 ベース〕	繰延税金資産 (税額ベース)	有効期限
BBモバイル	771	-	▲771	-	-	-	
ソフトバンクテレコム	855	29	-	-	885	372	2013年3月~2017年3月
ソフトバンクBB	234	-	▲186	-	47	19	2013年3月
その他	1,291	283	▲69	▲28	1,477	587	2010年3月~2017年3月
全社合計	3,153	313	▲1,027	▲28	2,410	979	

評価性引当額 **▲900**

繰越欠損金に係る繰延税金資産B/S計上額 (全社合計) **78**

連結B/S增減分析

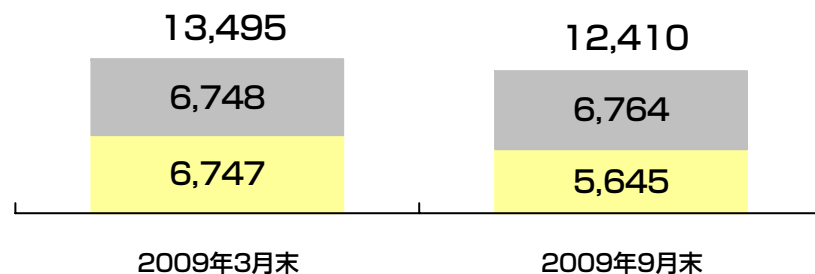
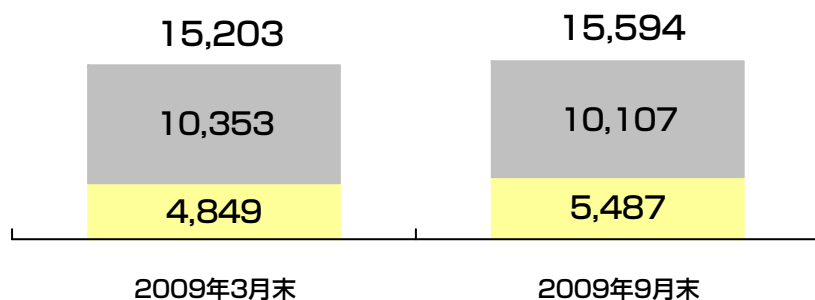
連結B/S 総括

■ SBM ■ SBM以外

<億円>

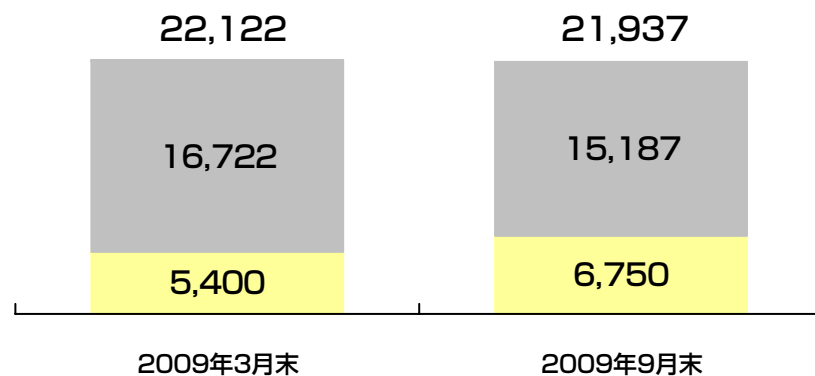
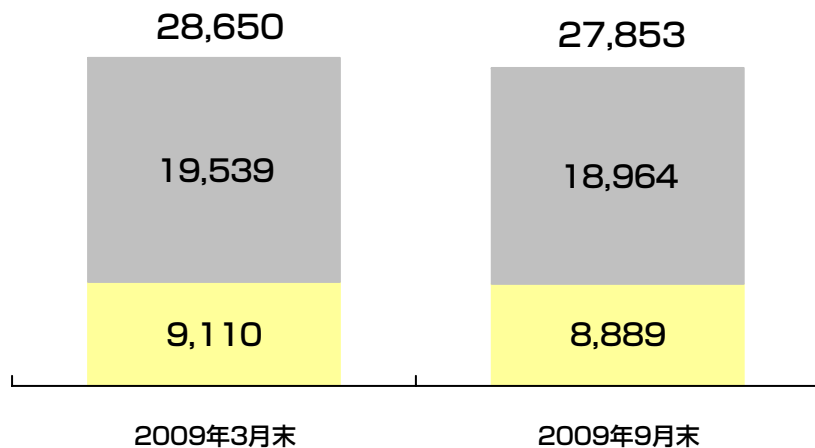
流動資産

流動負債



固定資産

固定負債



連結B/S (1) 流動資産

<億円>

資産	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
流動資産	15,203	15,594	391	
SBM	10,353	10,107	▲245	
その他	4,849	5,487	637	
現金及び預金	4,579	5,758	1,178	
SBM	2,666	2,725	59	営業活動による増加 (+1,672) 割賦債権流動化 (調達+1,202、返済▲1,205) 新規取得設備のリース化による収支 (入金+329、返済▲434) 固定資産取得による支出 (▲1,150) SBM借入返済 (▲658)
その他	1,913	3,032	1,119	SB単体：09/3末 (939) →09/9末 (1,487) 内訳／第27・28・29回無担保普通社債発行 (+1,550)、社債償還 (▲66) 借入金返済 (▲929)、 ヤフー：09/3末 (164) →09/9末 (683)
受取手形及び売掛金	8,580	8,023	▲557	
SBM	6,827	6,487	▲340	携帯電話端末の割賦売掛金 09/3末 (4,878) →09/9末 (4,648) 通信収入等売掛金 09/3末 (1,235) →09/9末 (1,307) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 09/3末 (664) →09/9末 (485)
その他	1,753	1,536	▲216	SBB：09/3末 (688) →09/9末 (564) SBTM：09/3末 (545) →09/9末 (458)
商品及び製品	423	407	▲15	
SBM	323	296	▲26	
その他	100	111	11	
繰延税金資産	930	662	▲267	
SBM	425	448	23	
その他	505	214	▲290	BBM：繰越欠損金利用など(▲314) SBB：繰越欠損金利用など(▲76)
その他	1,177	1,190	12	
SBM	523	534	11	
その他	654	655	1	
貸倒引当金	▲488	▲448	39	
SBM	▲411	▲384	26	
その他	▲77	▲64	12	

連結B/S (2) 有形固定資産

<億円>

資産	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
固定資産	28,650	27,853	▲796	
SBM	19,539	18,964	▲575	
その他	9,110	8,889	▲220	
有形固定資産	10,009	9,687	▲321	
SBM	6,971	6,774	▲196	
その他	3,038	2,913	▲125	
建物及び構築物	715	709	▲6	
SBM	294	282	▲11	
その他	421	426	5	
通信機械設備	7,389	7,197	▲192	
SBM	6,040	5,907	▲133	機械設備取得 (+367)、空中線設備等取得(+41)、償却等 (▲542)
その他	1,348	1,289	▲58	SBTM : 09/3末 (1,024) → 09/9末 (988) SBB : 09/3末 (277) → 09/9末 (245)
通信線路設備	796	761	▲35	
SBM	89	86	▲3	
その他	706	675	▲31	SBTM : 09/3末 (706) → 09/9末 (675)
土地	225	225	▲0	
SBM	108	108	0	
その他	117	117	▲0	
建設仮勘定	374	308	▲66	
SBM	173	156	▲17	
その他	201	152	▲48	SBTM : 09/3末 (140) → 09/9末 (121)
その他	507	485	▲22	
SBM	264	233	▲30	
その他	242	251	8	

連結B/S (3) 無形固定資産

<億円>

資産	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
固定資産				
無形固定資産	12,221	11,840	▲380	
SBM	10,774	10,491	▲283	
その他	1,446	1,348	▲97	
のれん	9,567	9,253	▲314	
SBM	8,785	8,528	▲257	規則的な償却による減少
その他	781	724	▲57	規則的な償却による減少
ソフトウェア	2,261	2,199	▲61	
SBM	1,897	1,846	▲51	
その他	363	353	▲9	
その他	392	387	▲4	
SBM	91	117	25	
その他	300	270	▲30	
投資その他の資産	6,419	6,325	▲94	
SBM	1,793	1,697	▲95	
その他	4,626	4,627	1	
投資有価証券	3,201	3,414	213	
SBM	17	20	3	
その他	3,183	3,394	210	Yahoo! Inc.の株価上昇(+184)
繰延税金資産	1,582	1,494	▲87	
SBM	1,285	1,219	▲66	
その他	296	275	▲21	
その他	2,007	1,703	▲303	
SBM	810	696	▲113	
その他	1,197	1,007	▲190	SBH:デリバティブ資産(▲203)
貸倒引当金(長期)	▲371	▲287	83	
SBM	▲319	▲238	81	
その他	▲51	▲48	2	
繰延資産	13	23	9	
SBM	-	-	-	
その他	13	23	9	

連結B/S (4) 流動負債

<億円>

負債	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
流動負債	13,495	12,410	▲1,085	
SBM	6,748	6,764	15	
その他	6,747	5,645	▲1,101	
支払手形及び買掛金	1,603	1,580	▲22	
SBM	1,005	1,066	61	
その他	598	514	▲84	SBB：09/3末(383)→09/9末(318) SBTM：09/3末(55)→09/9末(31)
短期借入金	5,755	3,904	▲1,850	
SBM	1,857	1,846	▲11	主に割賦債権流動化による借入
その他	3,897	2,058	▲1,839	SB単体：09/3末(3,360)→09/9末(1,755) コミットメントライン返済(▲1,600) SBTM：09/3末(209)→09/9末(9) ヤフー：09/3末(200)→09/9末(200)
1年内償還予定の社債	640	1,184	544	
SBM	-	-	-	
その他	640	1,184	544	SB単体：第22・24回無担保普通社債の長期からの振替(+544)
未払金及び未払費用	3,521	3,379	▲141	
SBM	2,688	2,581	▲106	社債のデット・アサンプションに係る追加信託義務の長期からの振替(+750)、 設備未払金などの減少(▲848)
その他	833	798	▲34	
リース債務	882	994	112	
SBM	867	943	75	長期からの振替(+509)、リース料支払い(▲434)
その他	15	51	36	
その他	1,092	1,366	273	
SBM	331	327	▲3	
その他	761	1,038	276	ヤフー未払法人税等(+285)

連結B/S (5) 固定負債

<億円>

負債	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
固定負債	22,122	21,937	▲185	
SBM	16,722	15,187	▲1,535	
その他	5,400	6,750	1,350	
社債	3,245	4,185	939	
SBM	-	-	-	
その他	3,245	4,185	939	SB単体：第27・28・29回無担保普通社債の発行(+1,550) 第22・24回無担保普通社債の1年内償還予定の社債への振替 (▲544)
長期借入金	14,362	14,179	▲183	
SBM	13,057	12,406	▲650	SBM借入 09/3末(11,848)→09/9末(11,189) ポーダフォン劣後ローン 09/3末(845)→09/9末(845) 割賦債権流動化による借入 09/3末(362)→09/9末(371)
その他	1,305	1,772	466	SB単体：09/3末(50)→09/9末(726) ヤフー：09/3末(100)→09/9末(-)
繰延税金負債	287	285	▲2	
SBM	-	-	-	
その他	287	285	▲2	
ポイント引当金	418	427	9	
SBM	418	427	9	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	2,333	2,168	▲164	
SBM	2,276	2,095	▲180	新規調達(+329)、1年内へ振替(▲509)
その他	56	72	16	
その他	1,475	691	▲783	
SBM	970	257	▲713	社債のデット・アサンプションに係る追加信託義務の未払金及び未払費用 への振替(▲750)
その他	504	434	▲70	

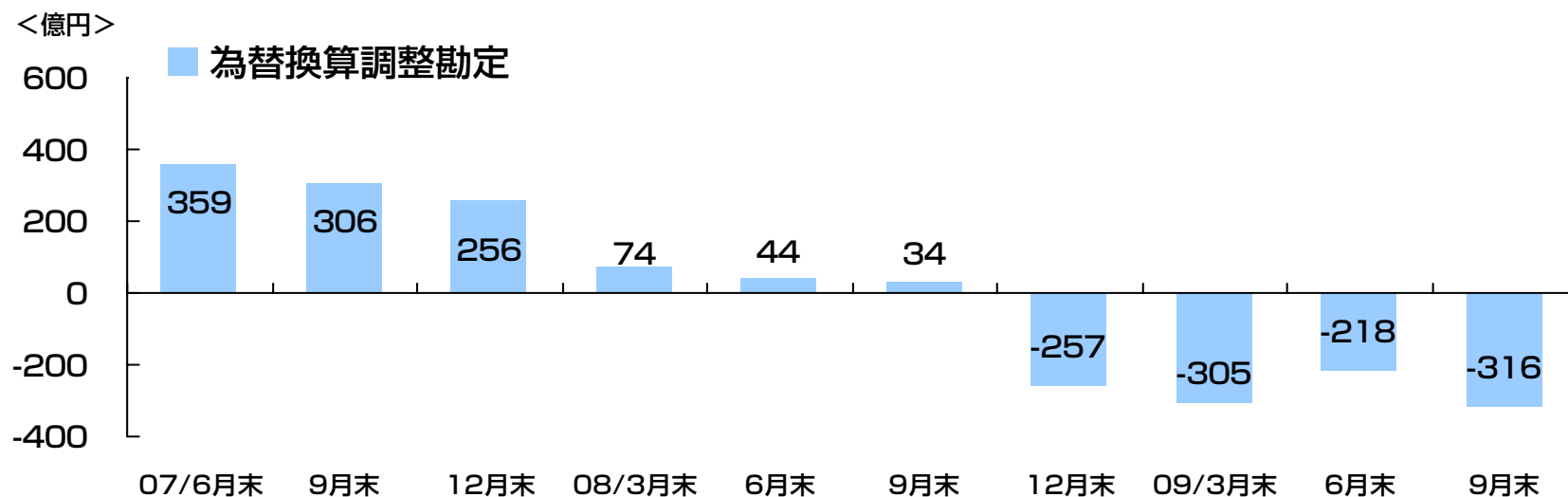
SB：ソフトバンク SBM：ソフトバンクモバイル

連結B/S (6) 純資産

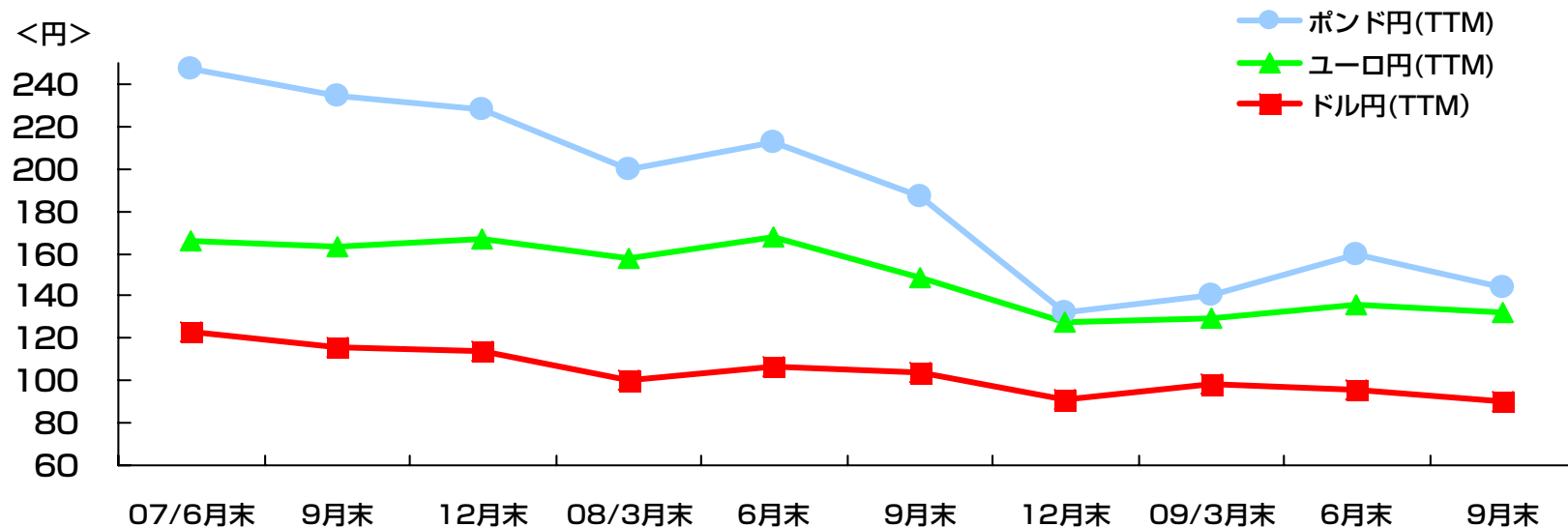
<億円>

純資産	2009年3月末	2009年9月末	増減	摘要
純資産の部	8,247	9,123	875	
株主資本	3,481	4,179	697	
資本金	1,876	1,887	10	
資本剰余金	2,119	2,122	2	
利益剰余金	▲ 512	171	684	四半期純利益 (+707)、配当金 (▲27)
自己株式	▲ 2	▲2	▲0	
評価・換算差額等	258	252	▲6	
その他有価証券評価差額金	313	442	129	Yahoo! Inc.の株価上昇など
繰延ヘッジ損益	251	126	▲124	
為替換算調整勘定	▲ 305	▲316	▲10	
新株予約権	2	3	0	
少数株主持分	4,504	4,687	183	BBM 09/9末 (3,000) ※Vodafone International Holdings B.V.に対する優先株 ヤフー 09/3末 (1,322) →09/9末 (1,494)

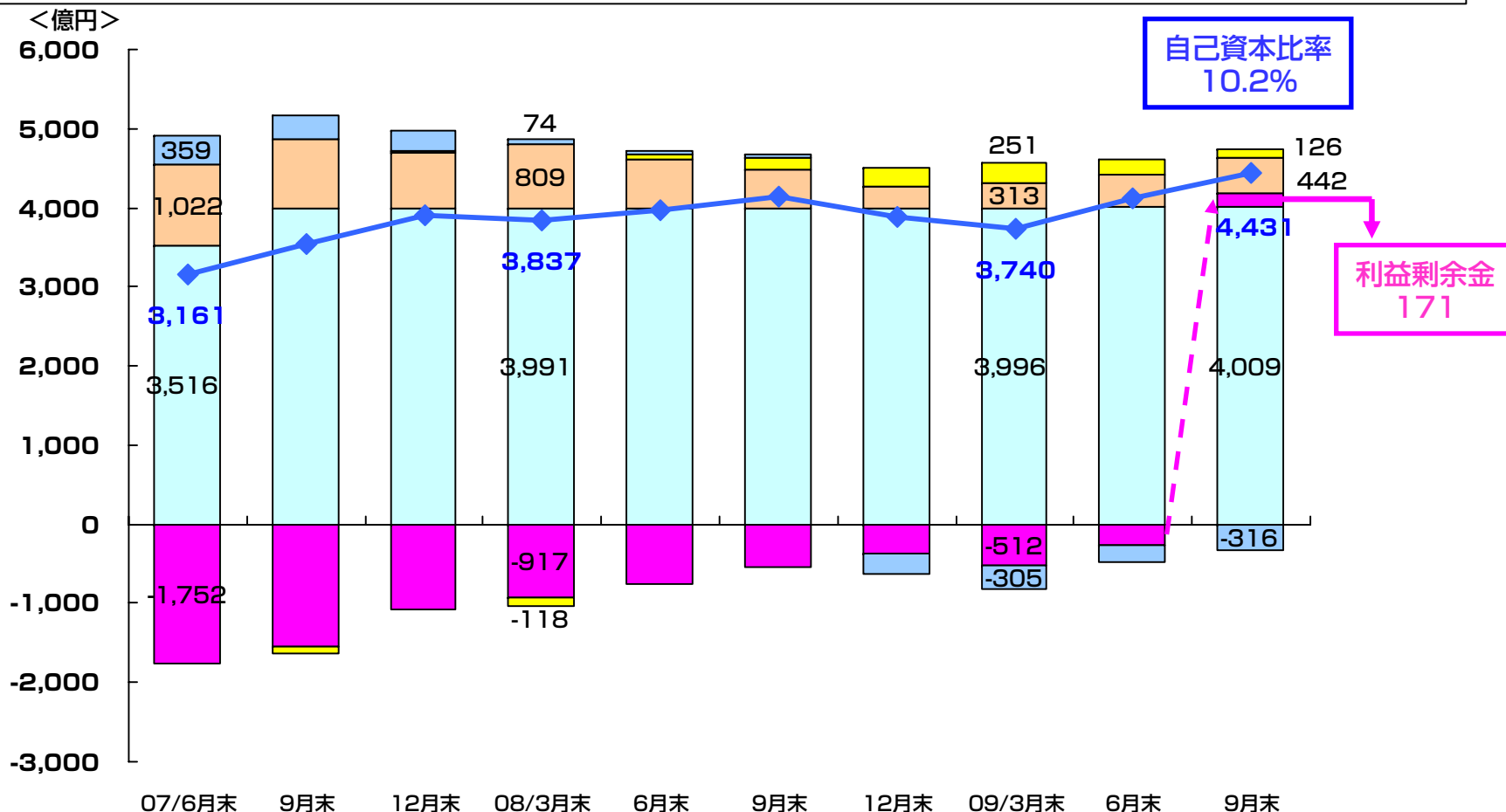
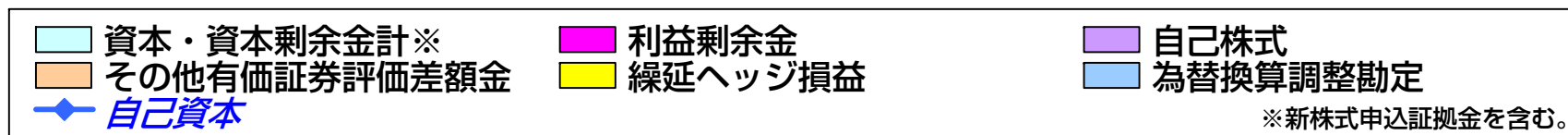
[純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響



<参考> 主要な為替レートの推移



[純資産]自己資本の推移



連結C/F增減分析

連結キャッシュフロー 主な内訳

<億円>

2009/9末
5,734

2009/3末

営業CF
+3,153

投資CF
▲1,382

財務CF
▲590

4,576

1,768

1,200

305

279

355

-20 仕入債務減少

-173 法人税等の支払額

-1,441 有形無形固定資産取得

-121 投資有価証券等取得

155 投資有価証券等売却

-1,485 短期借入金減少

2,017 長期借入による収入

-2,501 長期借入の返済による支出

社債発行

1,536

新規取得設備リース化による収入

389

-445 リース債務返済による支出

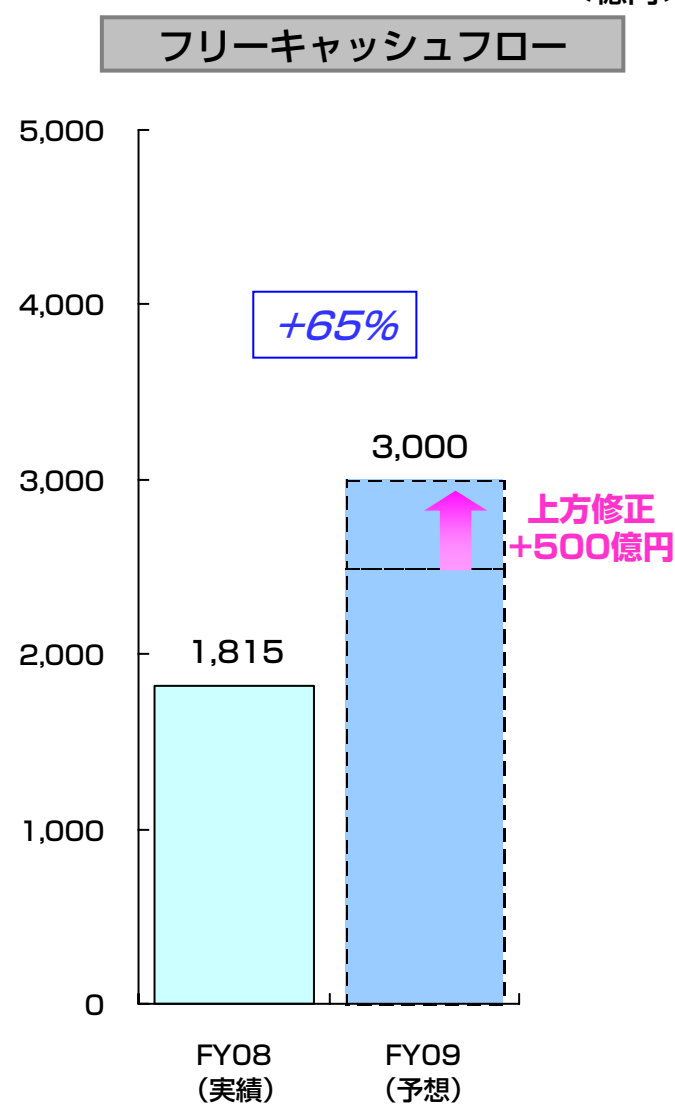
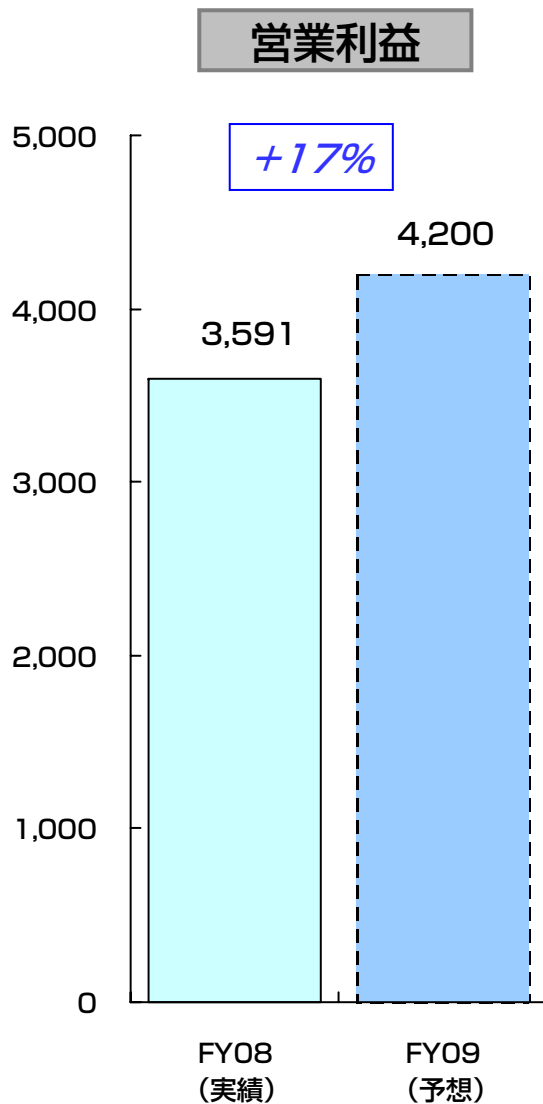
現金及び現金同等物の四半期末残高

現金及び現金同等物の期首残高

※連結キャッシュフロー計算書に記載している項目のうち、主なものを記載しています。

連結業績予想

<億円>



※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

連結範囲および持分法適用の範囲

		社数	主な会社名
連結子会社数		110	ソフトバンクモバイル、ソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム、ヤフー、ソフトバンク・テクノロジー、アイティメディアなど
	新たに連結子会社となった会社数	5	
	連結の範囲から除外された会社数	3	
非連結子会社数 (③=①+②)		66	重要性の低い小規模な会社
持分法適用非連結子会社数 ①		5	
	新たに持分法適用となった会社数	1	
持分法適用関連会社数		58	ガンホー・オンライン・エンターテイメント、マイスペース、Alibaba Group Holding Limitedなど
	新たに持分法適用となった会社数	—	
	持分法適用から除外された会社数	12	
持分法非適用非連結子会社数 ②		61	重要性の低い小規模な会社
持分法非適用関連会社数④		25	重要性の低い小規模な会社

非連結子会社、持分法非適用関連会社の損益および有利子負債の状況			<億円>
	社数	純利益 (持分割合考慮後)	有利子負債 (グループ外部)
非連結子会社③	66	▲1.6	1.9
持分法非適用関連会社④	25	▲1.7	—



財務編

ソフトバンク株式会社
財務部長

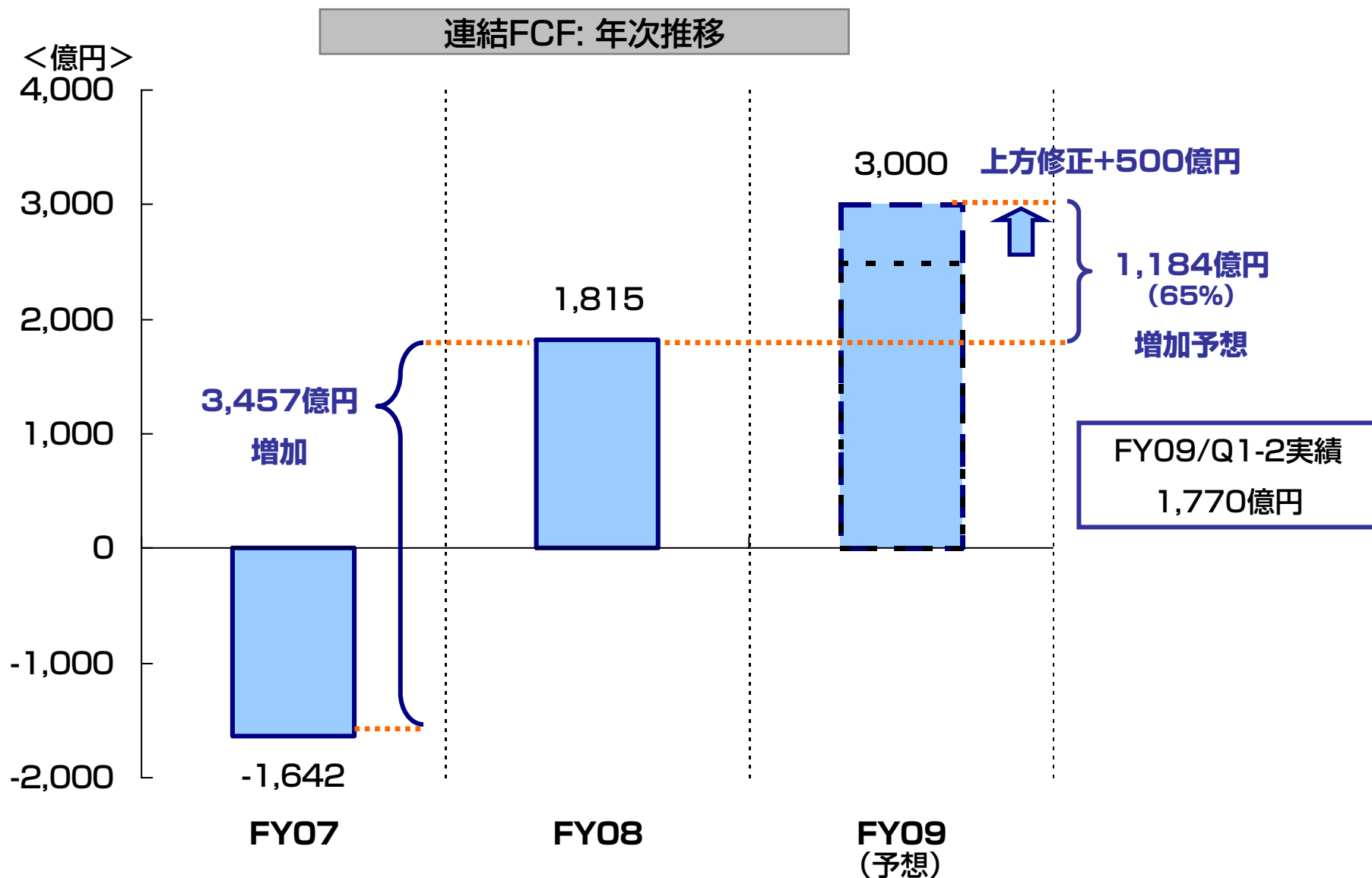
後藤 芳光

2009年4～9月期の主な財務活動

<億円>

年月	内容	金額
2009年6月	第27回無担保普通社債発行 (福岡ソフトバンクホークスbond)	600
2009年6月	携帯電話端末割賦債権流動化調達	702
2009年7月	第28回無担保普通社債発行	300
2009年9月	第29回無担保普通社債発行 (福岡ソフトバンクホークスbond)	650
2009年9月	コミットメントライン更改	2,356
2009年9月	携帯電話端末割賦債権流動化調達	499

フリーキャッシュフロー実績／予想



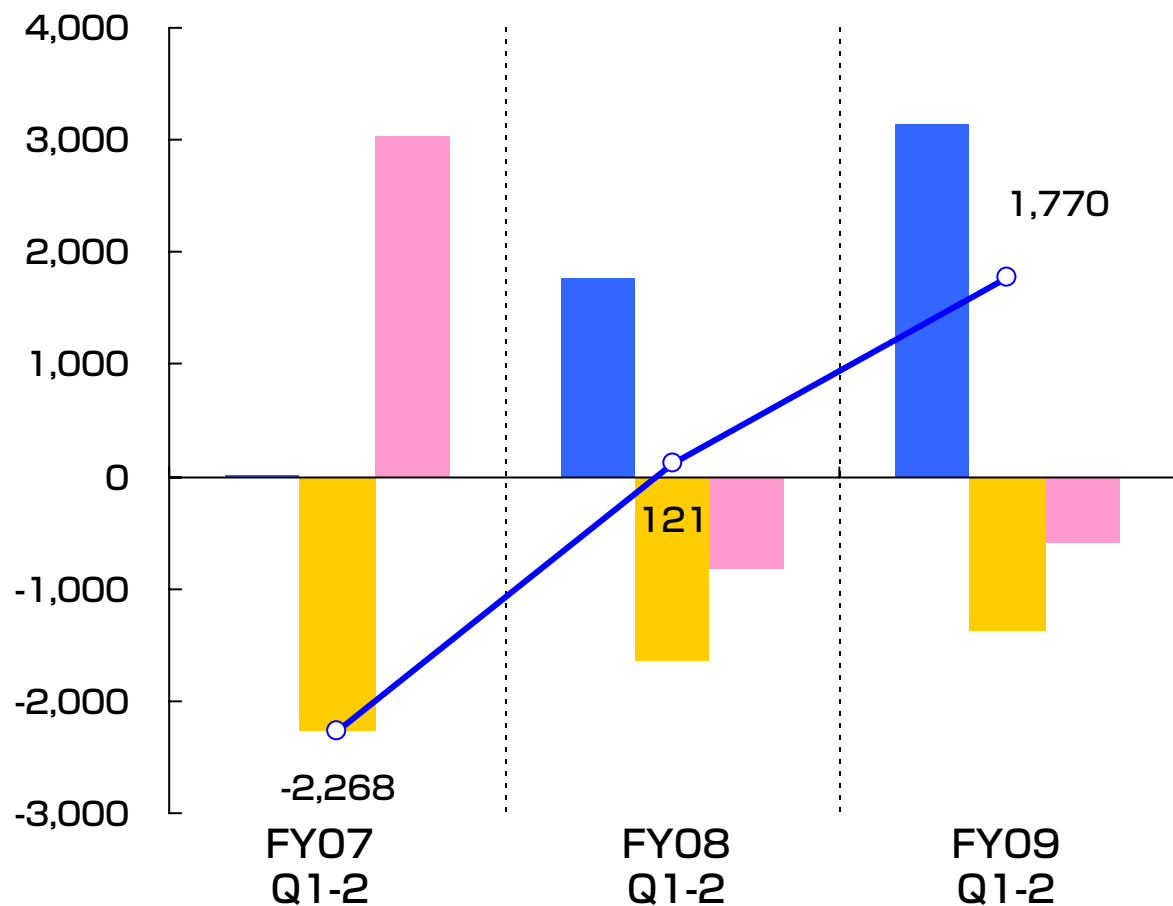
※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

キャッシュフローの推移

連結CF: Q1-2 推移

<億円>

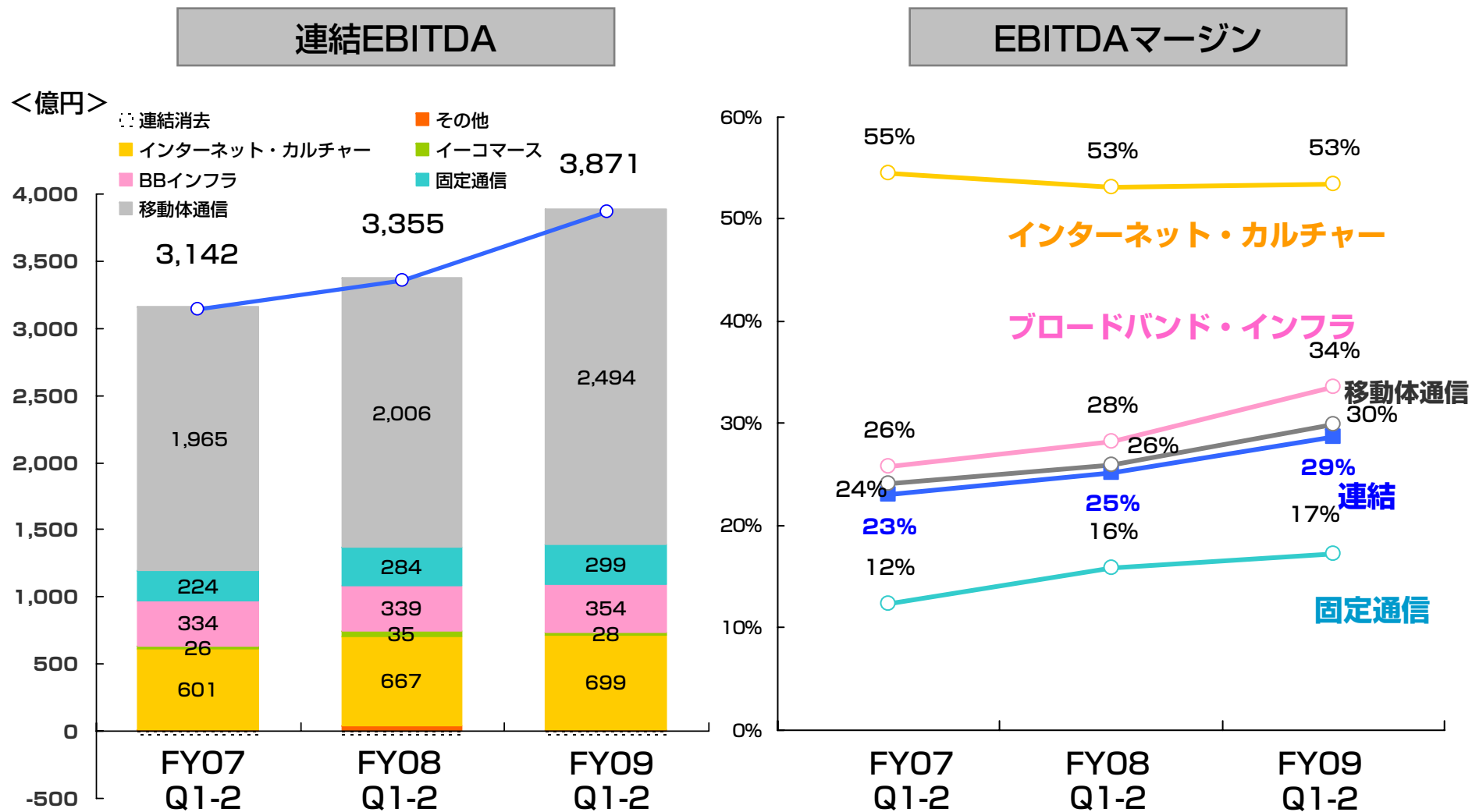
■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ○ FCF



※フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

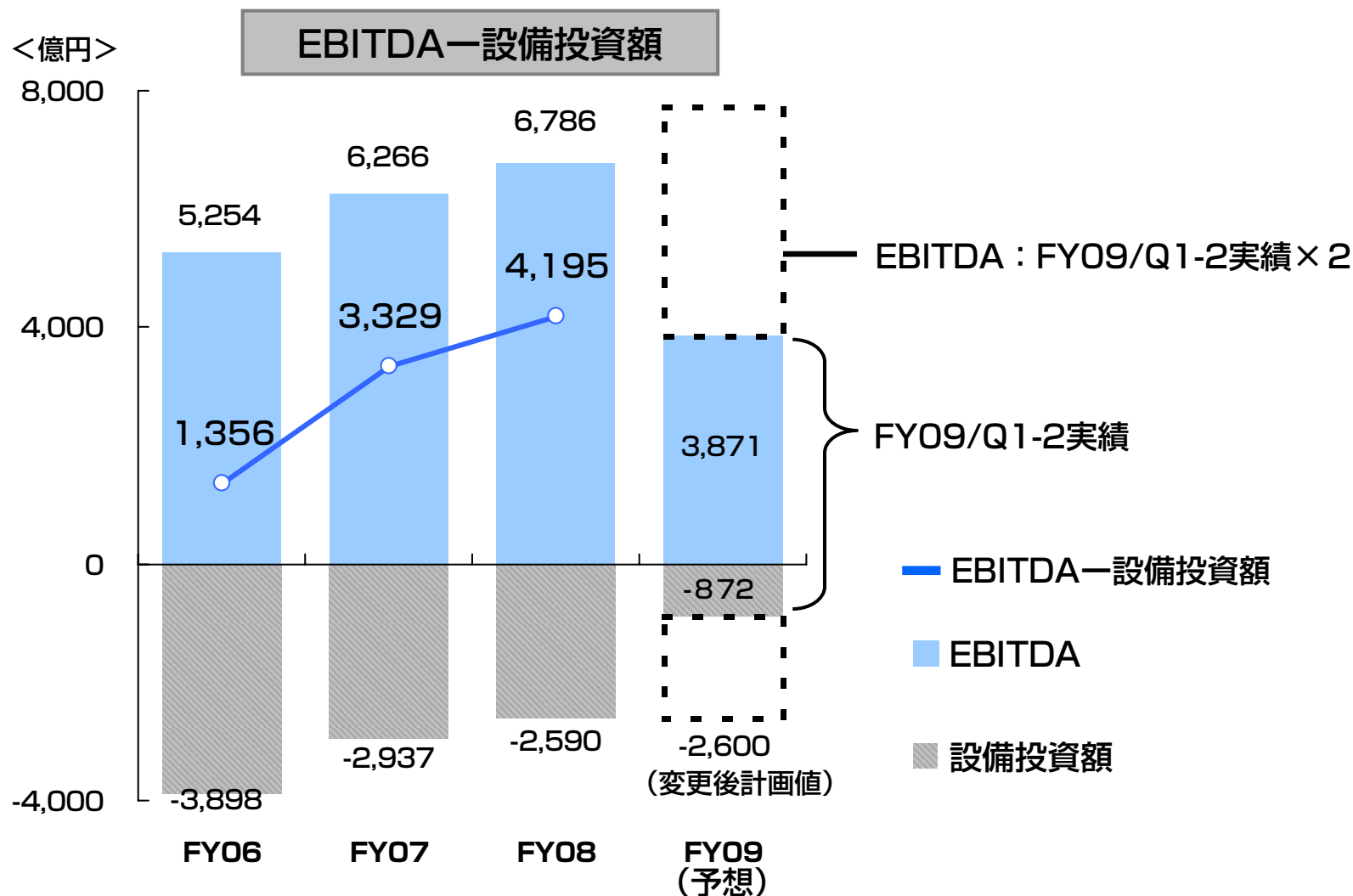
■各セグメントともにEBITDAは着実に成長



※EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 営業費用に含まれる固定資産除却損

EBITDA－設備投資額

EBITDAの拡大により着実に増加



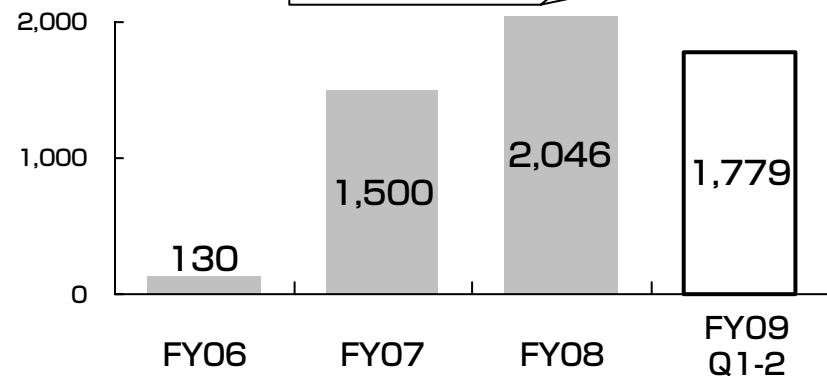
※ 1. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却額＋営業費用に含まれる固定資産除却損
2. 設備投資は実行ベース

EBITDA－設備投資額（主要セグメント別）

EBITDA－設備投資額

<億円>

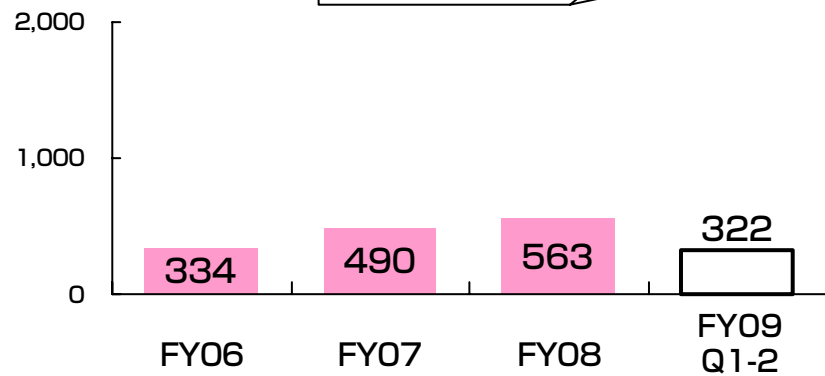
移動体通信



通期

上期

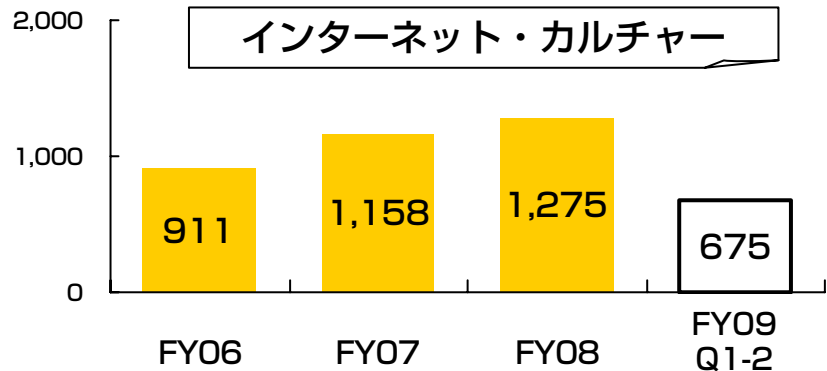
BBインフラ



通期

上期

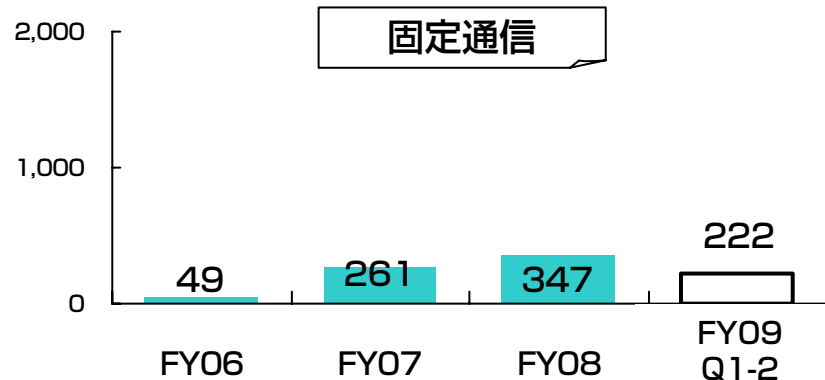
インターネット・カルチャー



通期

上期

固定通信

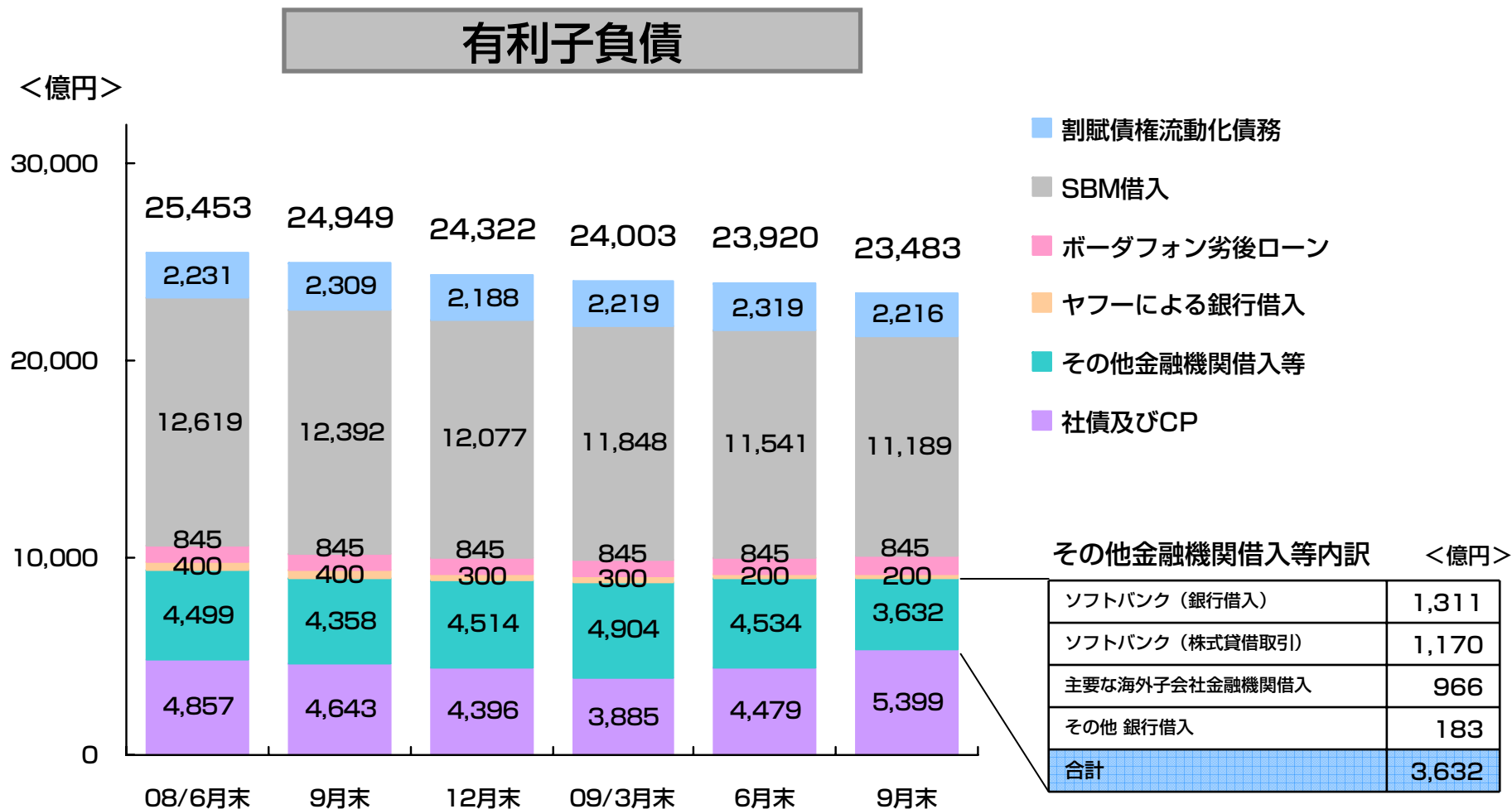


通期

上期

- ※ 1. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却額＋営業費用に含まれる固定資産除却損
- 2. 設備投資額は実行ベース
- 3. BBインフラ：ブロードバンド・インフラ

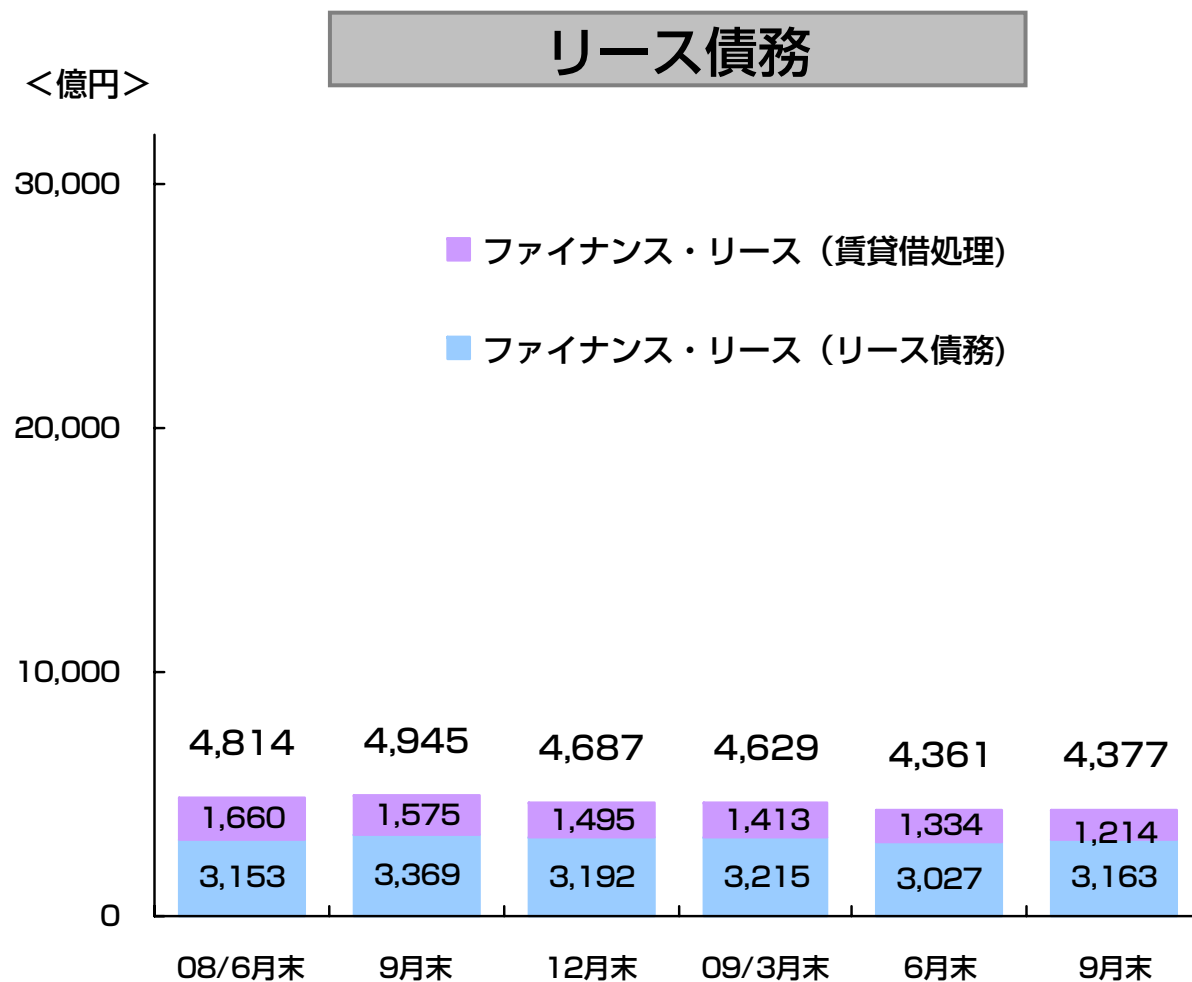
有利子負債（調達手段別）



※ 1. リース債務は含まず。リース債務は次ページ参照

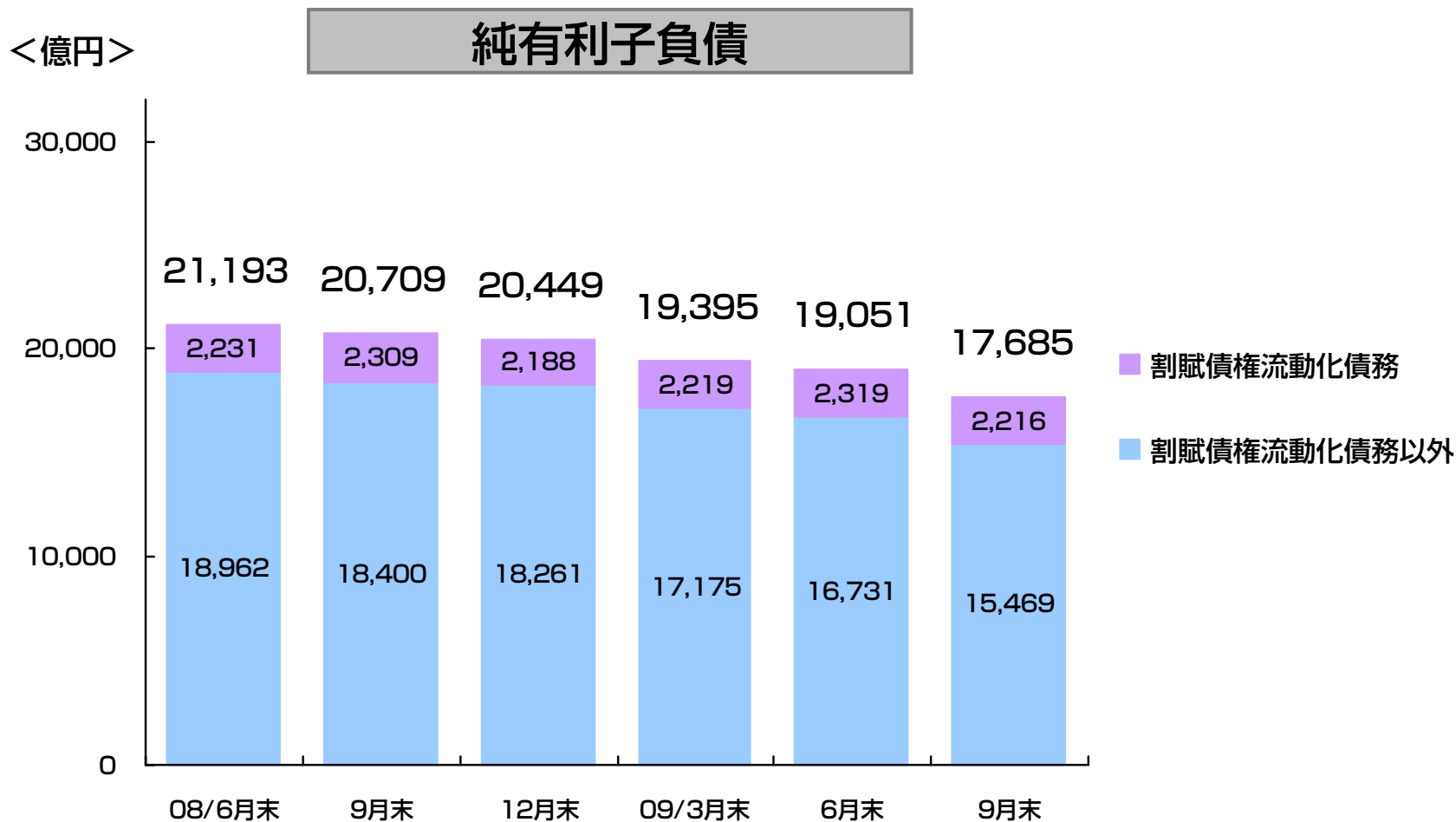
2. SBM借入：ソフトバンクモバイルが借入主体のWBS借入残高

リース債務



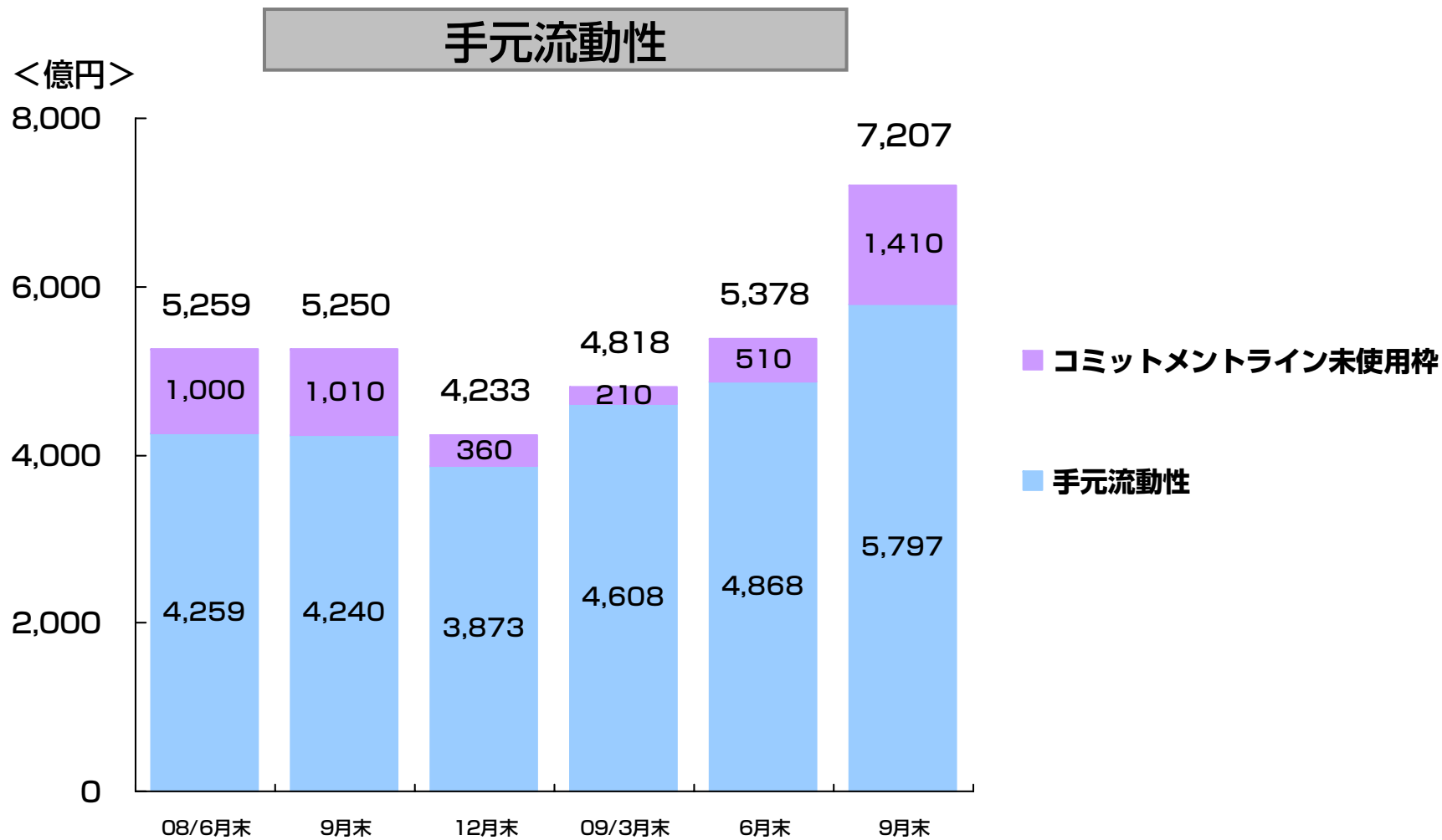
※2008年4月1日より前の取引は貸借処理

純有利子負債



- ※ 1. 純有利子負債＝有利子負債(リース債務を含まず)－手元流動性
2. 手元流動性(現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券)

手元流動性

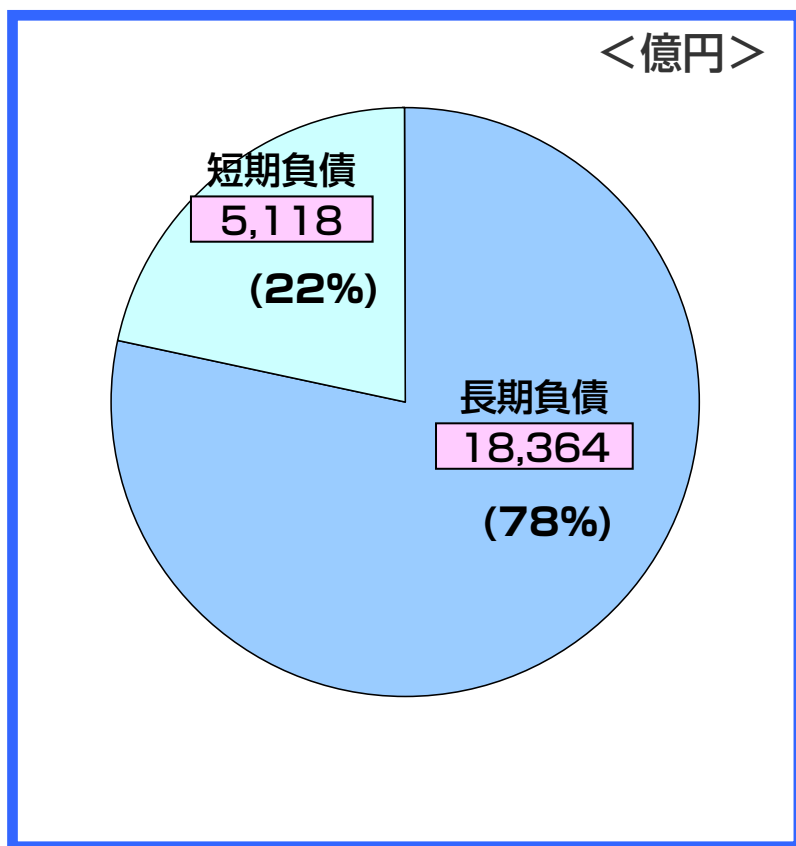


※ 1. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

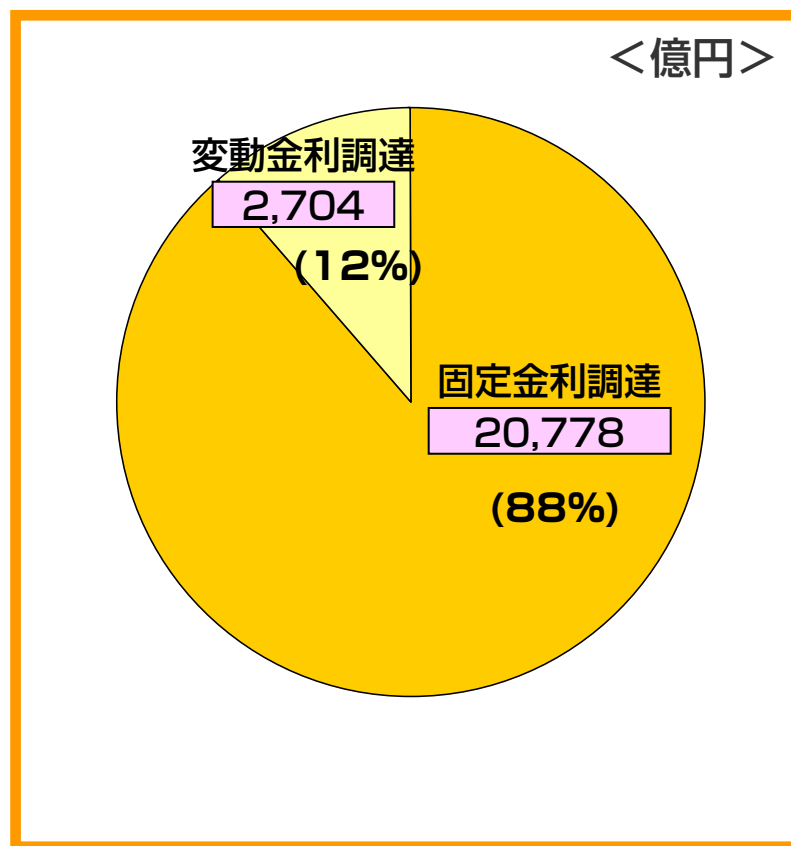
2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額

有利子負債の長短・固定変動比率（09年9月末）

有利子負債
長短比率



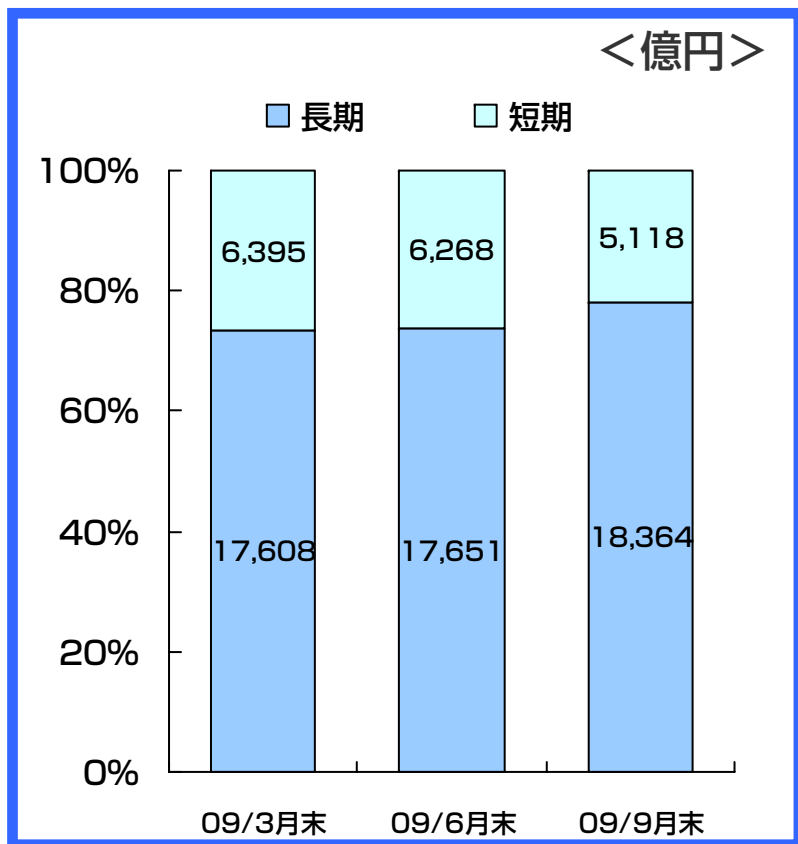
有利子負債
固定変動比率



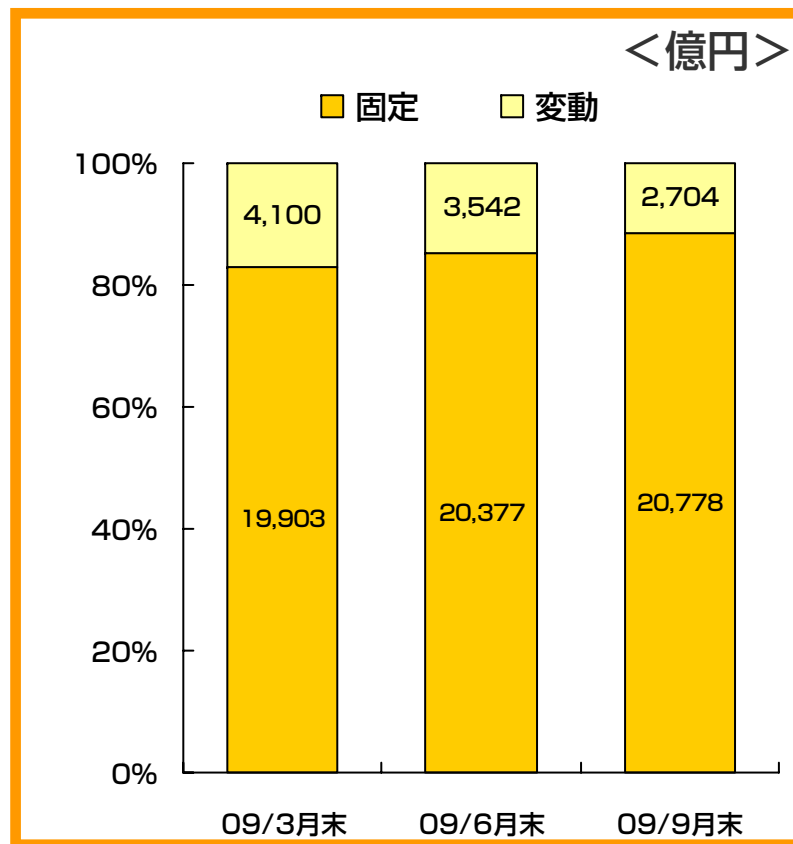
※有利子負債はリース債務を含まず

有利子負債の長短・固定変動比率推移

有利子負債
長短比率



有利子負債
固定変動比率



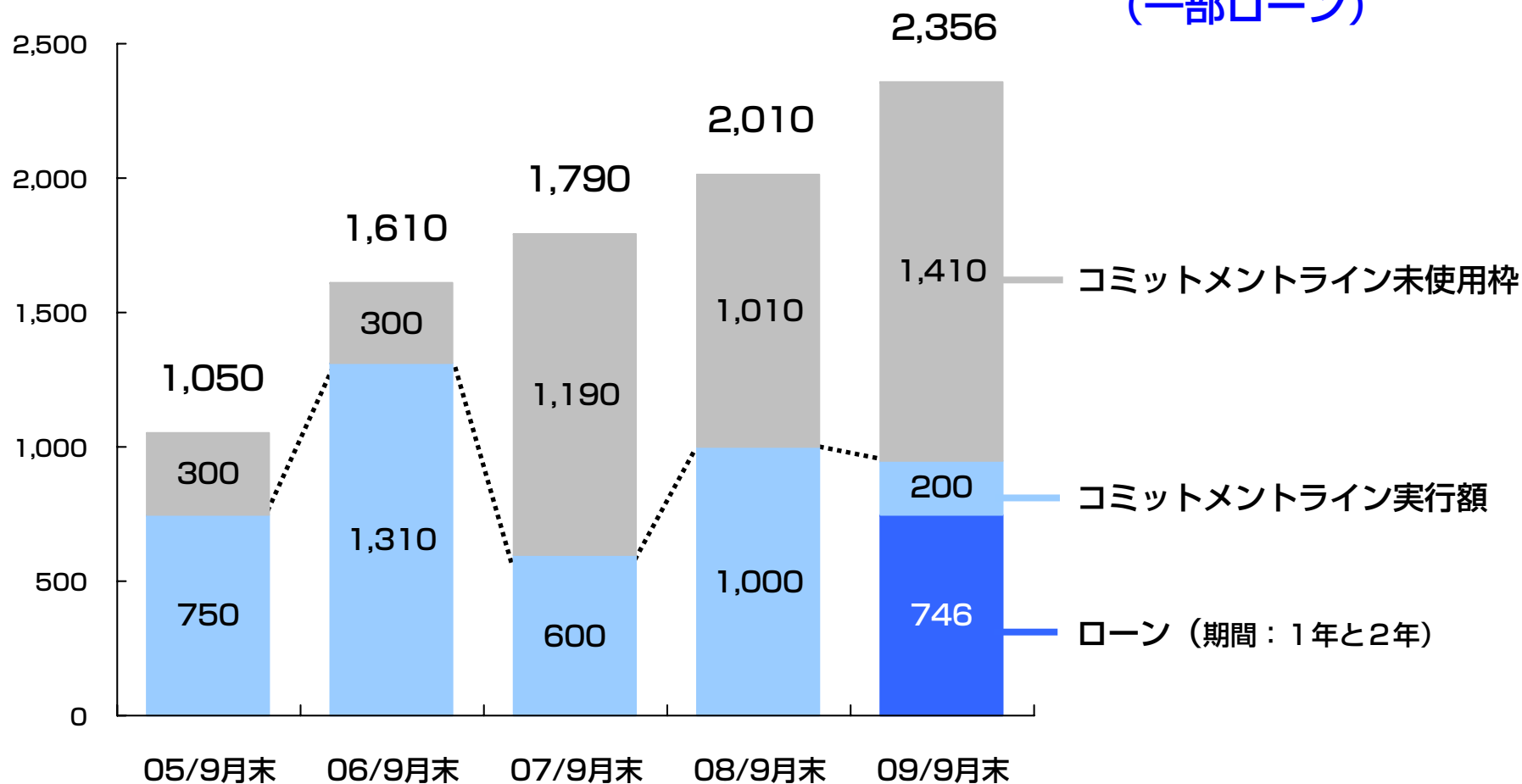
※有利子負債はリース債務を含まず

コミットメントライン更改

コミットメントライン推移

<億円>

346億円の増額更改
(一部ローン)



※コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額

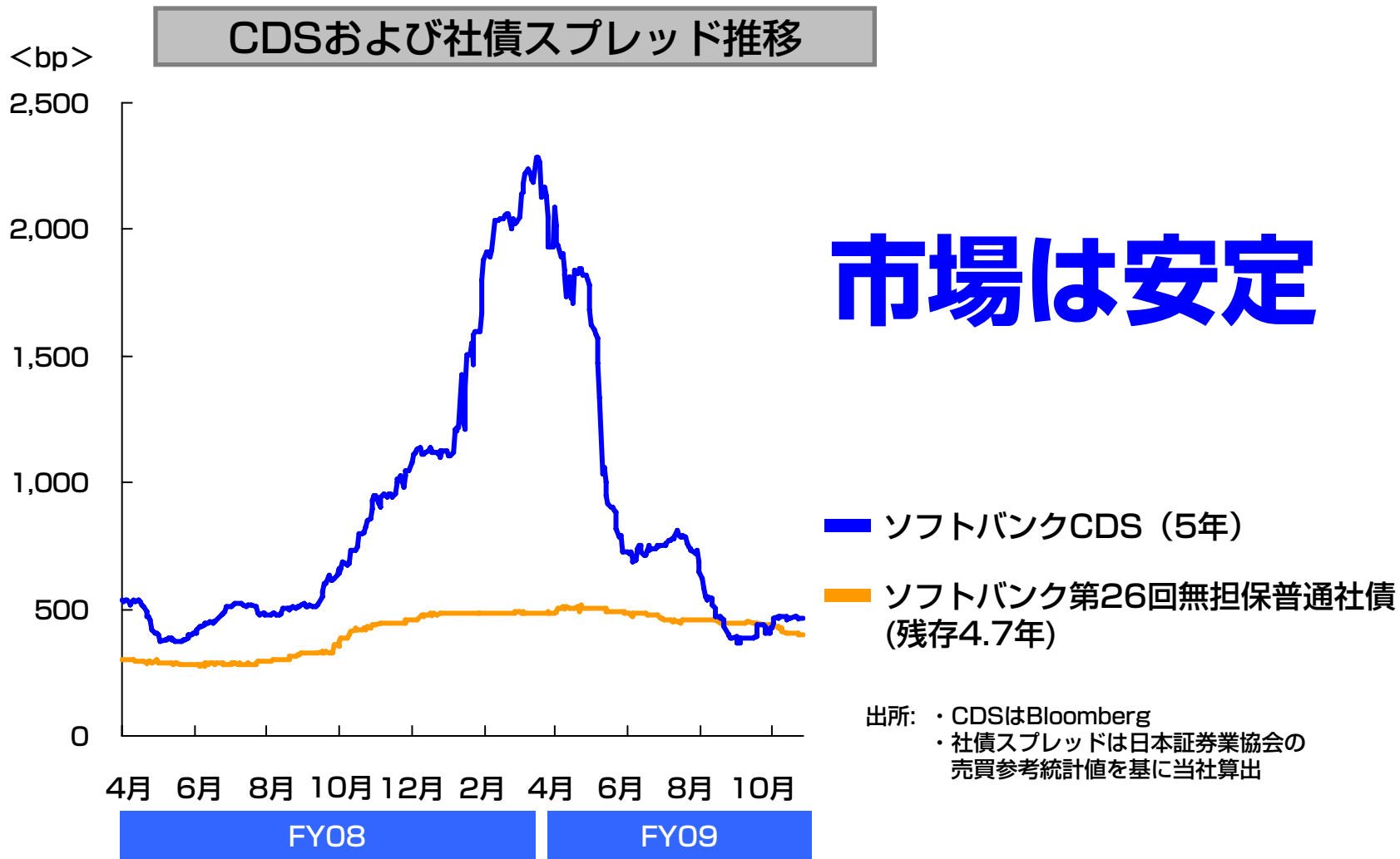
FY09/Q1-2 社債発行

月	内容	金額	対象	利率	年限
6月	第27回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークスbond)	600億円	個人投資家	年5.10%	2年
7月	第28回無担保普通社債	300億円	機関投資家	年4.72%	3年
9月	第29回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークスbond)	650億円	個人投資家	年4.52%	3年

上期発行総額 1,550億円

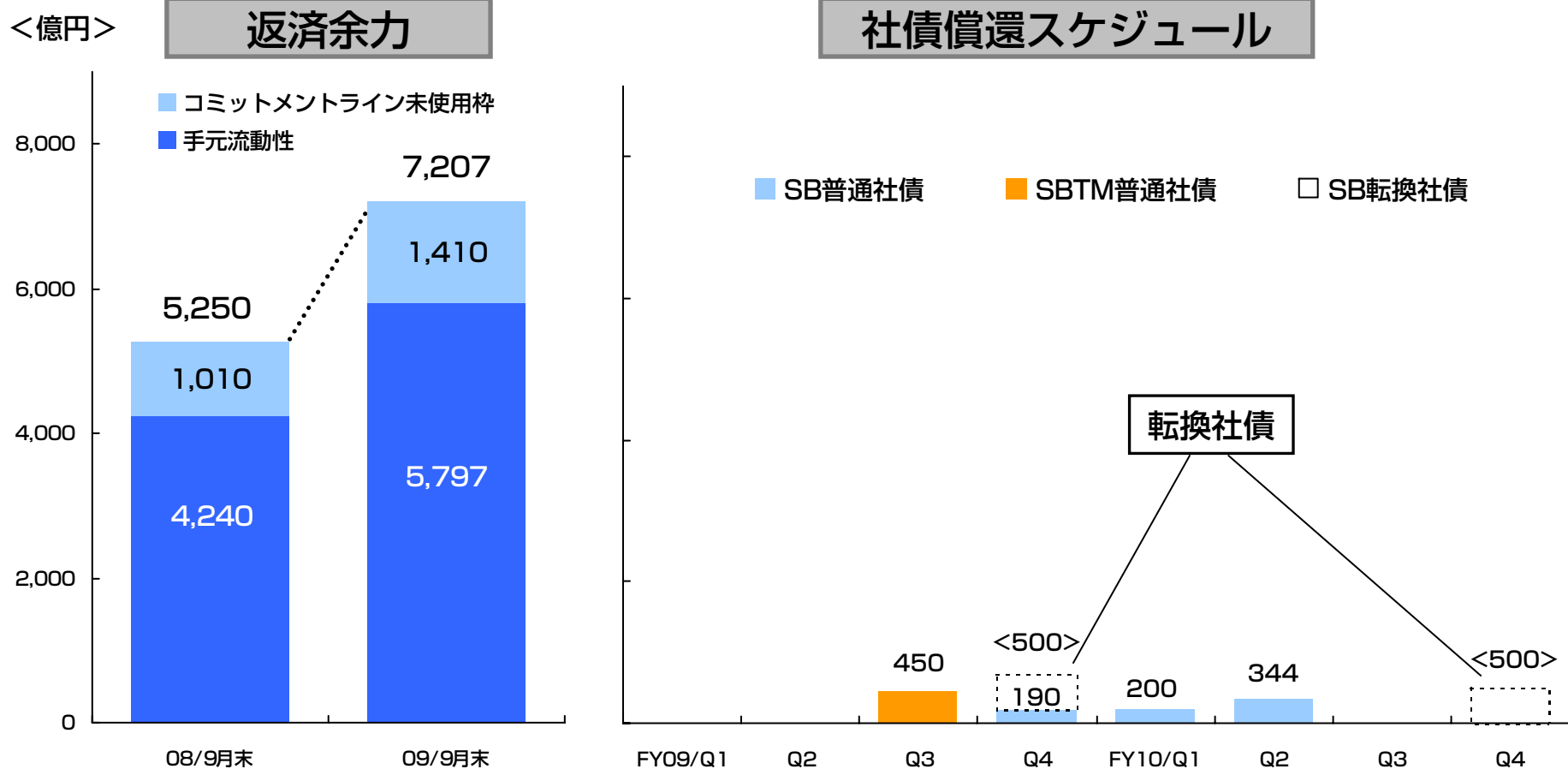
- ・ 長期安定資金の確保
- ・ 純有利子負債削減方針に変更なし

当社クレジットの推移



社債償還スケジュール

■十分な返済余力を保有



- ※ 1. SB転換社債：債券保有者の請求により、2013年満期転換社債は2010年3月に、2014年満期転換社債は2011年3月に、それぞれ繰上償還の可能性がある。
 上表ではそれらが行使された場合を想定して表示
2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額
3. SB：ソフトバンク、SBTM：ソフトバンクテレコム

社債明細表

<百万円>

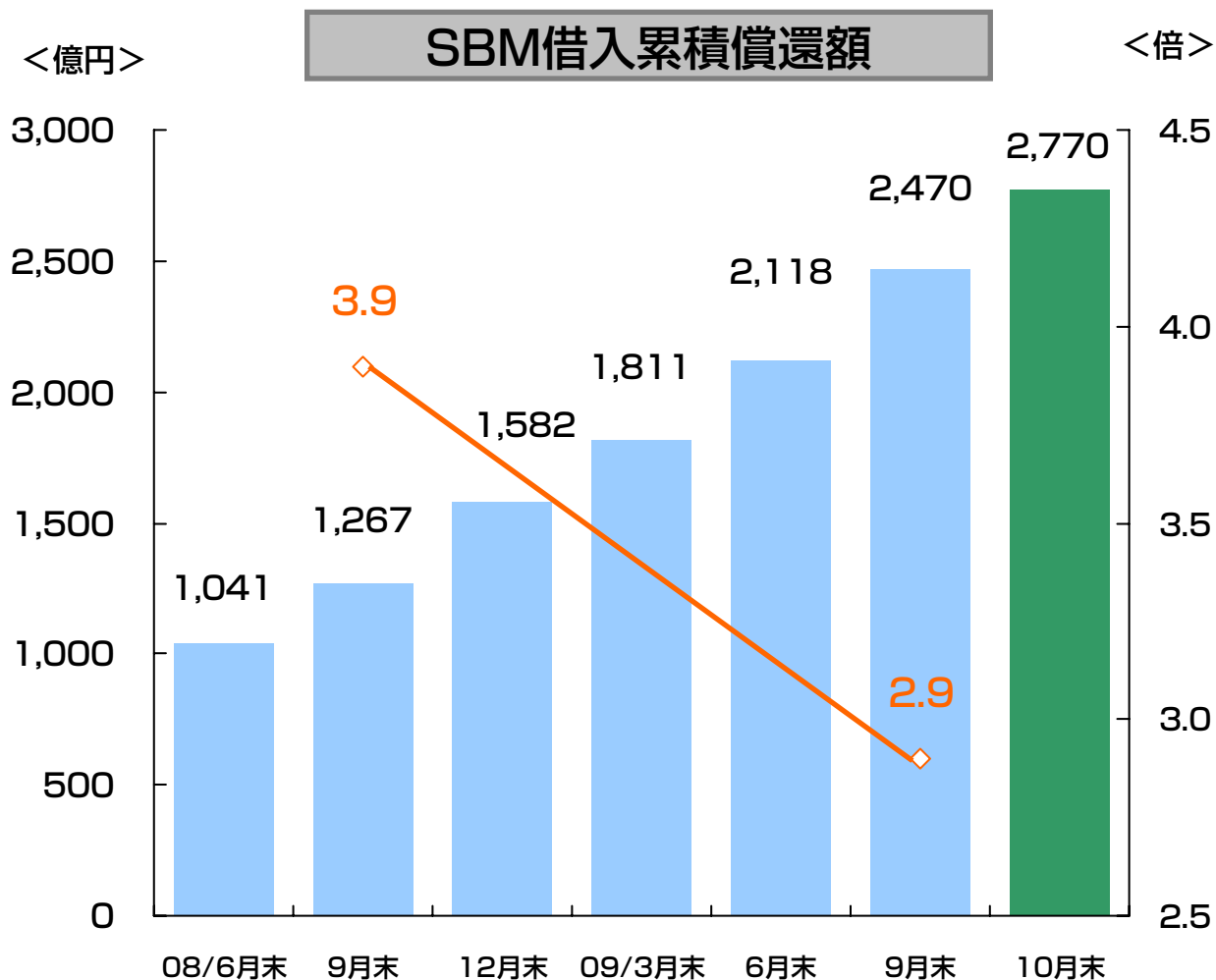
会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	09年3月末	09年9月末	対前四半期末比
ソフトバンク	第19回無担保普通社債	2005年1月31日	2010年1月29日	1.97	なし	19,000	19,000	—
	第24回無担保普通社債 (第3回福岡ソフトバンクホークス [®])	2007年4月26日	2010年4月26日	2.72	なし	20,000	20,000	—
	第22回無担保普通社債	2005年9月14日	2010年9月14日	1.98	なし	36,400	34,400	▲2,000
	第27回無担保普通社債 (第4回福岡ソフトバンクホークス [®])	2009年6月11日	2011年6月10日	5.10	なし	—	60,000	60,000
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	53,900	53,500	▲400
	第28回無担保普通社債	2009年7月24日	2012年7月24日	4.72	なし	—	30,000	30,000
	第29回無担保普通社債 (第5回福岡ソフトバンクホークス [®])	2009年9月18日	2012年9月18日	4.52	なし	—	65,000	65,000
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 ^(※1)	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	50,000	50,000	—
	2013年満期ユーロ円建普通社債	2006年10月12日	2013年10月15日	7.75	なし	51,766 (388Mユーロ)	47,603 (355Mユーロ)	▲4,162
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債 ^(※1)	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	50,000	50,000	—
第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	15,000	14,900	▲100	
ソフトバンクテレコム	第1回無担保普通社債	2004年12月7日	2009年12月7日	2.00	なし	45,000	45,000	—
	第2回無担保普通社債	2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	—
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	—
その他の社債	—	—	—	—	—	100	100	—
合計	—	—	—	—	—	388,566	536,903	148,337

※1. 2013年満期転換社債、2014年満期転換社債は、債券保有者の請求により、それぞれ2010年3月、2011年3月に繰上償還の可能性がある
また、一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性がある

2. 実質的ディファイザンスを実施したソフトバンクモバイルの普通社債は含まず。当該社債の償還資金についてはみずほコーポレート銀行により信用補完

SBM借入累積償還額

■計画を上回るペースで返済中



移動体通信事業
レバレッジレシオ

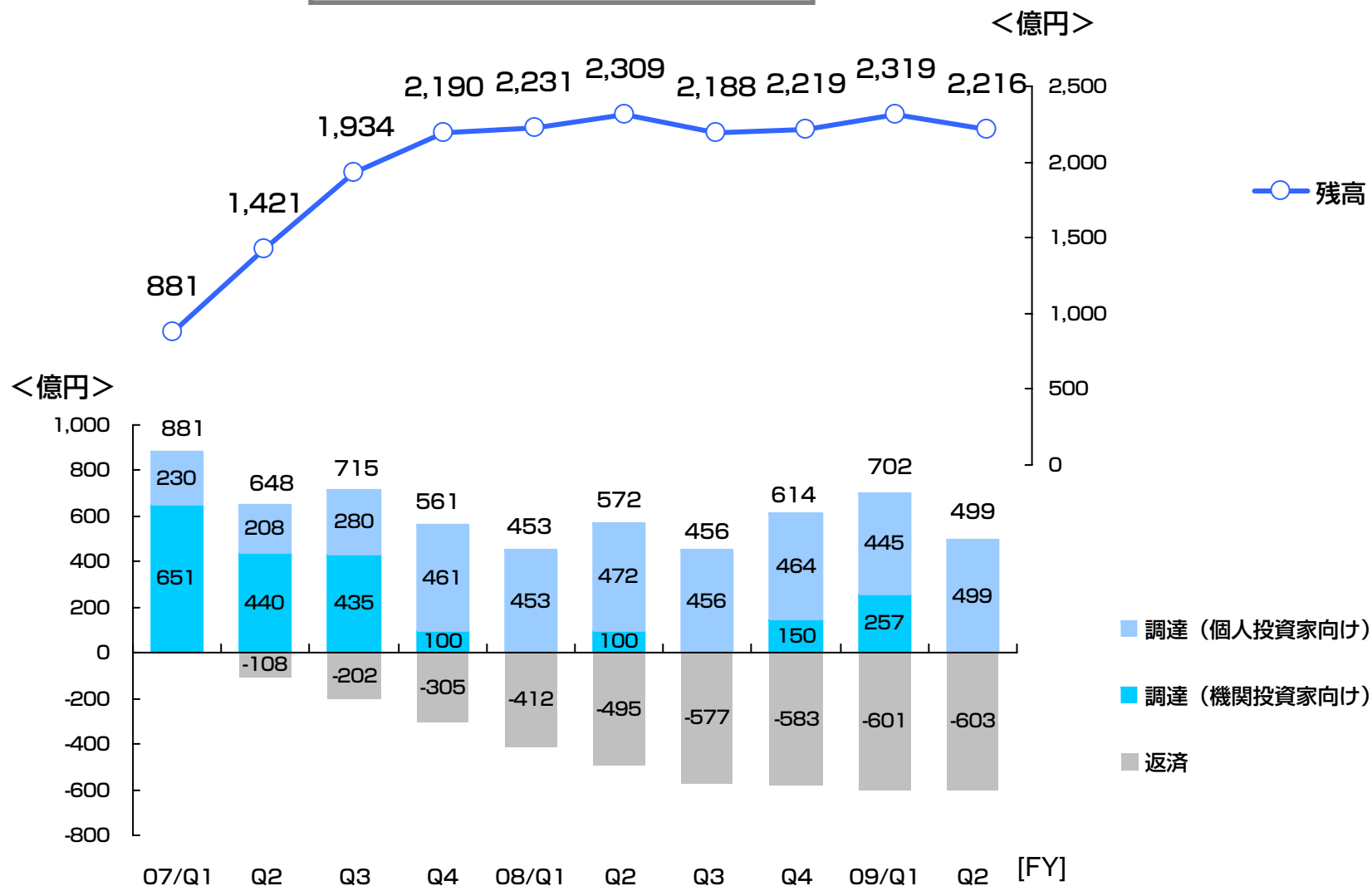
2.9倍
(09/9月末)

純有利子負債ベース
2.3倍

- ※ 1. レバレッジレシオ=有利子負債(リース債務を含まず)÷EBITDA年換算 (移動体通信事業)
- ※ 2. 純有利子負債=有利子負債(リース債務を含まず)－手元流動性
- ※ 3. SBM借入：ソフトバンクモバイルが借入主体のWBS借入残高

移動体通信事業の割賦債権流動化（借入金）

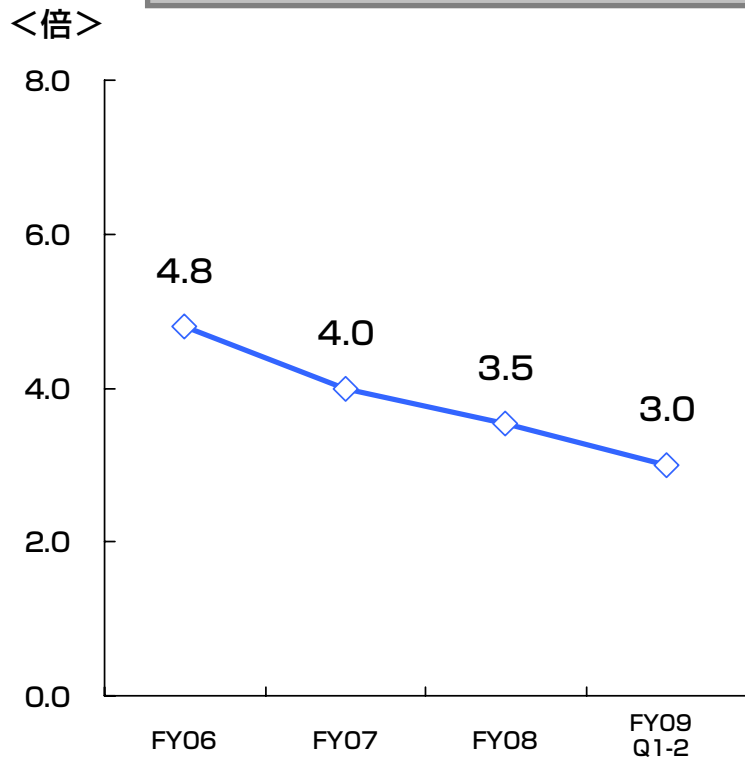
割賦債権流動化（借入金）



指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

EBITDAが拡大し有利子負債削減へ

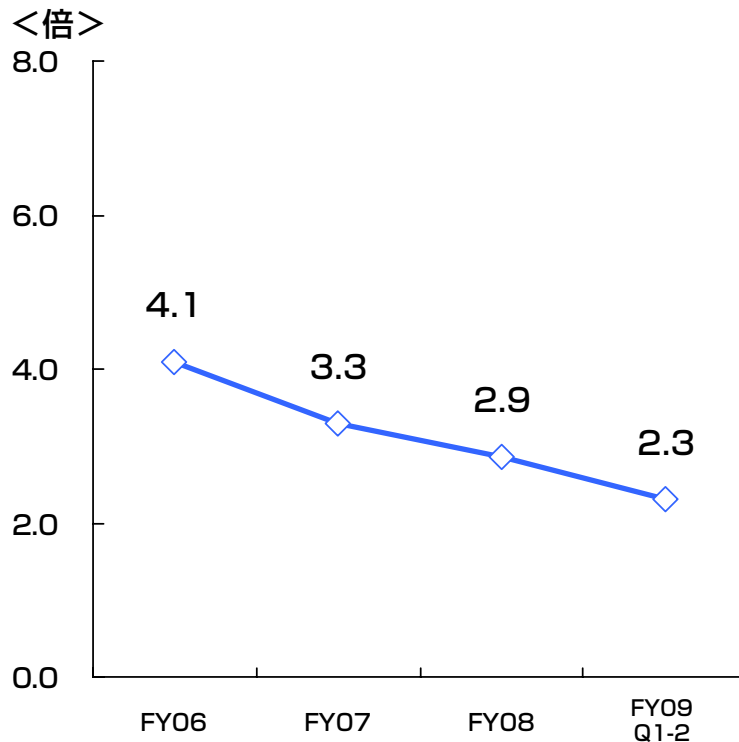
有利子負債／EBITDA倍率



通期

上期

(ご参考) 純有利子負債／EBITDA倍率



通期

上期

※ 1. FY06の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正

2. 有利子負債はリース債務を含まず

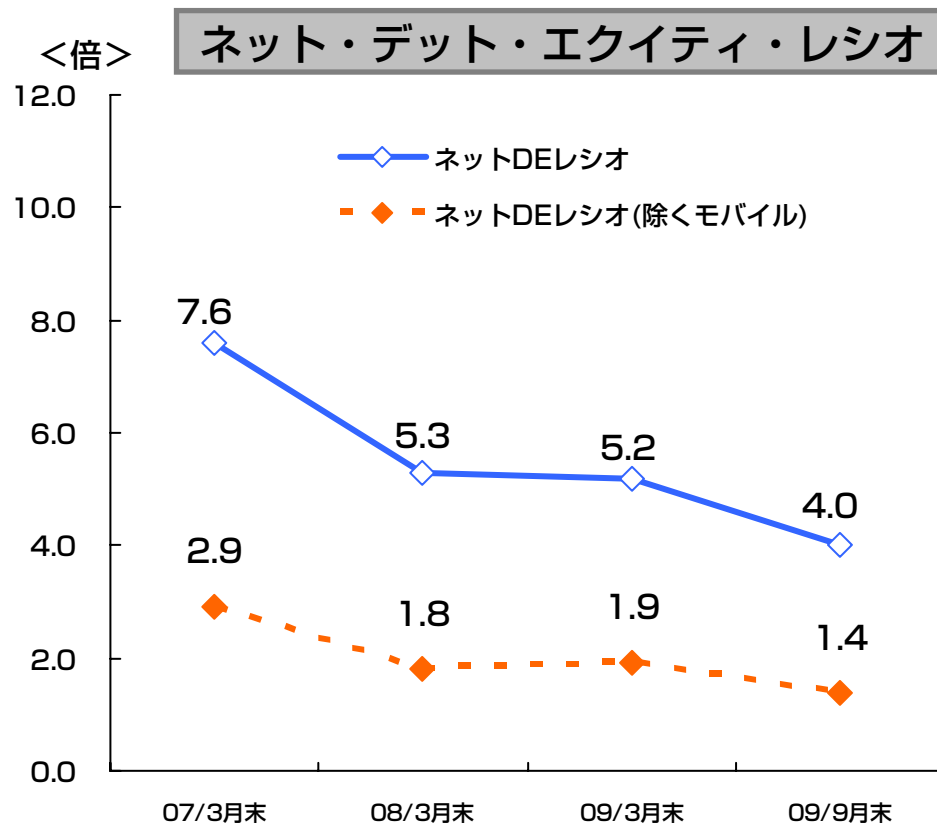
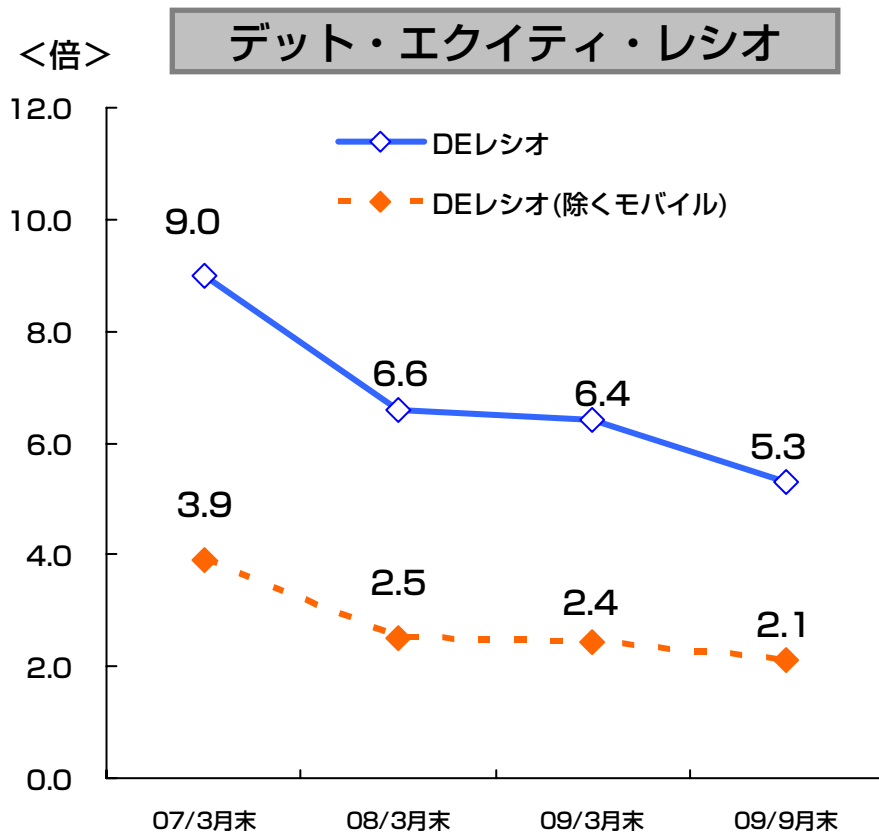
3. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費+営業費用に含まれる固定資産除却損

4. FY09のEBITDAは年換算 (Q1-2実績×2)

5. 純有利子負債=有利子負債(リース債務を含まず)-手元流動性

指標改善② デット・エクイティ・レシオ

■着実に改善



※1. デット・エクイティ・レシオ=有利子負債÷自己資本

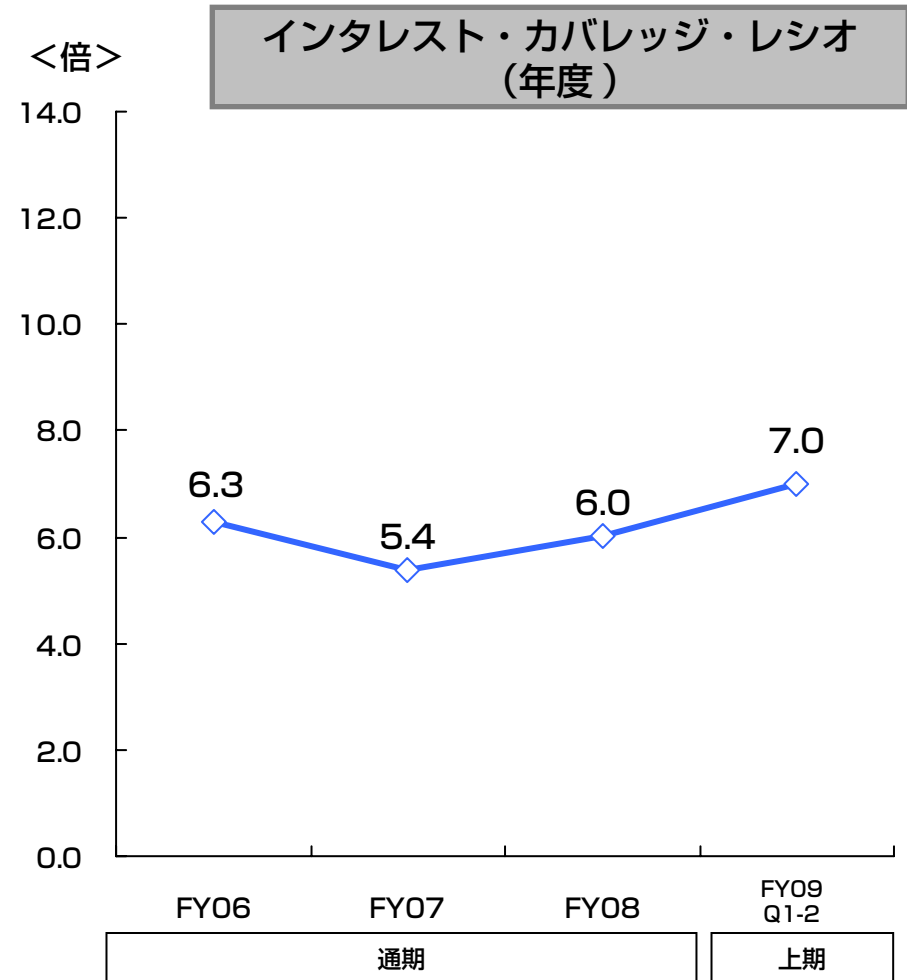
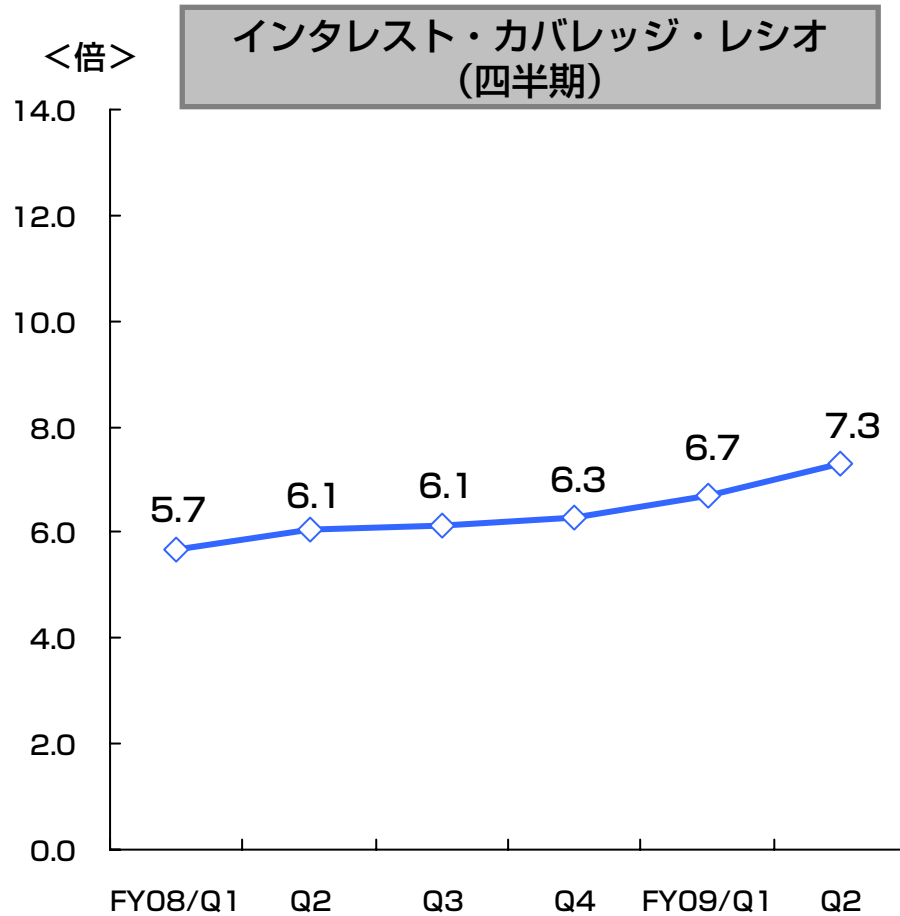
2. FY06の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正

有利子負債はリース債務を含まず

3. 除くモバイル：連結有利子負債および純有利子負債残高からソフトバンクモバイルおよびBBモバイルの残高をそれぞれ控除

指標改善③ インタレスト・カバレッジ・レシオ

■安定的な水準を維持

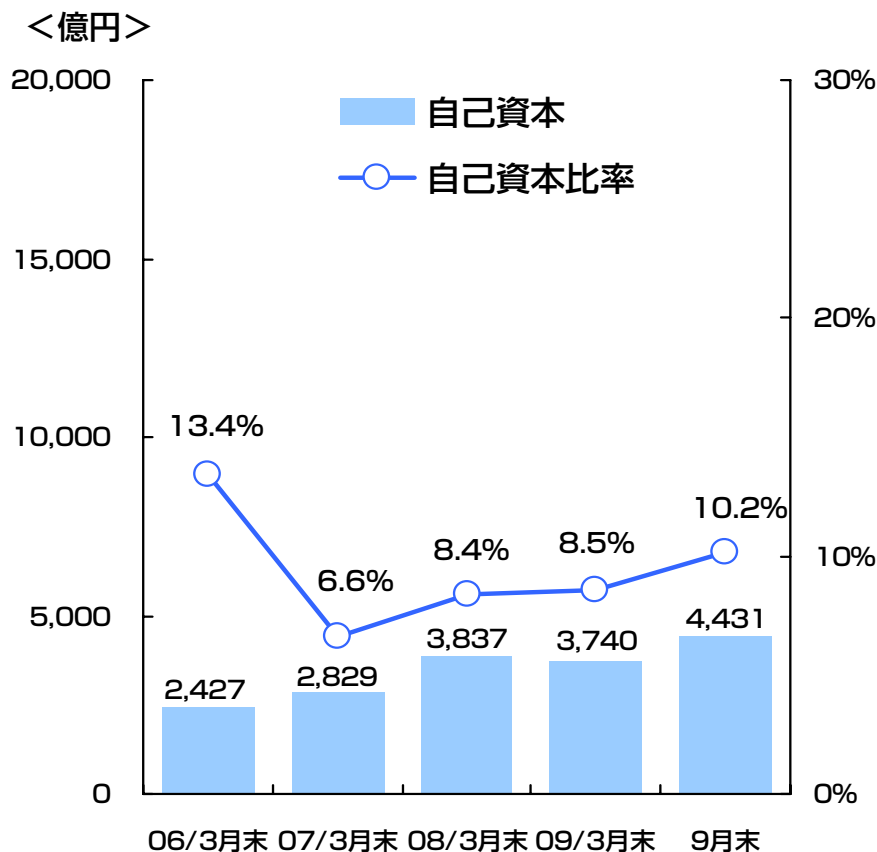


- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ=EBITDA÷支払利息
- 2. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費+営業費用に含まれる固定資産除却損
- 3. FY09のEBITDAは年換算 (Q1-2実績×2)
- 4. FY06の支払利息には株券等寄託取引手数料を遡及修正しております

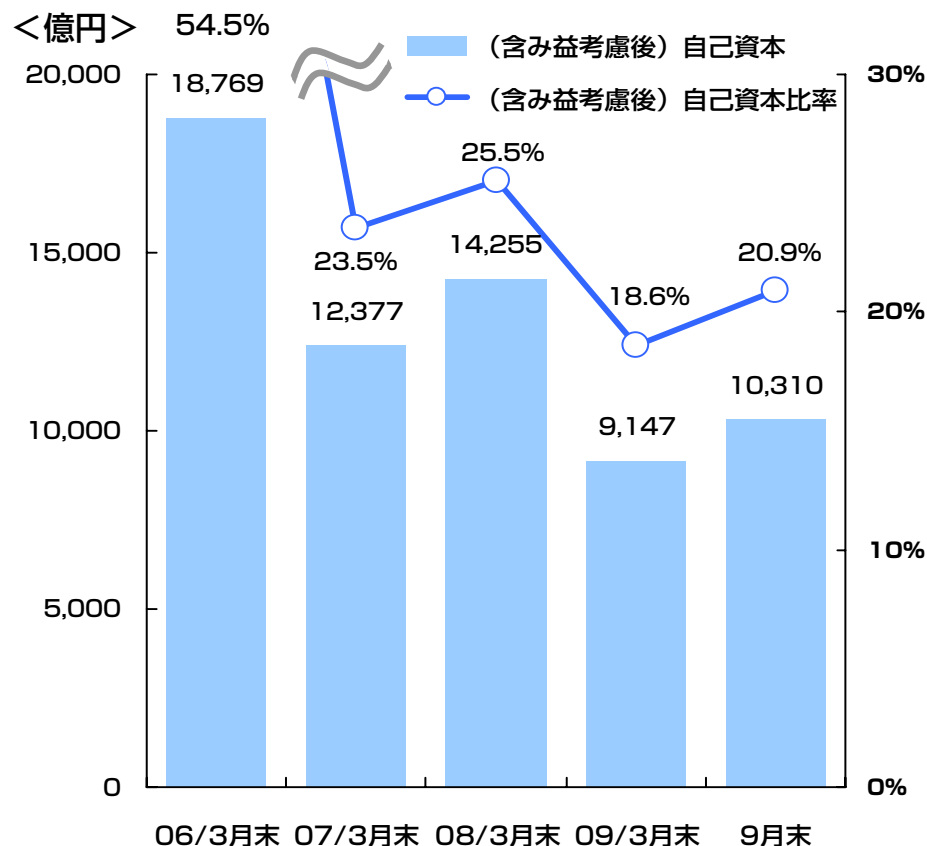
指標改善④ 自己資本比率

■自己資本比率は10%台に回復

自己資本比率



(ご参考) 自己資本比率^(※1)
 <株式含み益考慮後>



※1. 計算根拠については補足資料の8ページをご参照下さい。

2009年度の財務戦略

「純有利子負債ゼロ」に向けて

- ◆営業CFの増大、投資CFの適正化によるフリーキャッシュフローの最大化
- ◆着実な負債削減による各種財務指標の継続的改善
- ◆財務体質強化の結果としての格付向上

市場環境に応じた保守的な財務運営

- ◆多様な調達手段の深耕および昨今の金融環境下における最適選択
- ◆長期安定資金の確保および長期負債比率の改善
- ◆潤沢な手元流動性の維持

トップレベルのIR活動の実現

- ◆デット／エクイティ両マーケットのあらゆる投資家層へのアプローチ
- ◆業績予想の開示を伴った成長シナリオの明示
- ◆更なる開示内容の充実化







事業編

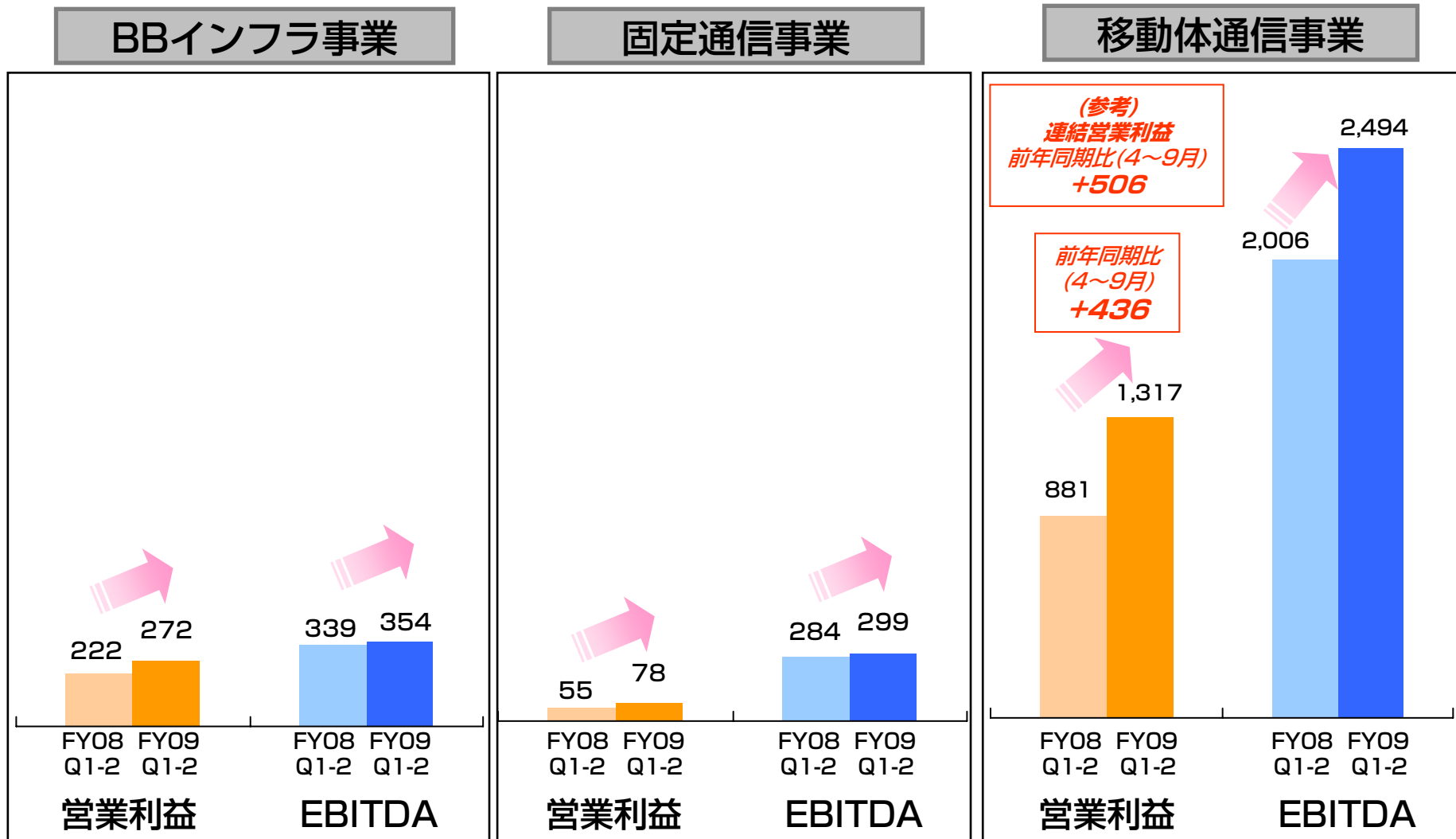
ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括

ふじはら
藤原 和彦

通信関連事業の業績概要

■通信関連事業はいずれも増益。移動体通信事業が大幅増益

<億円>



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

2. BBインフラ事業：ブロードバンド・インフラ事業

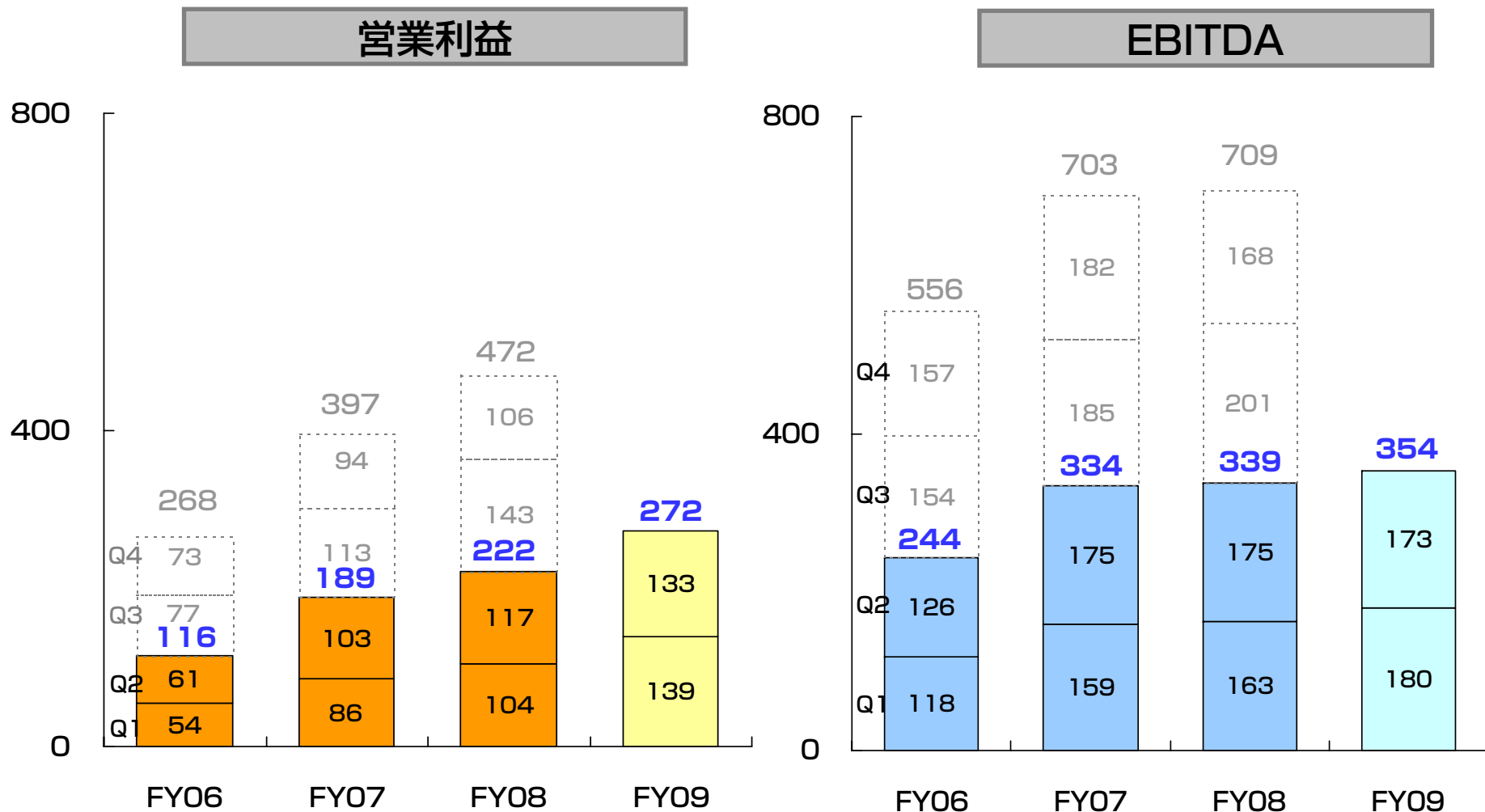
ブロードバンド・インフラ事業

営業利益・EBITDA

<BB>

■コスト削減に取り組み増益トレンドを維持

<億円>



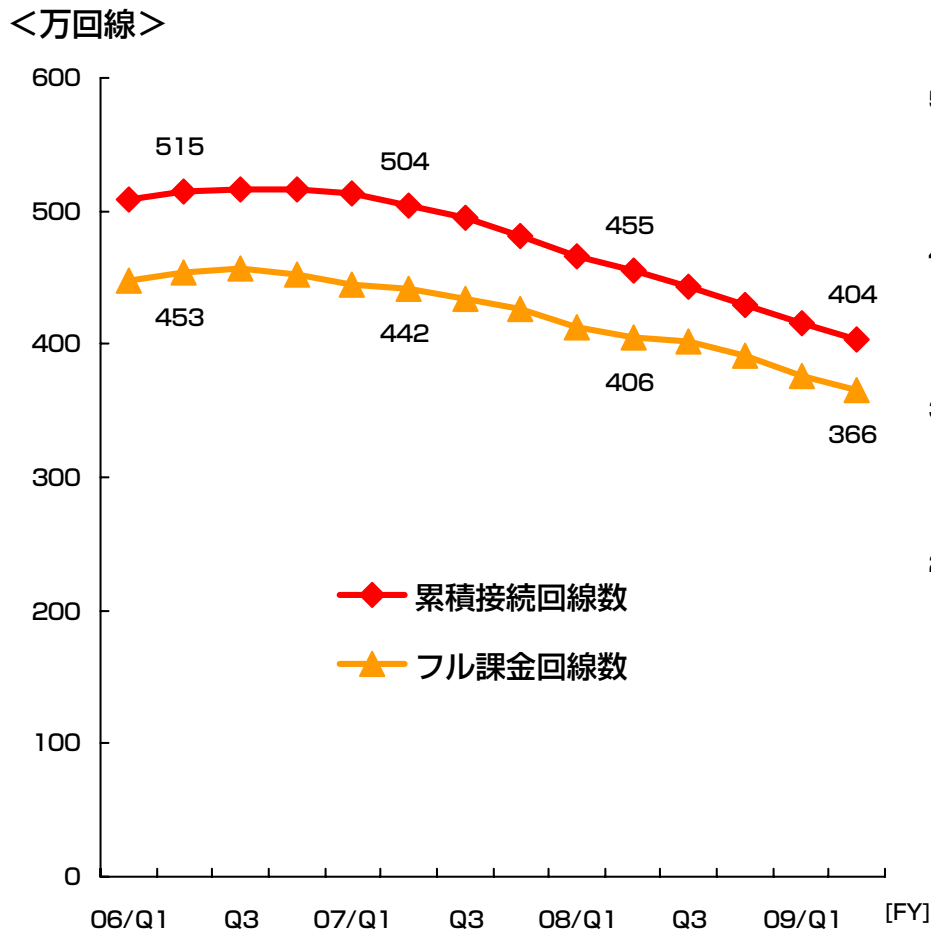
※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

Yahoo! BB ADSL 回線数とARPU

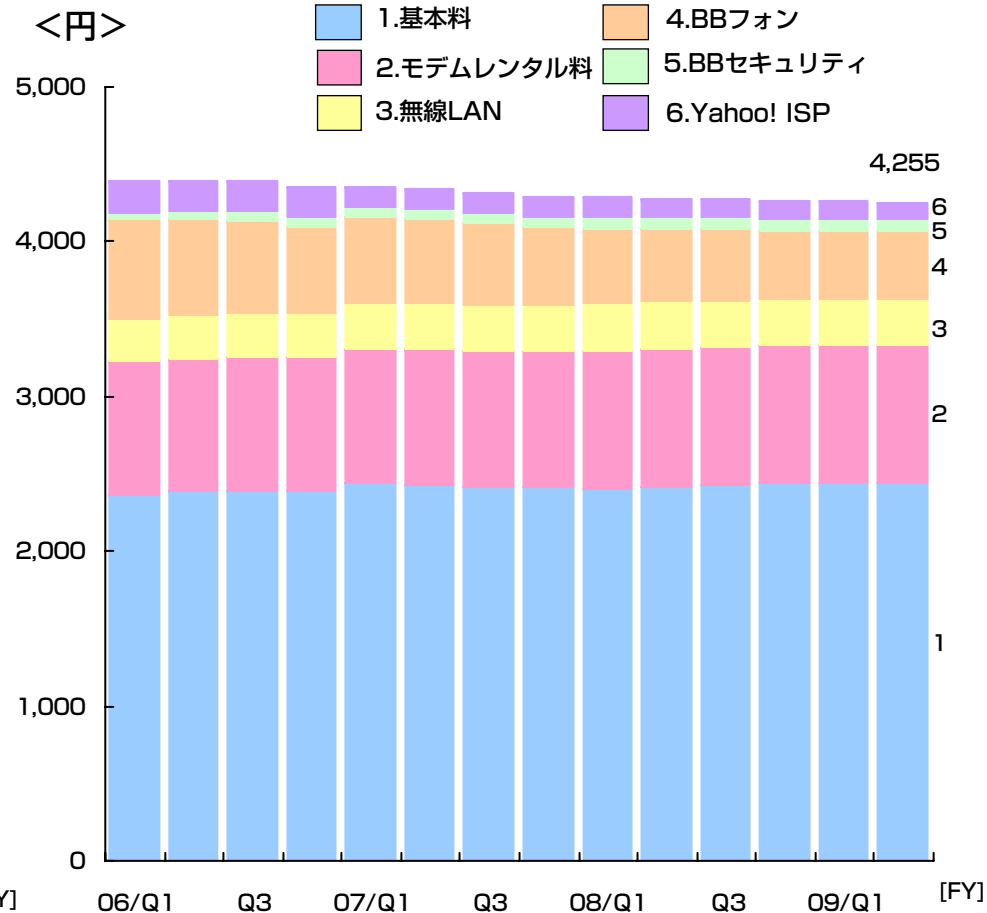
<BB>

■ ADSL回線数は減少傾向、ARPUは横ばい

回線数



ARPU



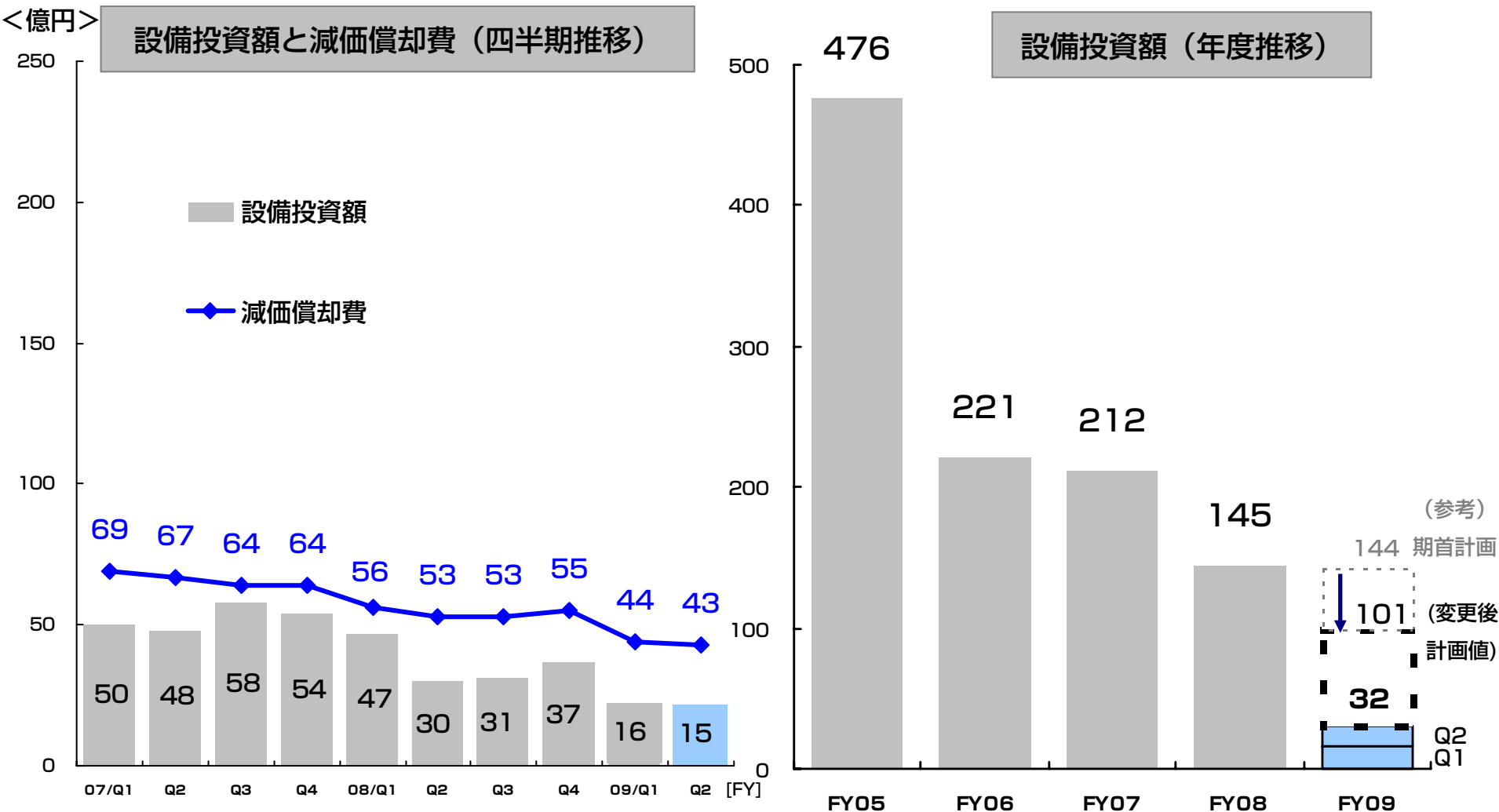
※ 1. ARPU：1契約当りの平均収入（フル課金ユーザーの支払いベース。モデムレンタル事業売却に伴う影響を含まず）
 2. ヤフーとの契約変更により、FY07/Q1からYahoo! ISP収入の一部を基本料部分に計上（ユーザー負担に変更なし）

設備投資（実行ベース）

<BB>

■設備投資は期首計画を減額修正（43億円）

<億円>



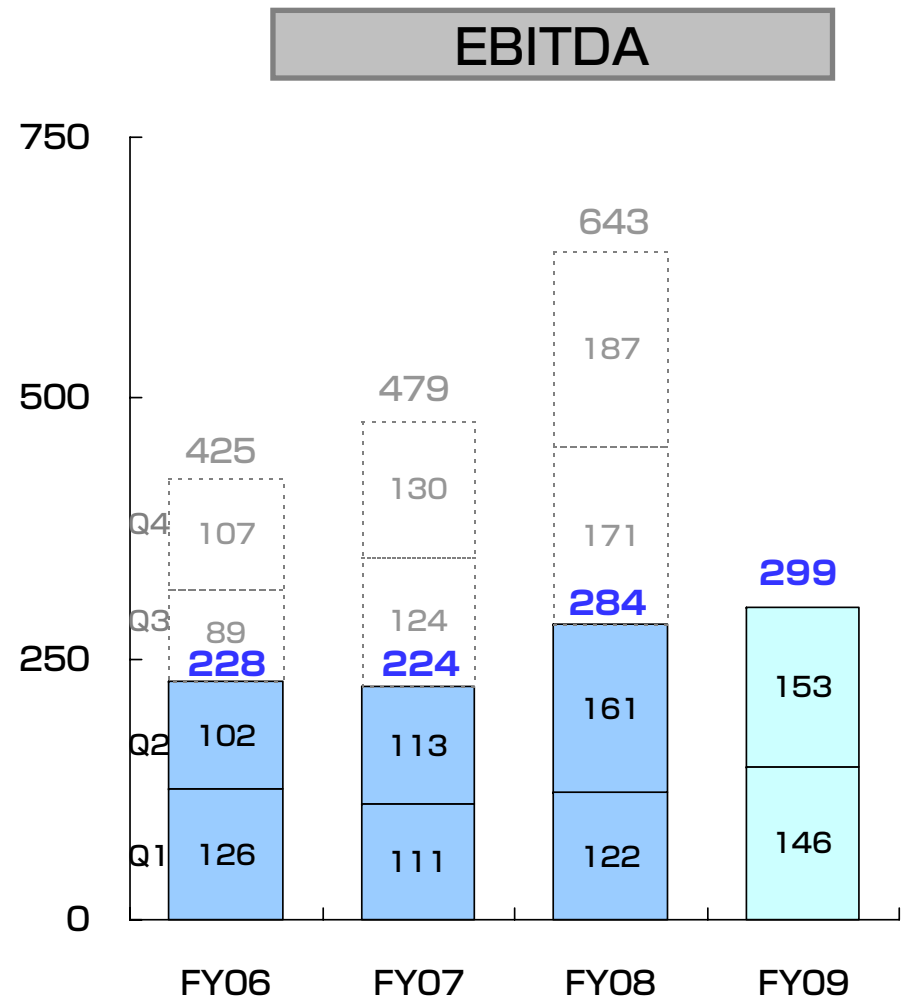
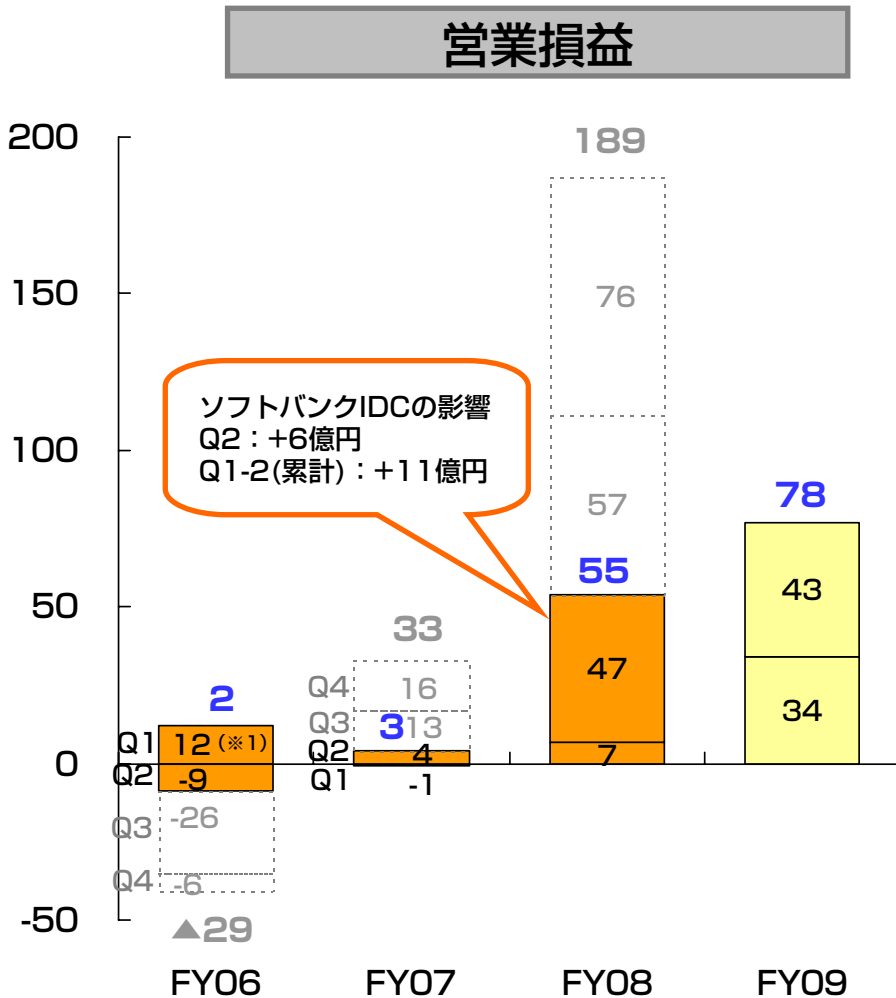
固定通信事業

営業損益・EBITDA

<固定>

■法人強化と経営効率化で増益のトレンドを維持

<億円>



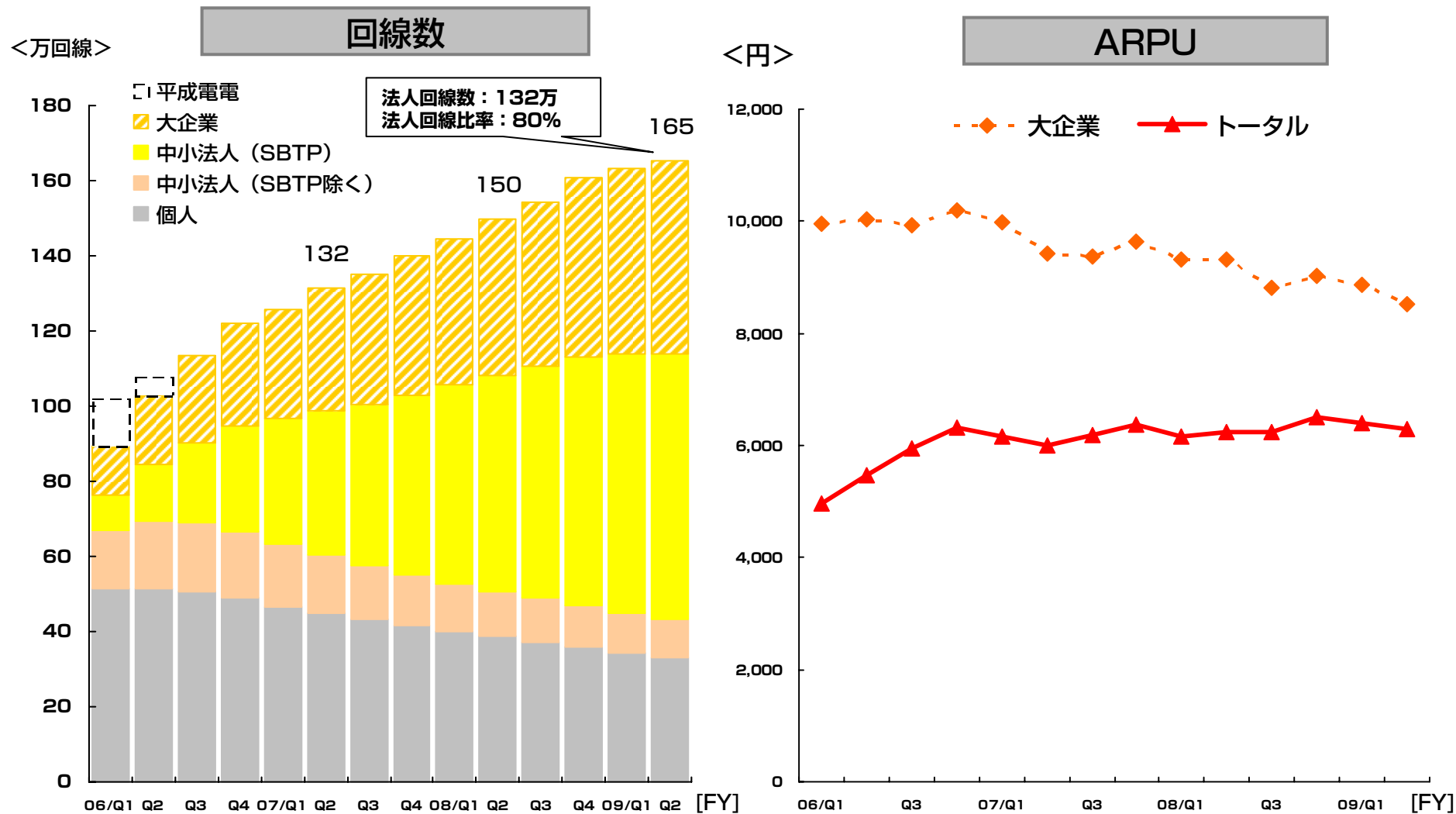
※1. 06/Q1 : 一時的要因 (退職給付戻入) 25億を含む

2. EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 営業費用に含まれる固定資産除却損

おとくライン 回線数とARPU

<固定>

■回線数とARPUは法人向けの強化で堅調に推移



※ 1. ARPU：1契約当りの通信料収入

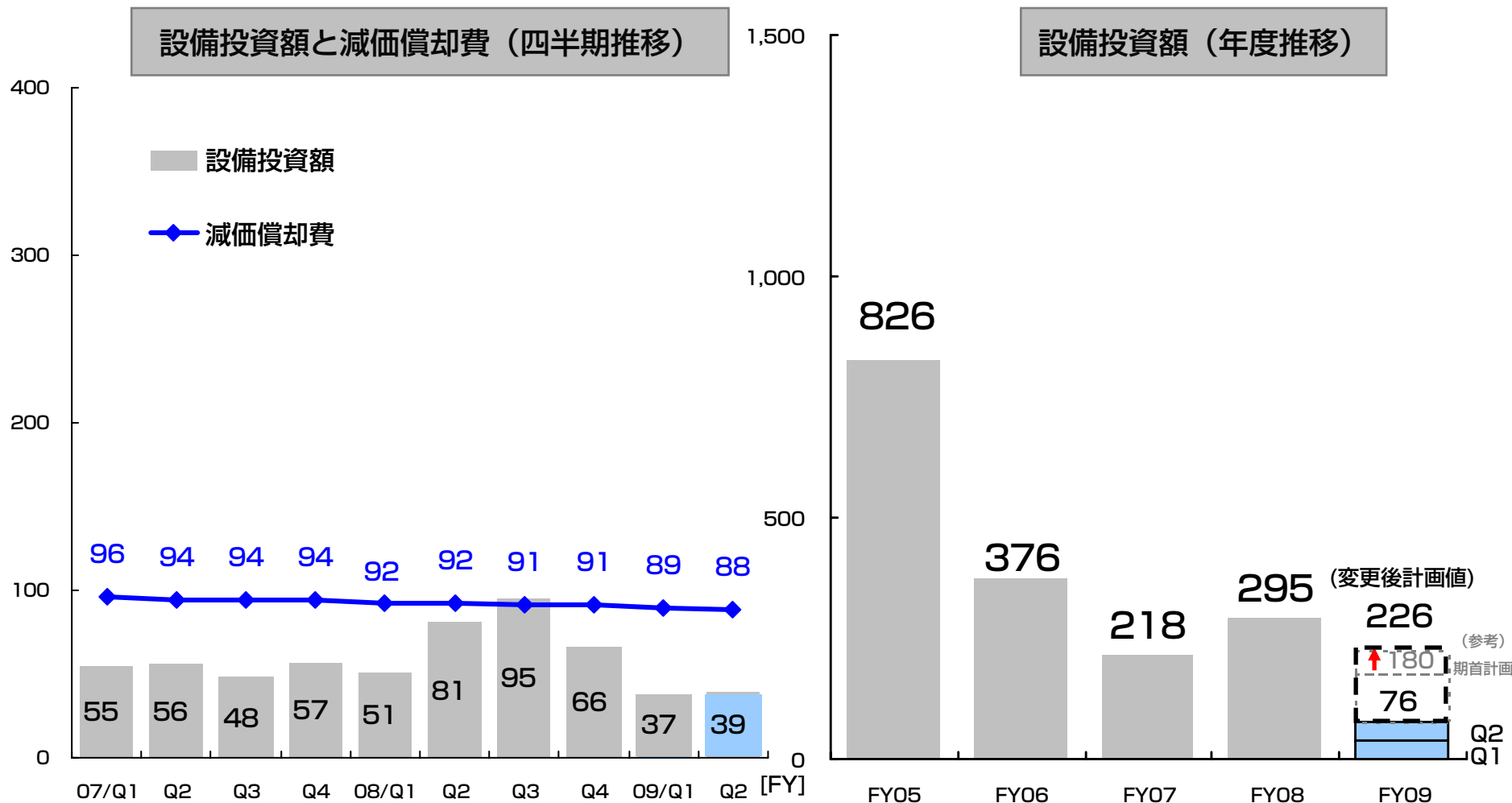
2. SBTP：ソフトバンクテレコムパートナーズ

設備投資（実行ベース）

<固定>

■ ネットワークの設備投資を増額修正（46億円）

<億円>



移動体通信事業

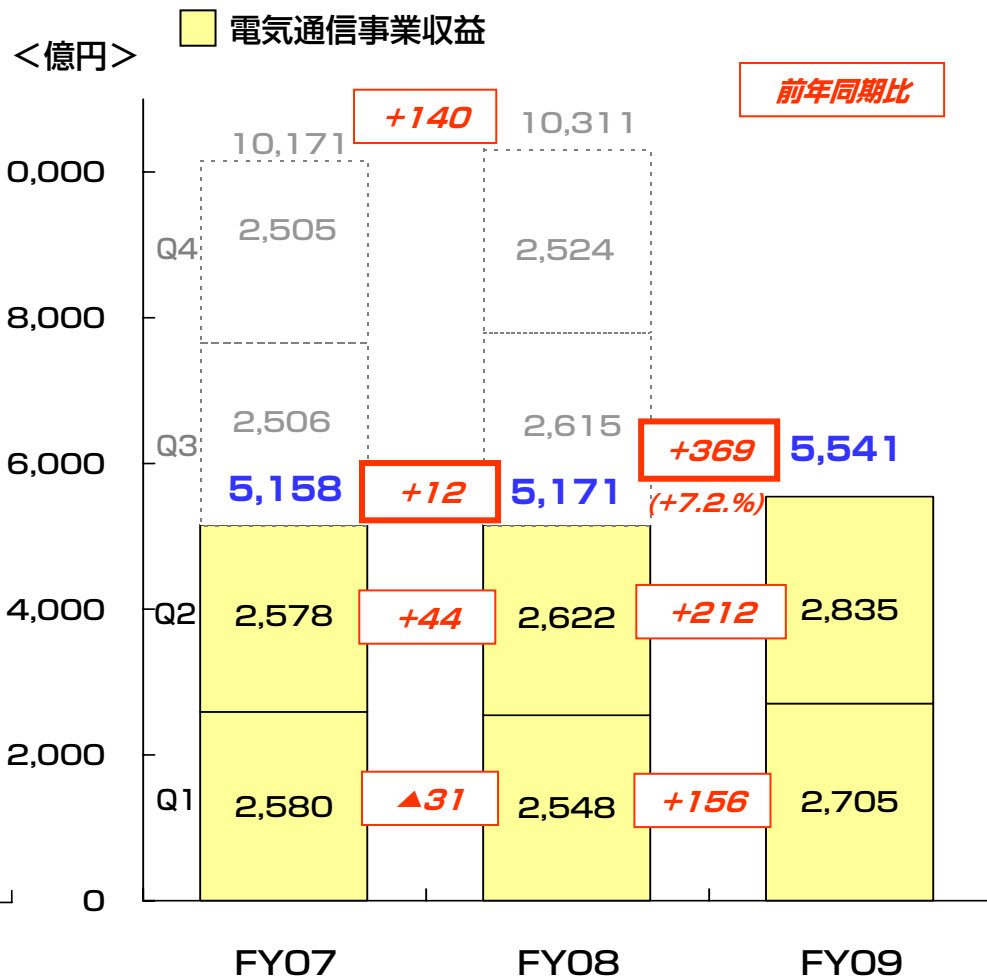
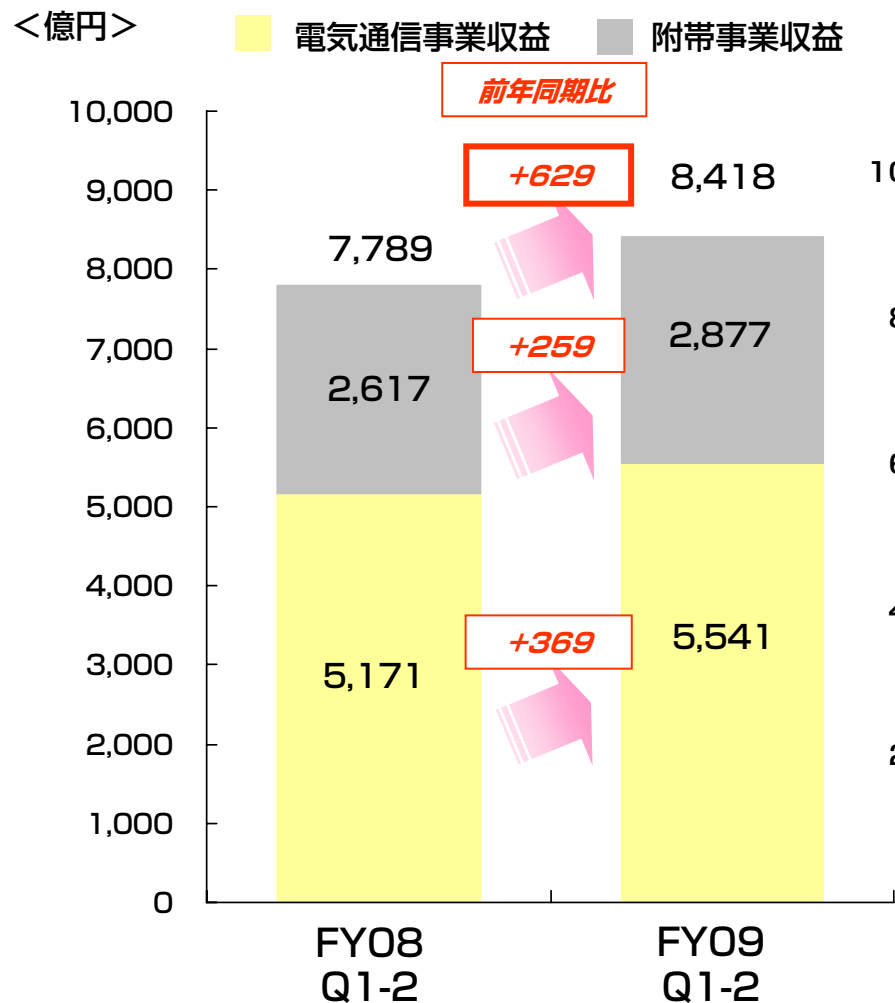
SBM連結 売上高

<移動体>

■電通事業収益、附帯事業収益ともに増収(前年同期比)

SBM連結 営業収益 (上半期比較)

SBM連結 電通収益 (四半期比較)

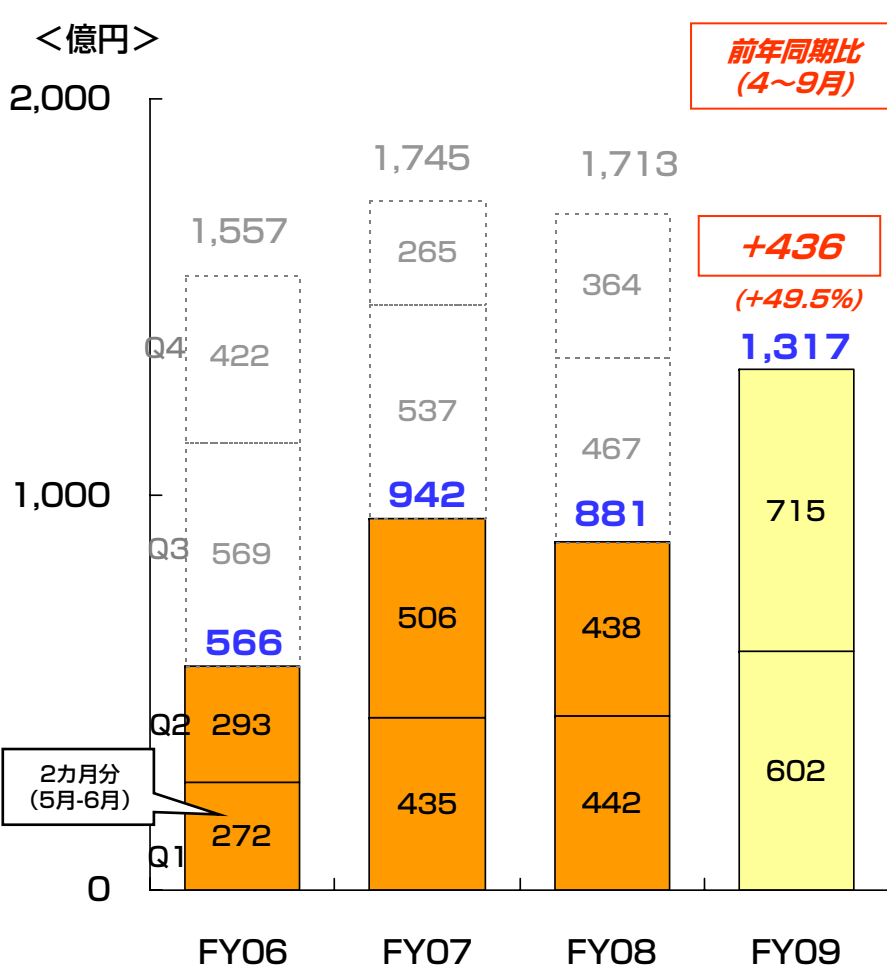


営業利益（SB連結・SBM連結）

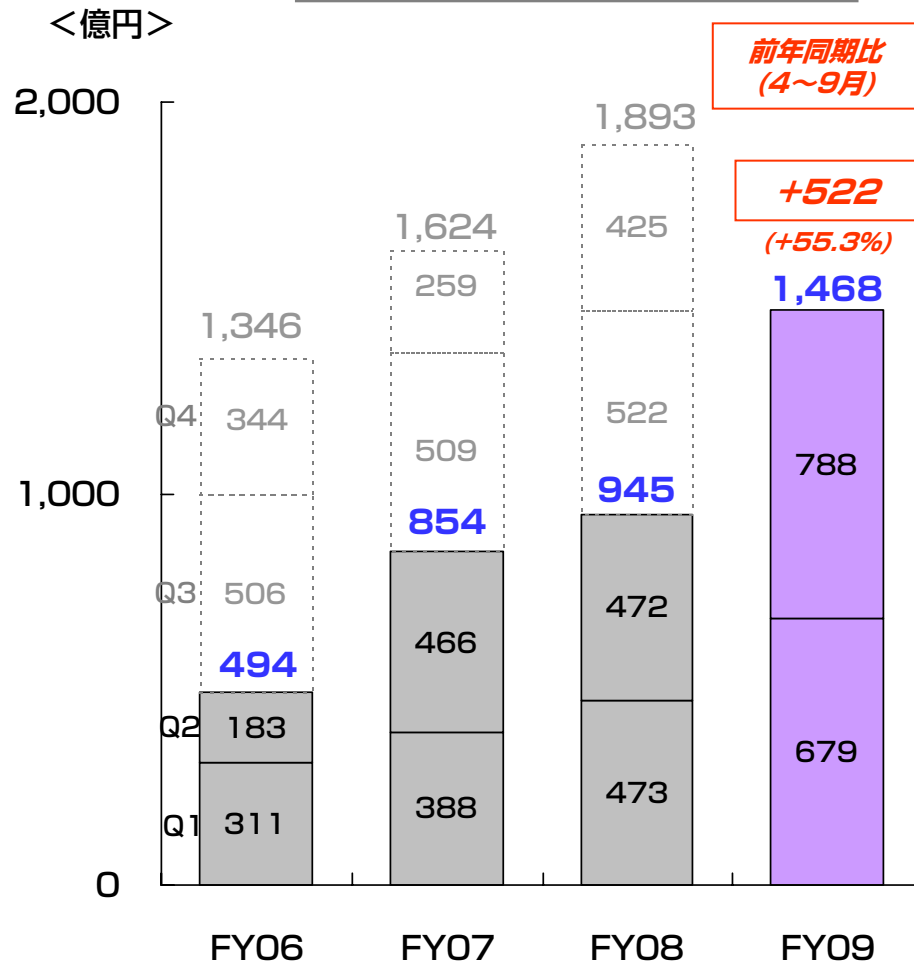
<移動体>

■売上増と経営効率化の両立で約50%増益、連結業績を牽引

SB連結 移動体通信事業



SBM連結



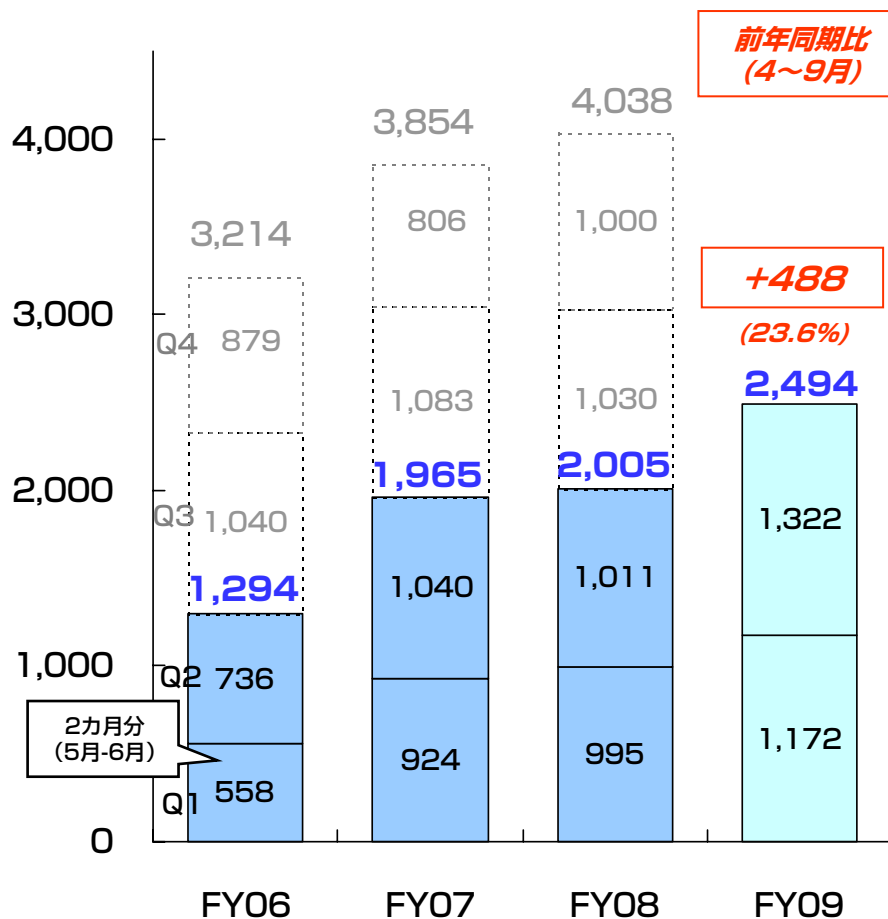
EBITDA (SB連結・SBM連結)

<移動体>

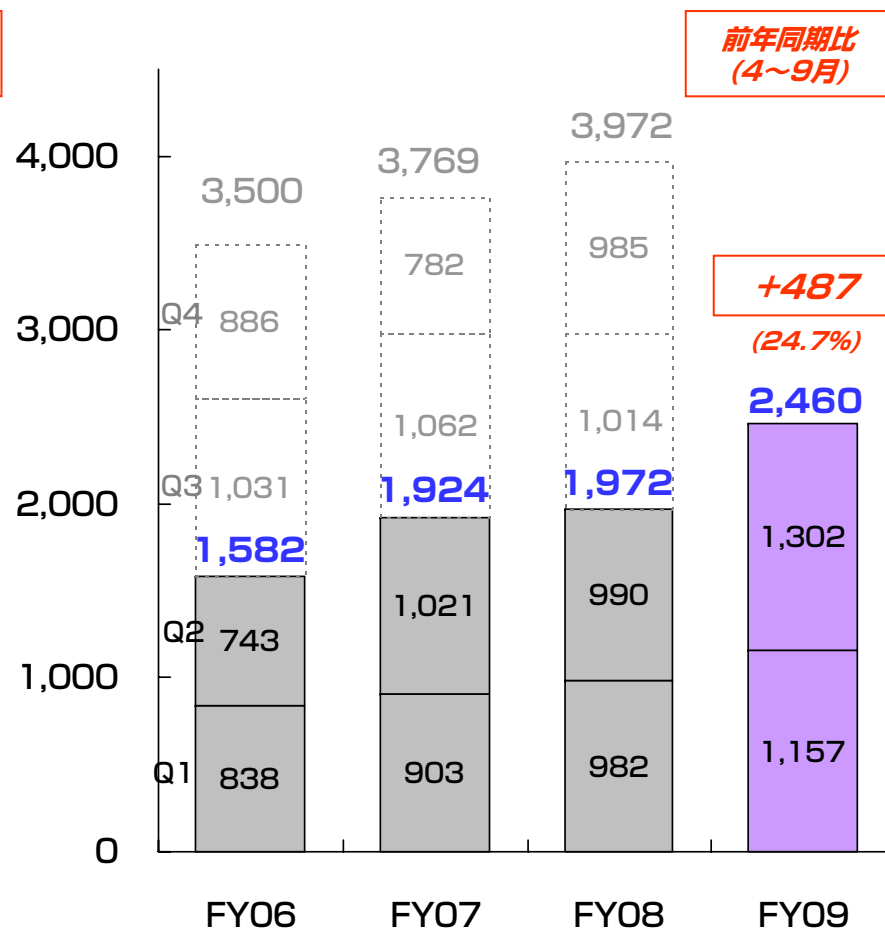
■売上増と経営効率化が進展し堅調に推移

<億円>

SB連結 移動体通信事業



SBM連結



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

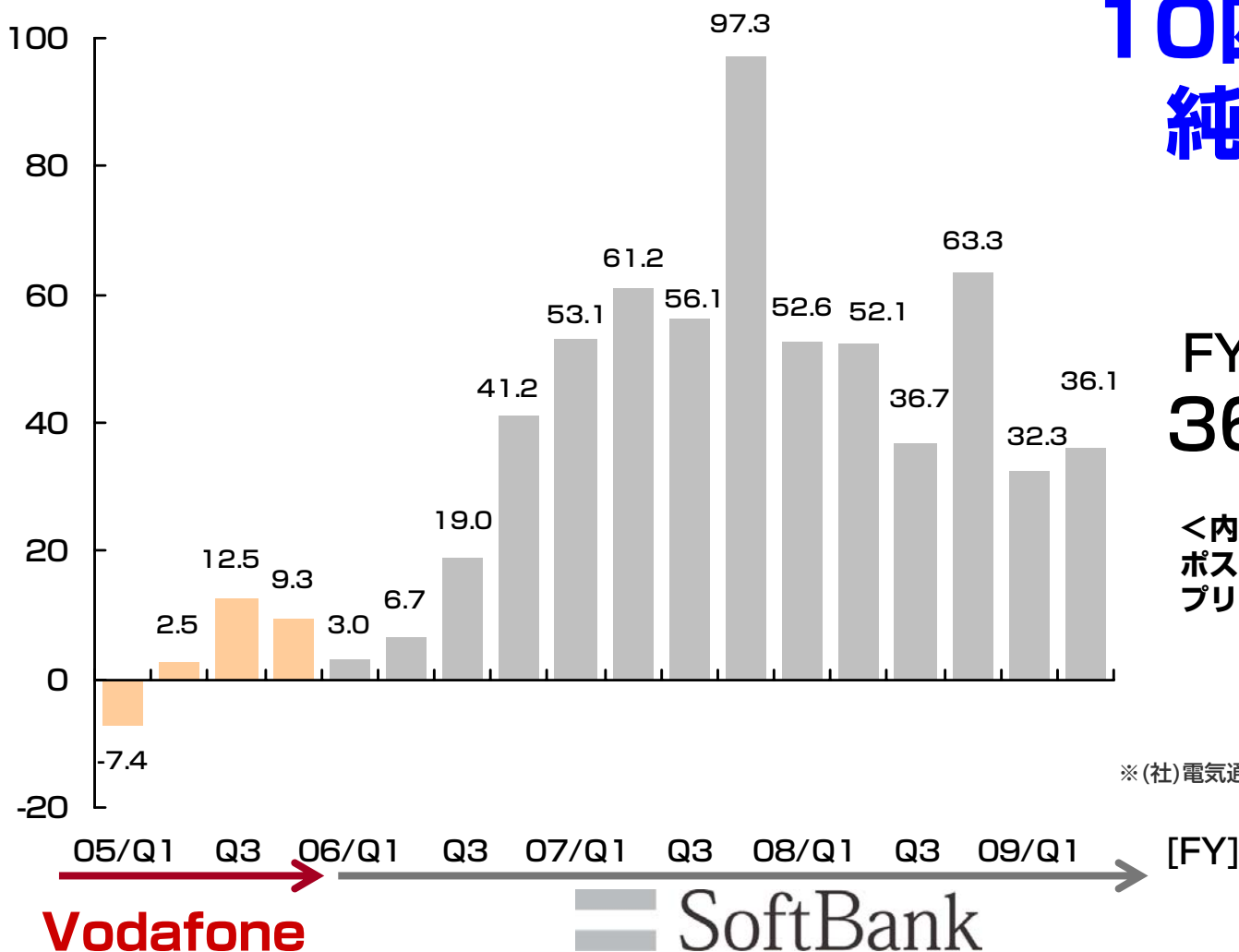
※ 2. SB: ソフトバンク、SBM: ソフトバンクモバイル

純増契約数（四半期）

<移動体>

■順調な純増を継続

<万契約>



**10四半期連続
純増No.1***

FY09/Q2 純増数
36.1万

<内訳>

ポストペイド +39.5万
プリペイド ▲3.4万

※(社)電気通信事業者協会の統計資料を基に当社算出

Vodafone

SoftBank

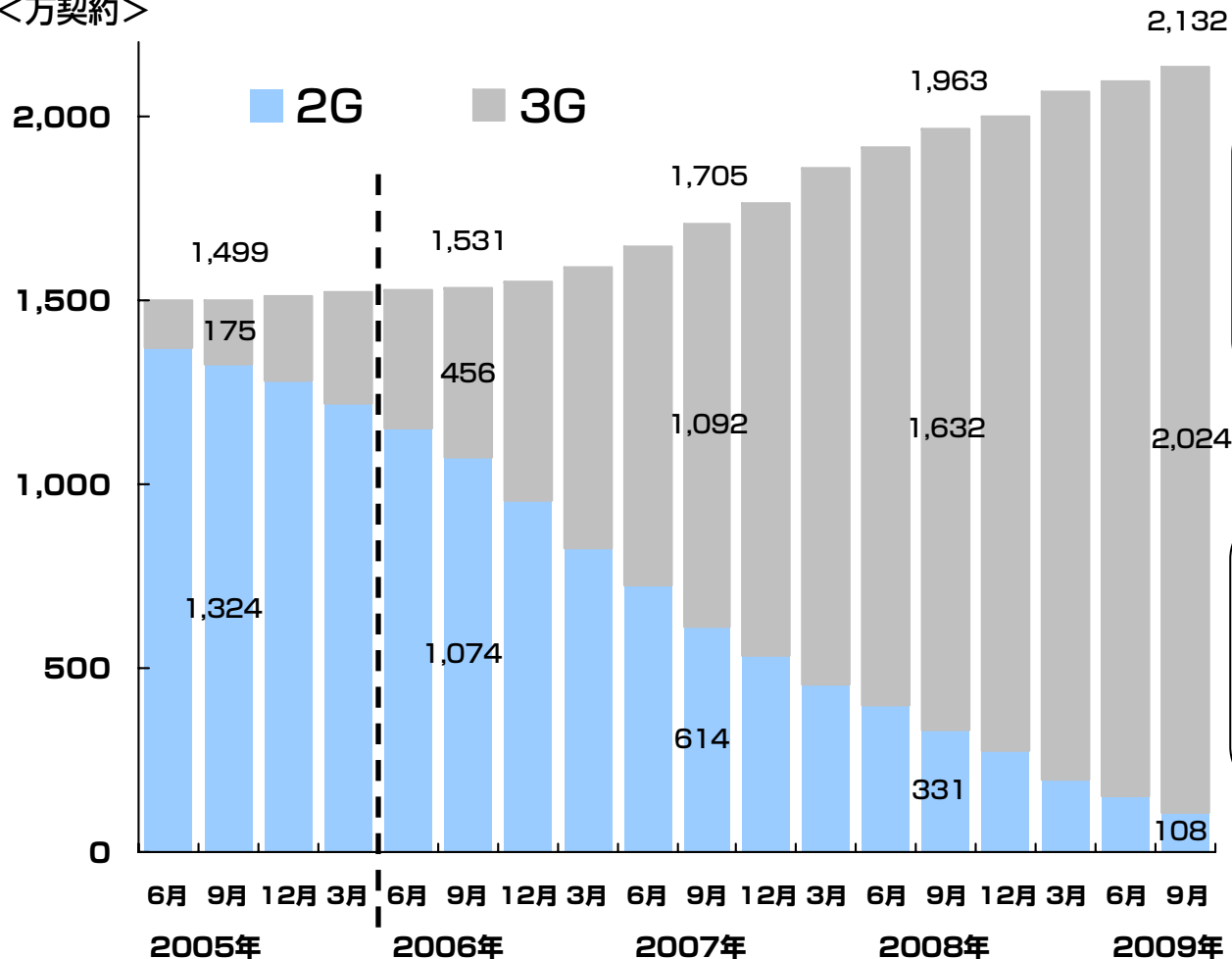
※通信モジュールの契約数を含む

累計契約数・3G契約数の推移

<移動体>

■累計契約数は順調に拡大。3G比率も94.9%まで上昇

<万契約>



累計契約数

2009年9月 2,132万
 2006年6月 1,524万
 増加 +608万

3G比率

2009年9月 94.9%
 2006年6月 24.4%
 増加 +70.5%

Vodafone

※通信モジュールの契約数を含む

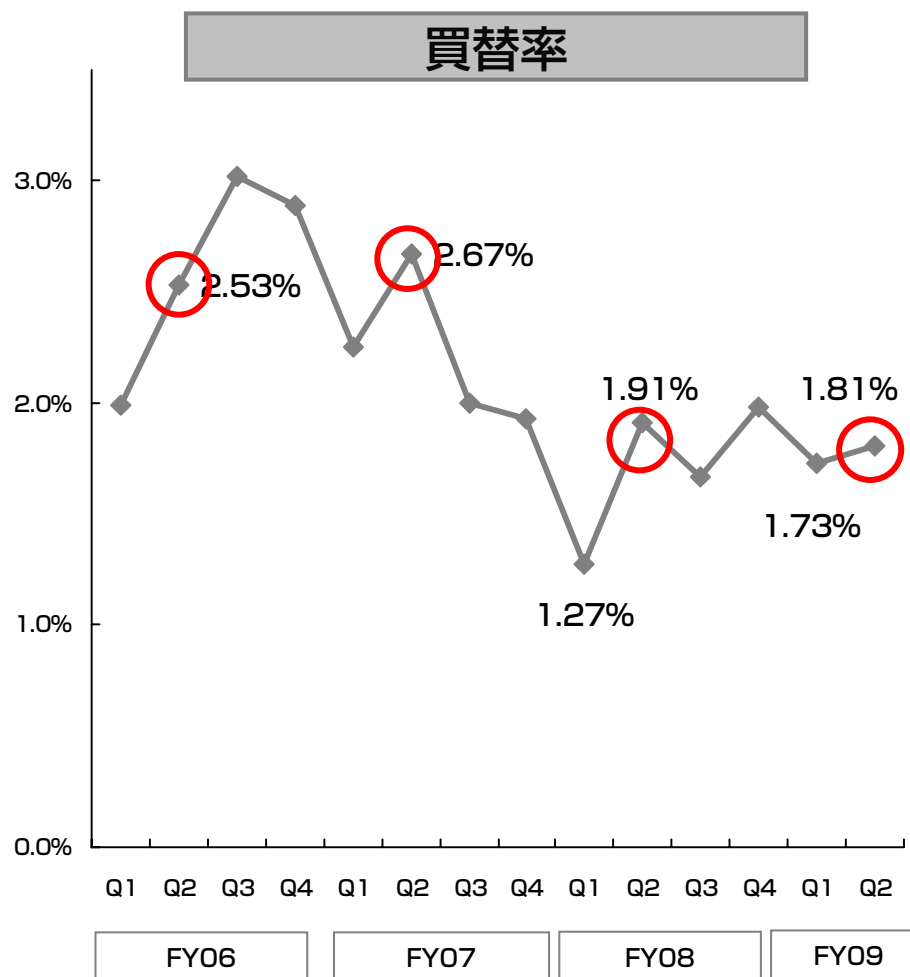
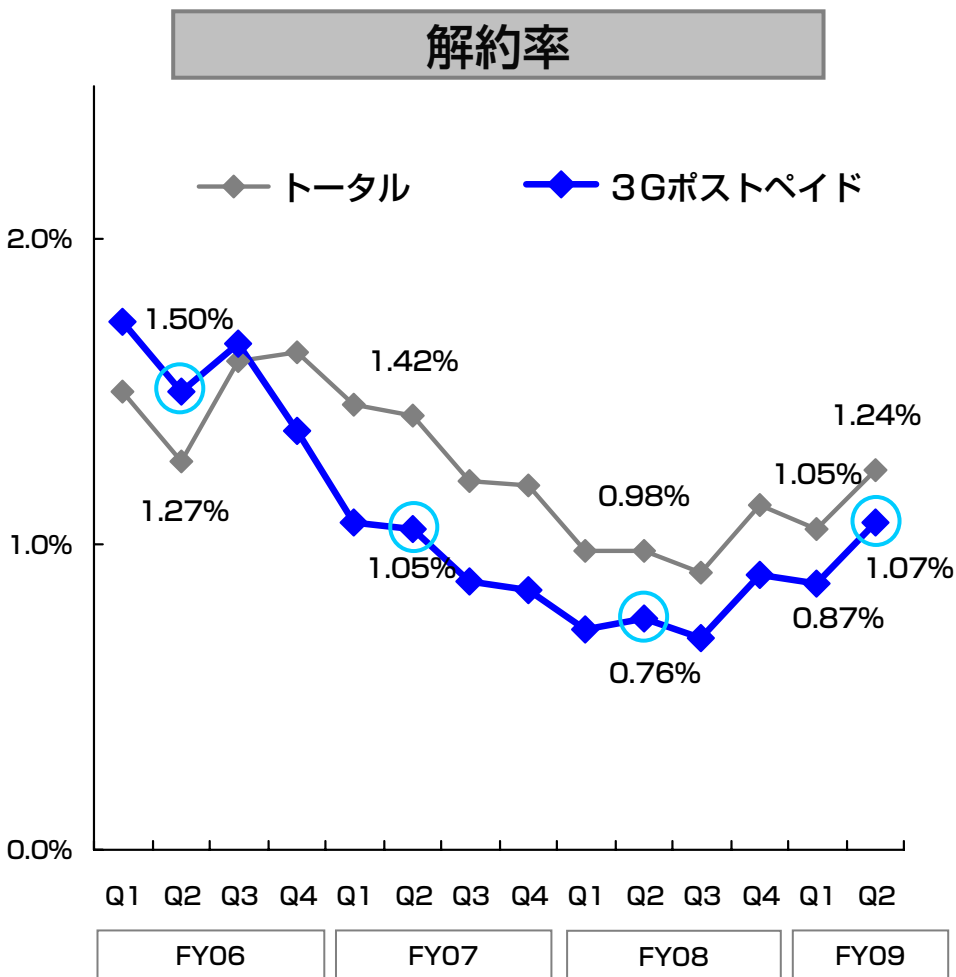
SoftBank

解約率と買替率

<移動体>

■解約率は直前四半期比、前年同期比ともに割賦満期あけの影響もあり上昇

■買替率は順調に推移



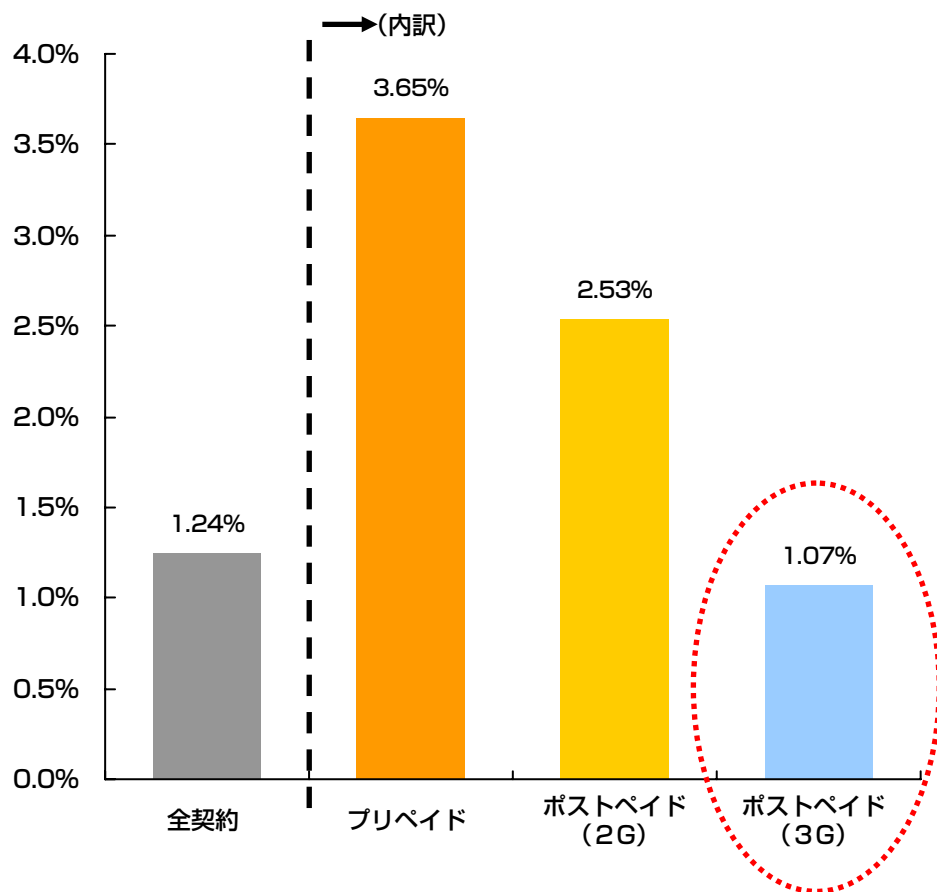
※解約率は通信モジュールの契約数を含む

解約率詳細

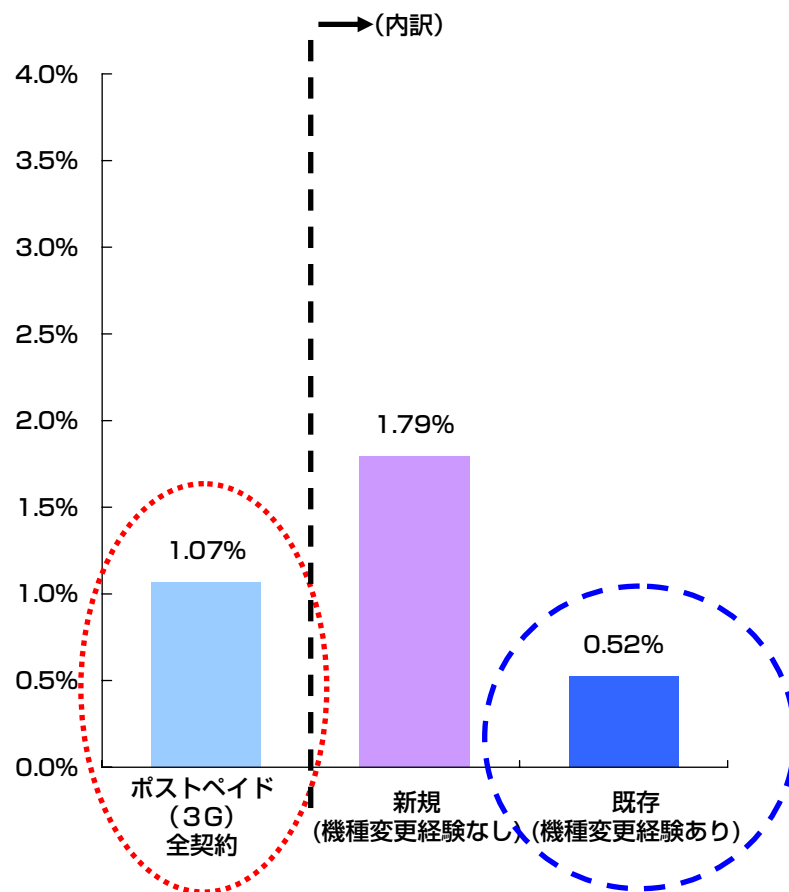
<移動体>

■契約別、機種変更経験の有無で解約率に大きな差あり

契約別解約率 (FY09/Q2)



機種変更有無別解約率 (FY09/Q2)
<ポストペイド(3G)>



※解約率は通信モジュールの契約数を含む

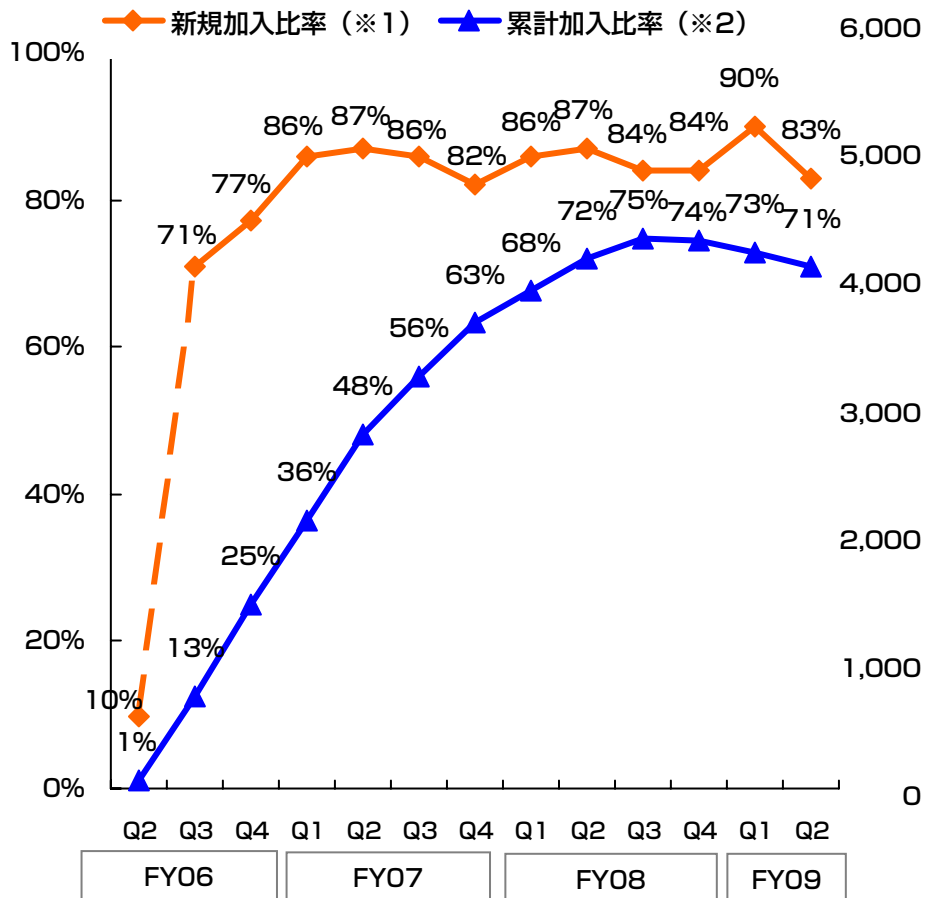
新スーパーボーナス加入率と割賦債権残高

<移動体>

■高加入率維持、割賦債権残高はピークアウト

新スーパーボーナス加入率

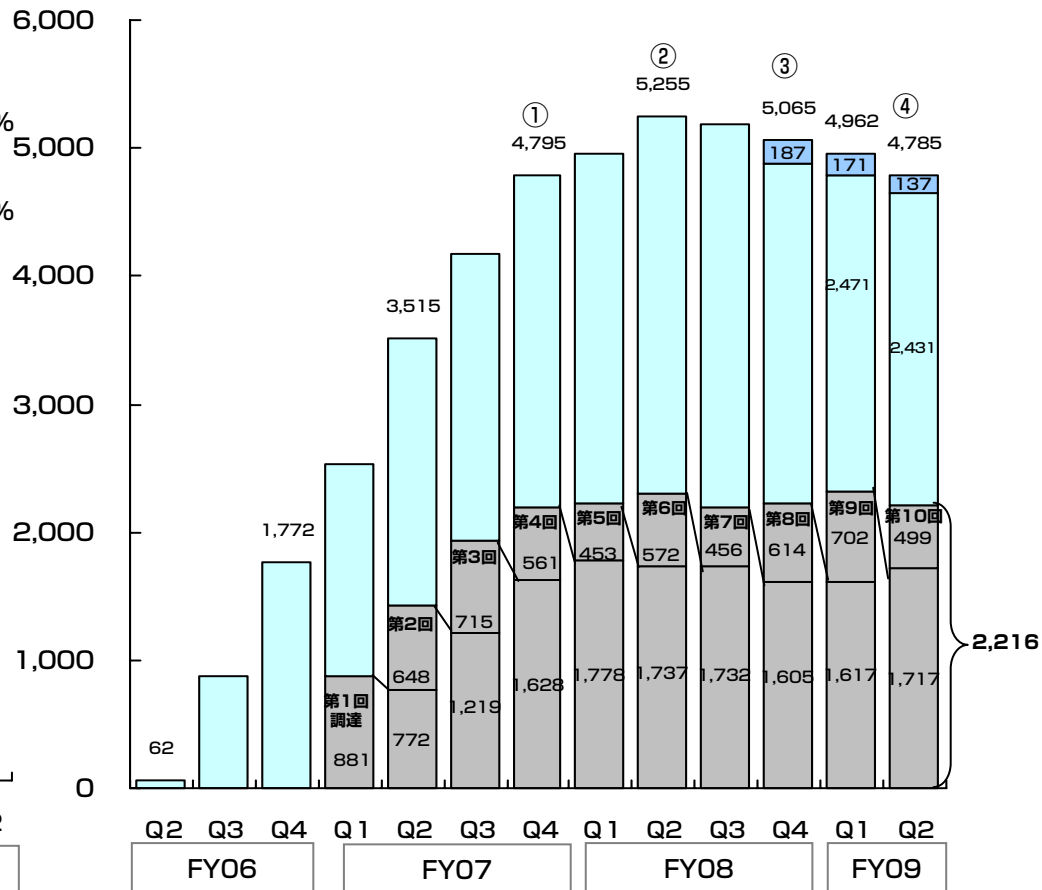
(スーパーボーナスを含む)



割賦債権残高

<億円>

■ うち債権流動化借入残高 ■ うち長期の残高



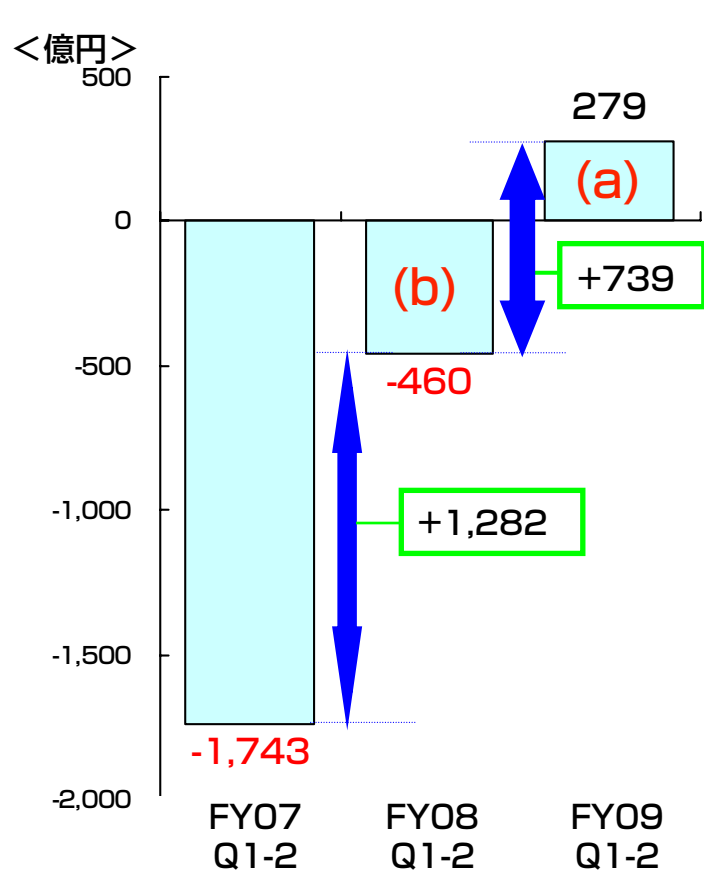
※ 1. 新規加入比率=期中の新規契約数(ポストペイド)および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率
 ※ 2. 累計加入比率=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数(月月割が終了した契約を除く)の比率

割賦債権増減のキャッシュフローへの影響

■FY09 Q1-2：営業CFへの影響額は739億円
 (営業CFへのインパクトは縮小傾向)

<移動体>

営業CFへの影響の増減 (累計)



	割賦債権 期首残高	割賦債権 期末残高	割賦債権 の増加	営業CFへの影響
FY09 Q1-2	③ 5,065	④ 4,785	▲279	(a) +279
FY08 Q1-2	① 4,795	② 5,255	+460	(b) ▲460
差額			▲739	+739

割賦債権の減少による営業CFの増加

(参考)

	<億円>		
	08/Q1-2	09/Q1-2	差額
SB連結FCF	121	1,770	+1,649

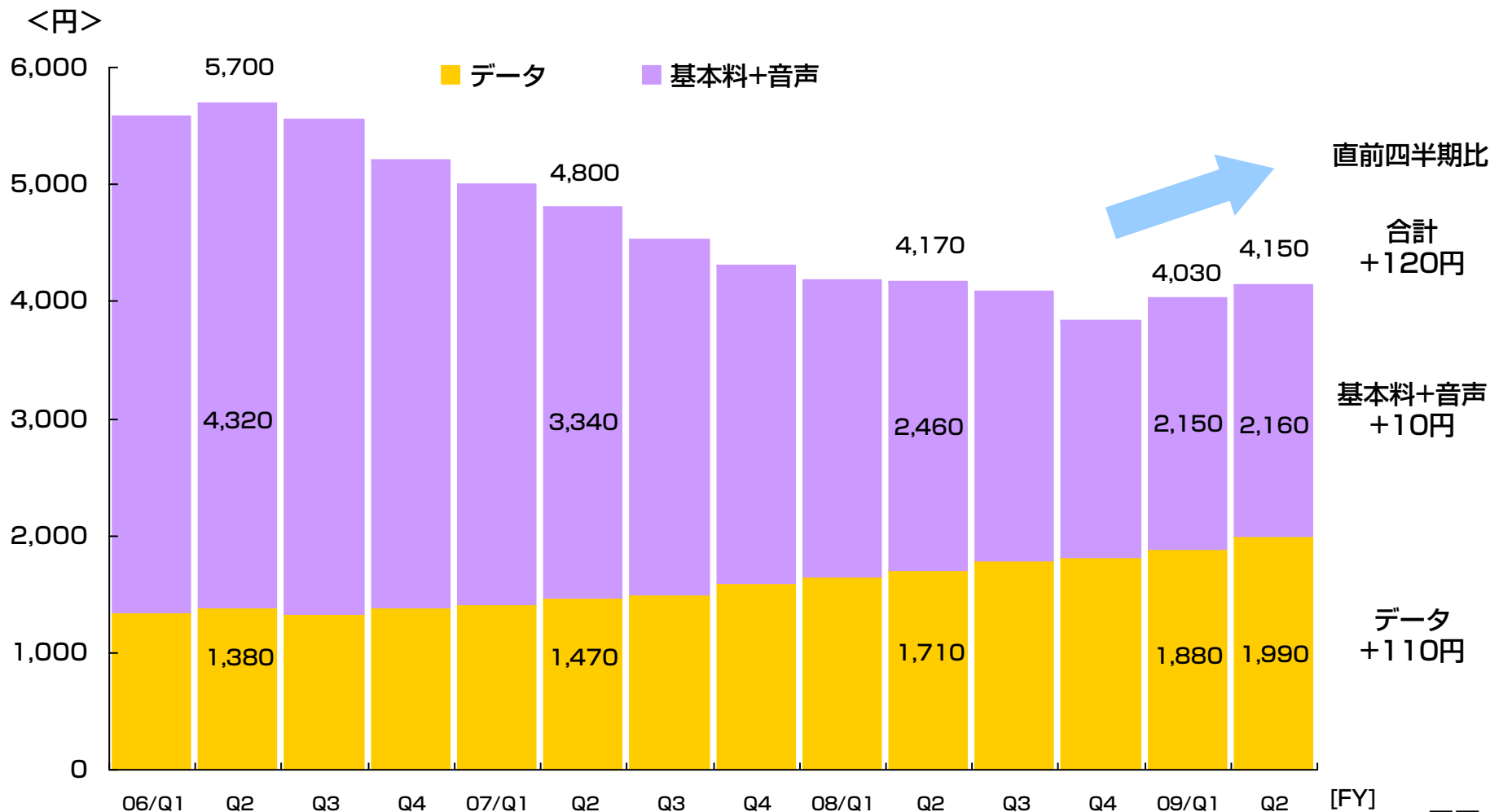
※ 1. 割賦債権残高グラフ内①、②、③、④については前ページ割賦債権残高グラフ参照
 2. FY09/Q1-2の売掛金の減少は割賦債権売却(100億円)の影響を含む

ARPU（1契約当り通信料収入）

<移動体>

■ ARPUはFY08/Q4を底に順調に回復

■ 直前四半期比：データARPUは増加トレンドが加速



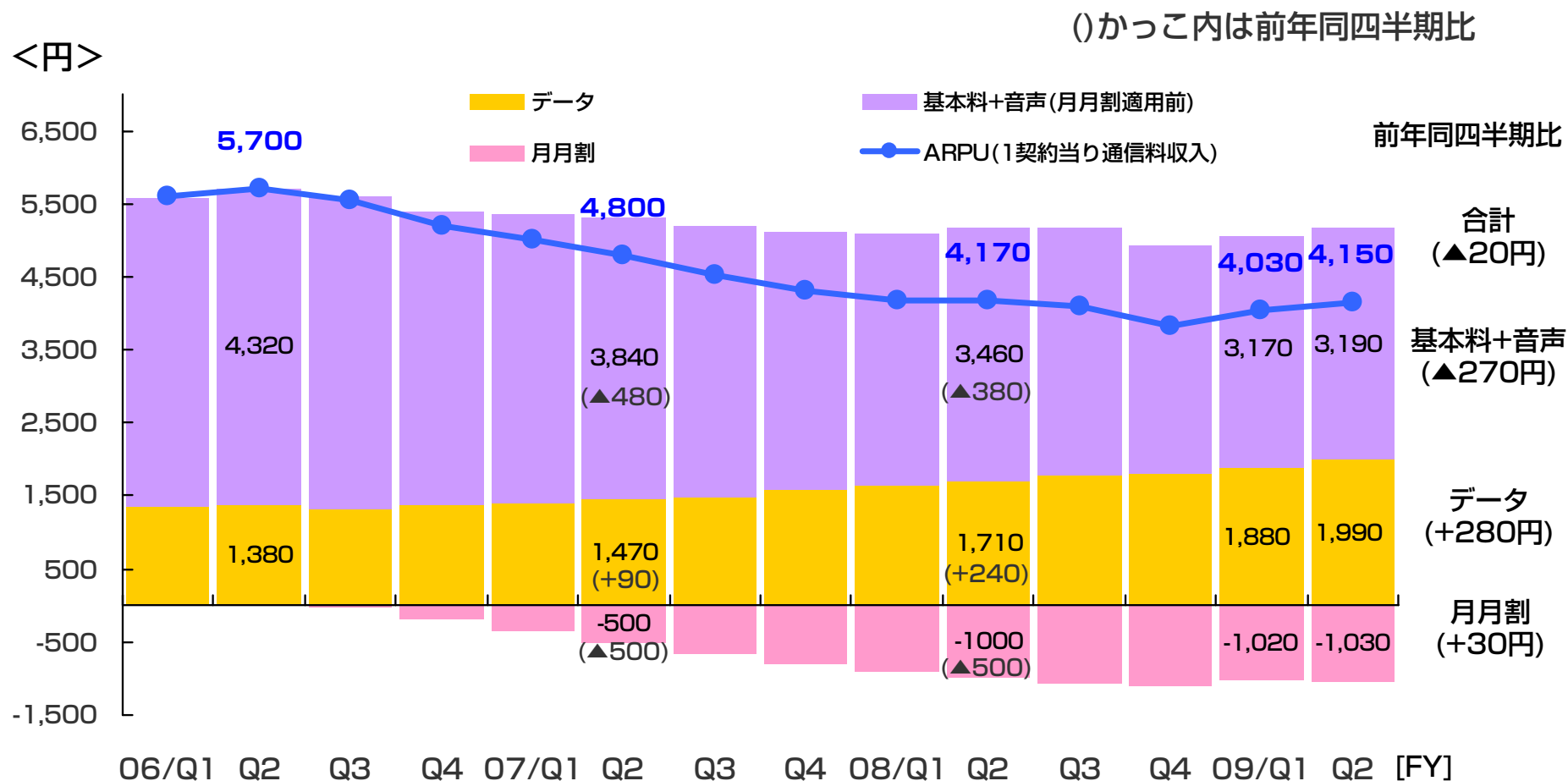
※ARPU（1契約当り通信料収入）＝基本使用料＋月額使用料＋通話料・通信料など－月月割（新スーパーボーナス特別割引）

ARPU（1契約当り通信料収入）

<移動体>

■ 月月割はピークアウトが鮮明に

■ 前年同期比：音声は減少傾向が続くが減少幅は縮小、データは**280円**(約**16%**)増加

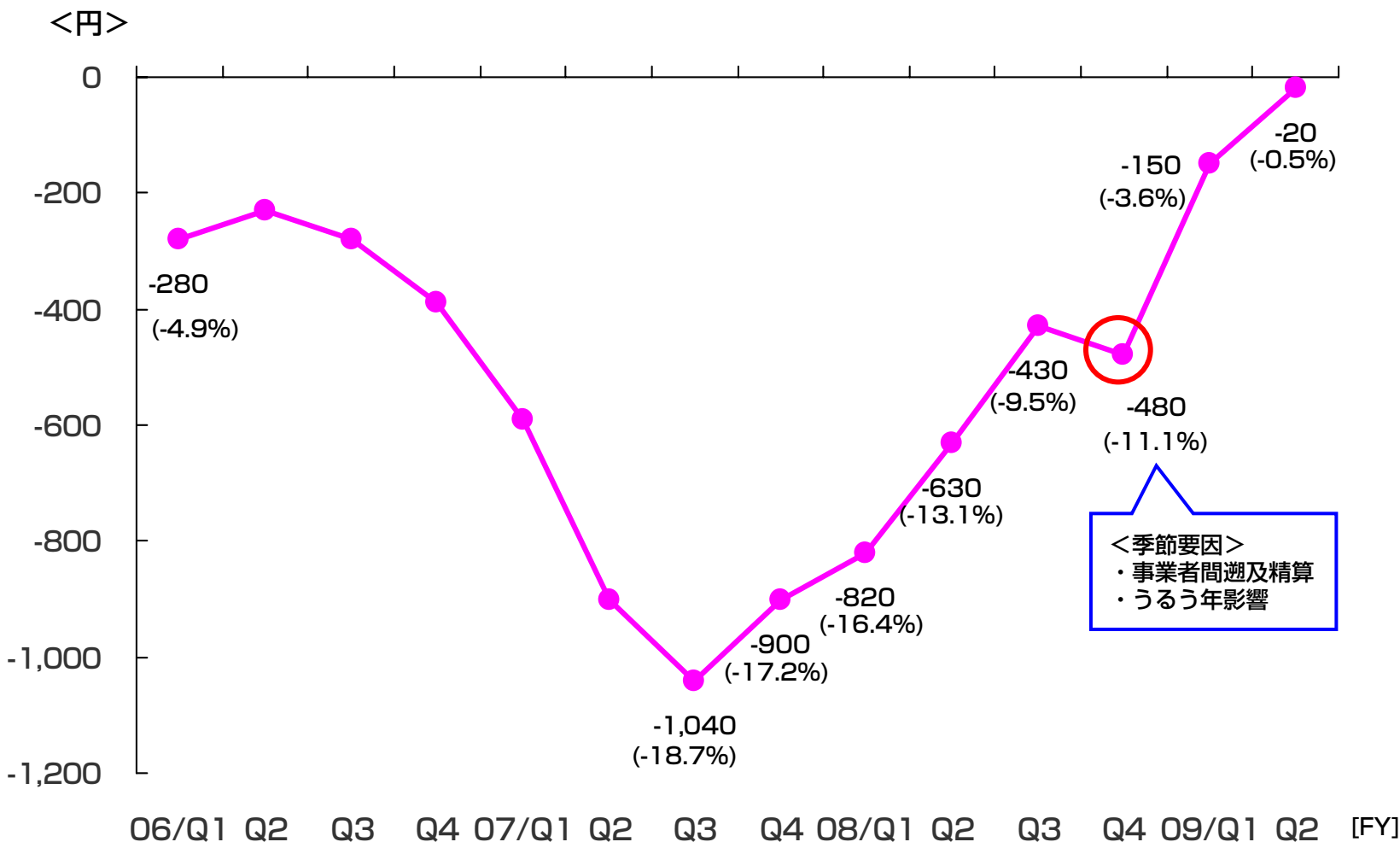


※ 1. ARPU（1契約当り通信料収入）=基本使用料+月額使用料+通話料・通信料などー月月割（新スーパーボーナス特別割引）
 2. 2008年11月1日に「新スーパーボーナス特別割引」を「月月割」に名称変更

ARPU（1契約当り通信料収入）前年同四半期比

■ データARPUなどの向上により改善が継続

<移動体>

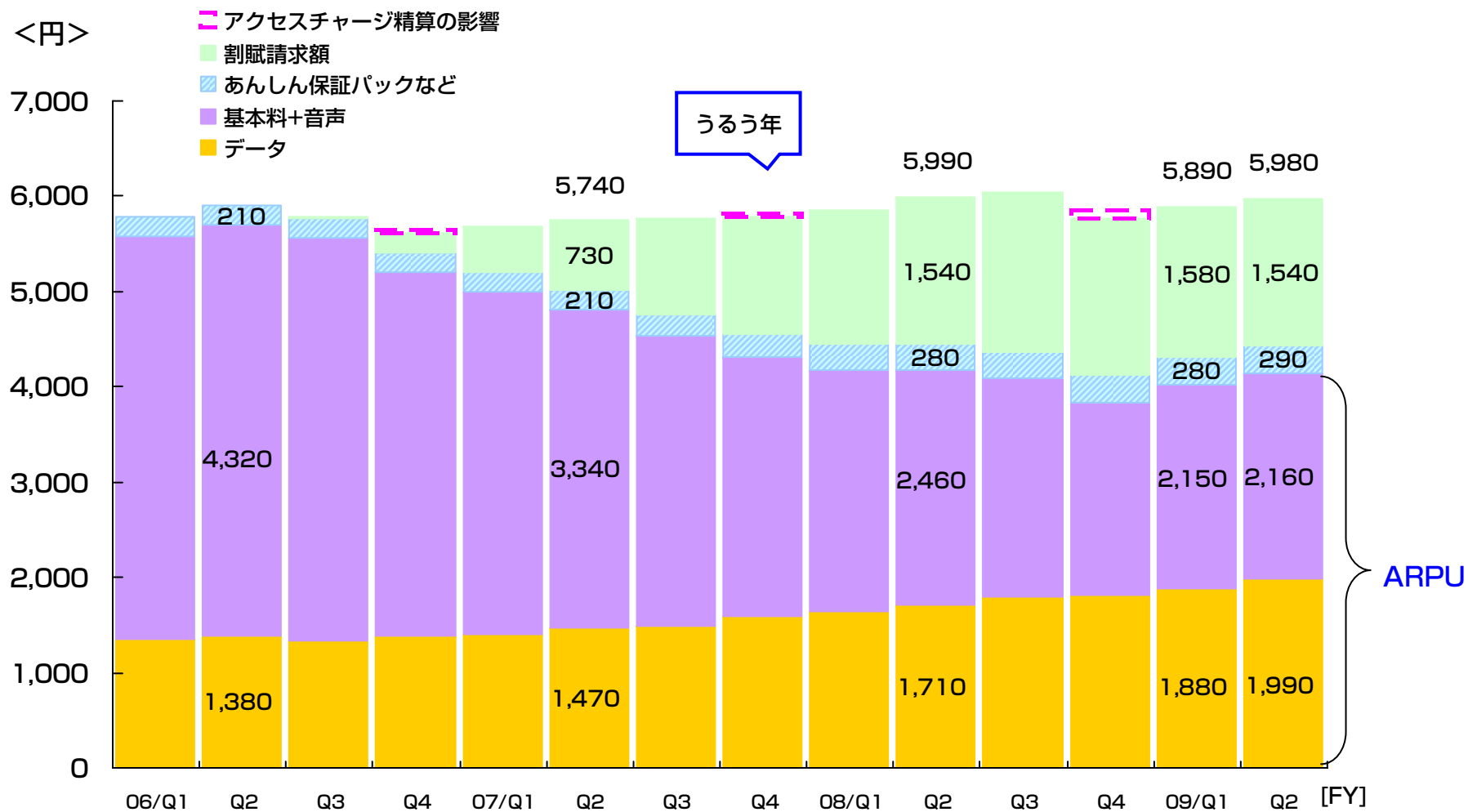


※ARPU（1契約当り通信料収入）＝基本使用料＋月額使用料＋通話料・通信料などー月月割（新スーパーボーナス特別割引）

1 契約当り現金収入

<移動体>

1 契約当り現金収入(割賦請求額含む)は堅調に推移



※1 契約当り現金収入=ARPU+端末割賦請求分+あんしん保証パックなど

設備投資 (実行ベース)

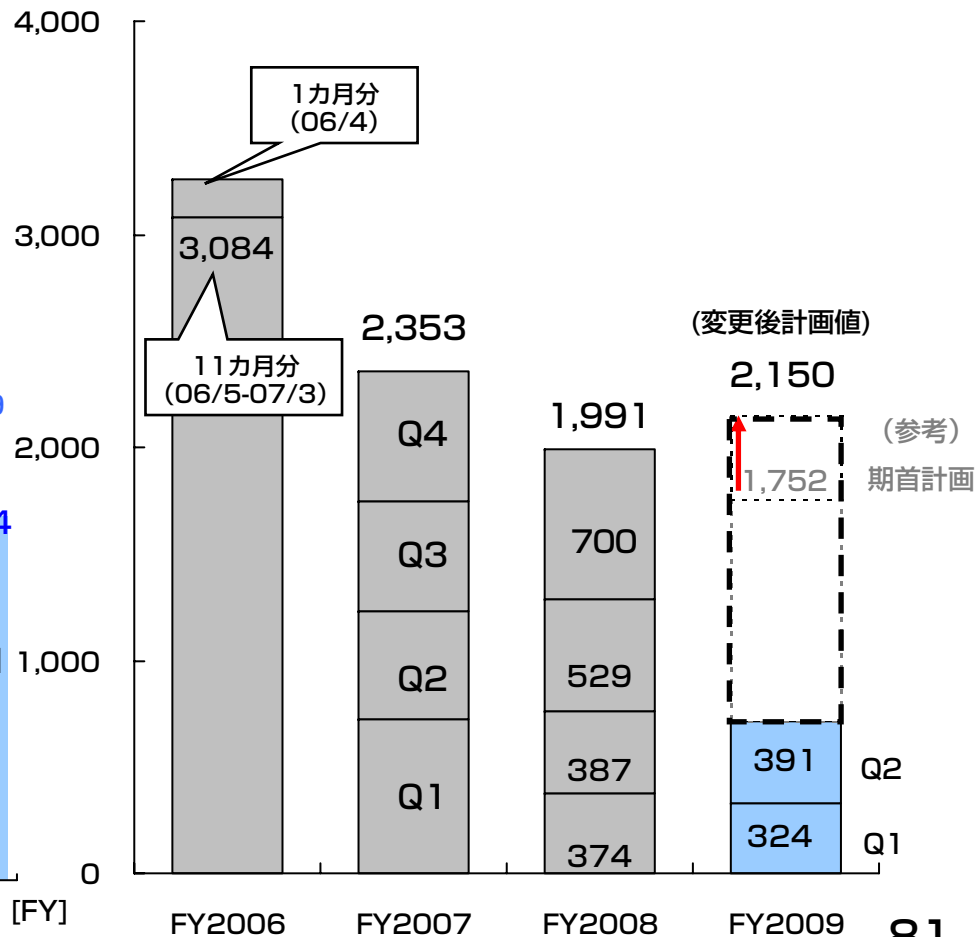
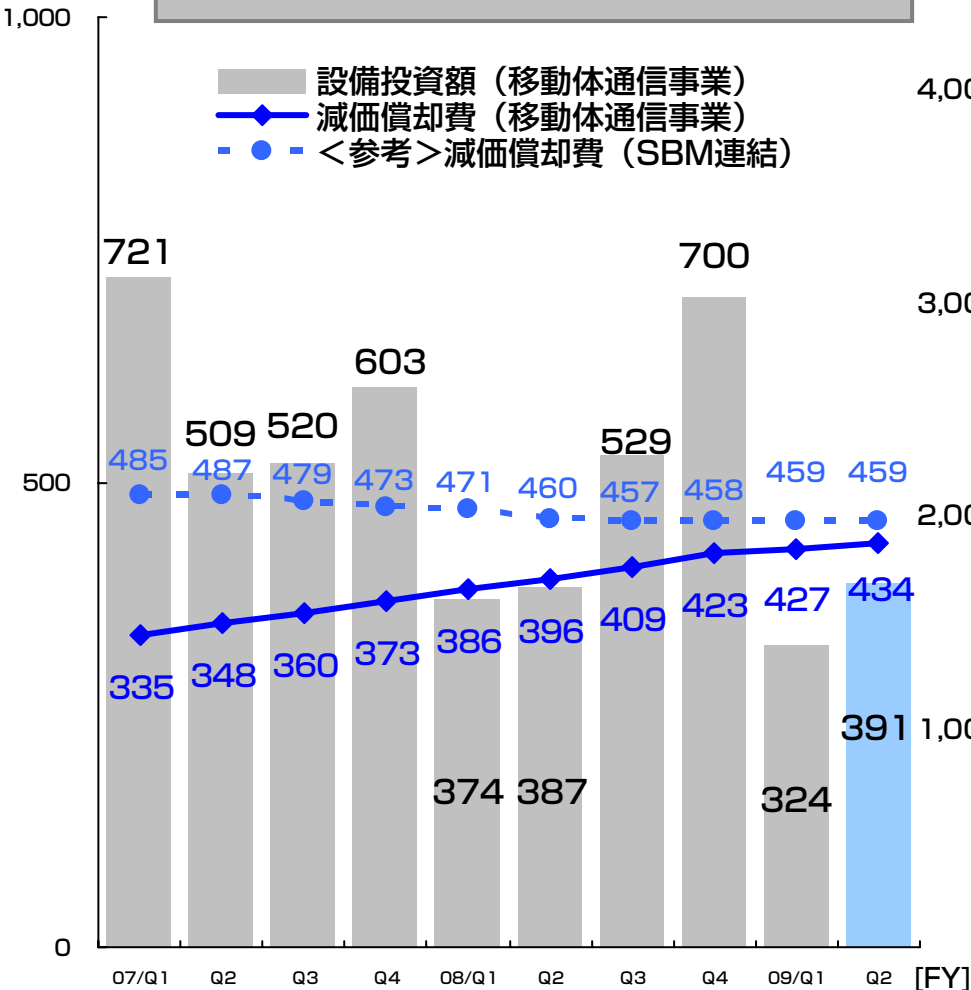
<移動体>

■設備投資を増額修正 (398億円)

<億円>

設備投資額と減価償却費 (四半期推移)

設備投資額 (年度推移)

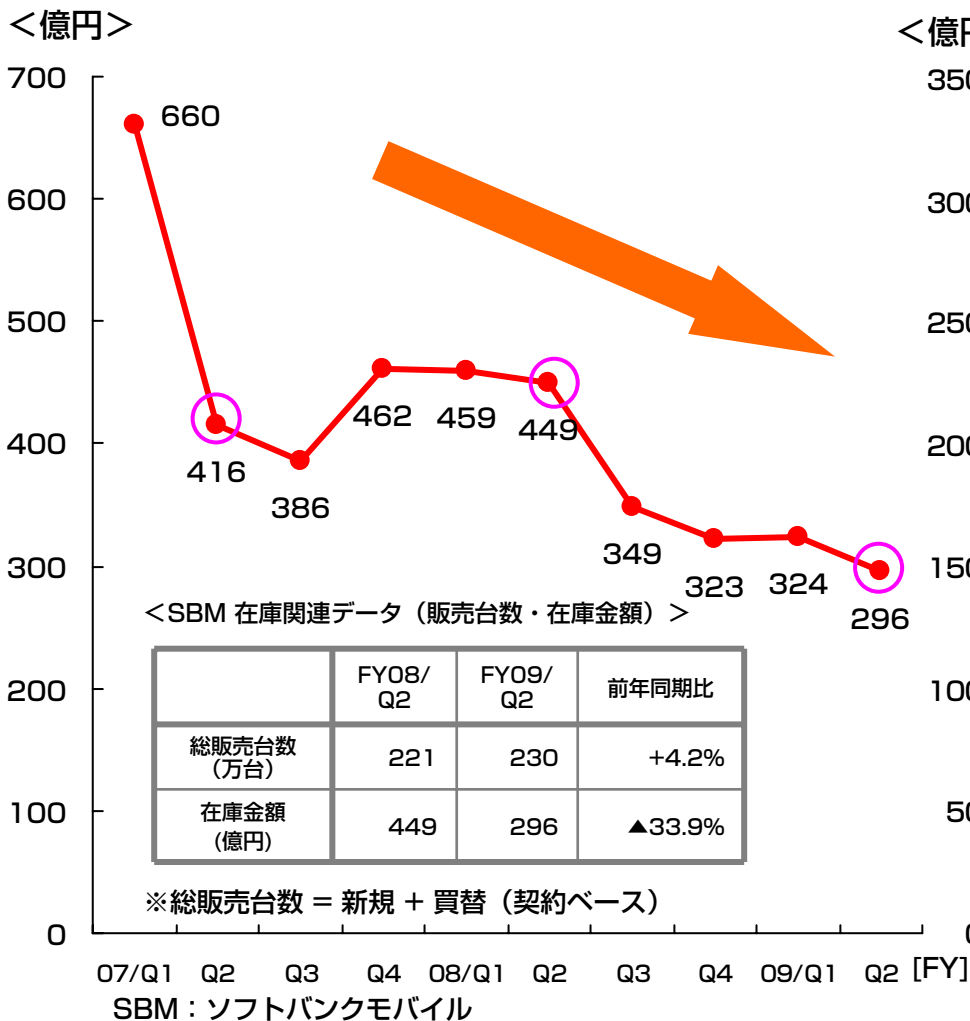


経営の効率化推進

<移動体>

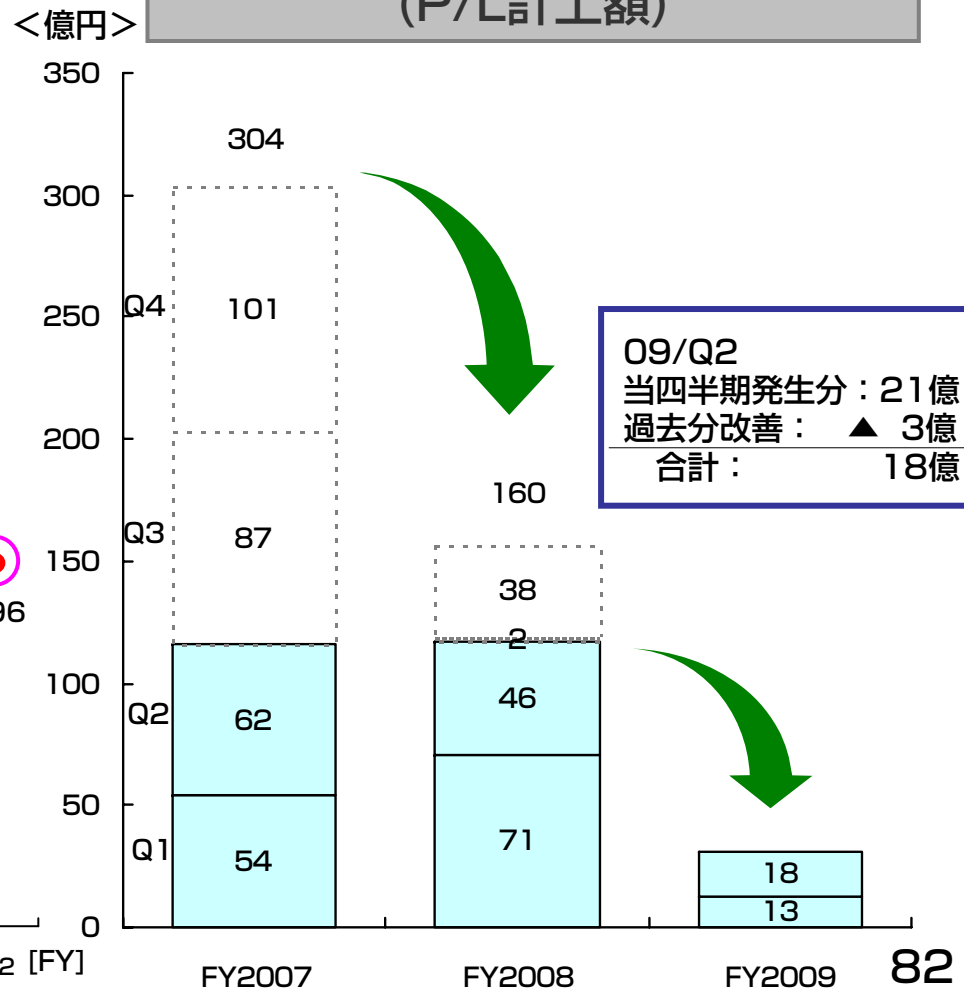
■FY07より大幅に削減

SBM 在庫金額(B/S計上額)



■貸倒関連費用も大幅に改善

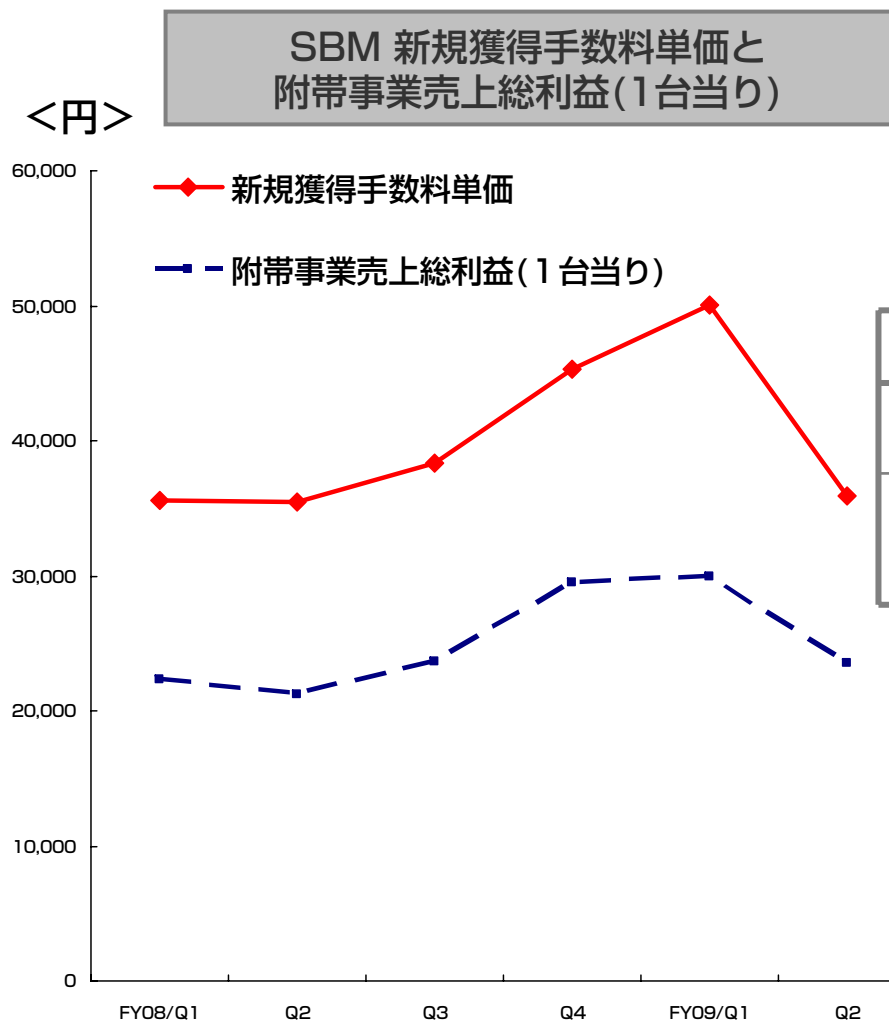
SBM 割賦債権貸倒関連費用推移 (P/L計上額)



新規獲得手数料と附帯事業売上総利益

<移動体>

■FY09/Q2新規獲得手数料単価は大幅減少



※1
 ※2
 <SBM 新規獲得手数料単価・附帯事業売上総利益(1台当り)>
 <円>

	FY08/Q1	Q2	Q3	Q4	FY09/Q1	Q2
新規獲得 手数料単価	35,600	35,500	38,300	45,300	50,100	35,900
(参考) 附帯事業 売上総利益 (1台当り)	22,300	21,200	23,600	29,500	30,000	23,500

- ※1. 新規獲得手数料単価=新規獲得費÷新規販売台数(契約ベース)
 2. 附帯事業売上総利益(1台当り)は概算
 附帯事業売上総利益(1台当り) =
 附帯事業売上総利益÷総販売台数(新規+買替、契約ベース)



- 本資料に記載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。